

日本勤労者山岳連盟 第37回総会

平和があって登山がある、
仲間とともに前に進もう！

2026年2月14(土)～15(日)
会場・ビジョンセンター市ヶ谷

決議・決定集



2026/01/17

日本勤労者山岳連盟

目 次

表 紙	P 1
目 次	P 2
発刊にあたって	P 3
総会議案 主な目的と主要な課題	P 4
第 36 期下期の活動総括と第 37 期上期の活動方針（1号議案）	P 5～P14
2026 年度の全国的な規模の集会・会議予定	P15
3号議案 連盟費の改定	P16～P17
一般会計・特別会計、労山基金会計等の決算報告、安全対策基金活用状況一覧表、監査報告等の資料（2号議案）	P18～ P31
2026 年度予算編成方針及び各種予算（2号議案）	P32～P38
連盟費一覧表、都道府県別組織推移表、同組織動向表など	P39～P44
2025 年度加盟・脱退団体一覧	P45～P46
加盟団体一覧表	P47～P57
都道府県別・男女別 平均年齢	P58～P59
栄誉功労賞 贈呈者一覧	P60～P62
2025 年度 事故の概要（事故一報より）	P63～P66
労山基金 2025 年度 集計	P67～P71
日本勤労者山岳連盟 規約	P72～P76
第 37 期 全国連盟 役員	P77～P78
住所・電話・FAX・ネットアドレス	P79
裏表紙	P80



日 本 勤 労 者 山 岳 連 盟

第 37 回総会 決議・決定集の発刊にあたって

日本勤労者山岳連盟
理事長 川嶋 高志

私たちの会員証は5年ごとに更新される。昨年が更新年だったので、会員の登録が実態に合ってきた。その結果、年代別の構成比は70歳以上が約42%、50～60歳代が約47%、50歳未満が11%となった。都道府県別にみると平均年齢が50歳代は北海道、神奈川県、愛媛県だけで、6県が70歳代になり他は全て60歳代となっていた。

日本の国自体が少子高齢化とはいえ、これは何とかしなければいけない。高齢者だけの組織では考え方も偏ってしまう。情報技術の活用が進み、人工知能が社会を変えていく時代、車の運転も自動化されようとしている。家電製品が進化し効率良く生活することも悪くはないが、頭と身体を使って山に登り自然に親しむことも人生を充実させる。

ミラノ・コルチナ冬季オリンピックは、見ているだけで自然に涙が出てくる感動的な場面があった。選手たちの笑顔と涙の中には、どれくらいの練習・努力があったのだろうと考えると、自分も少しだけ頑張っただけで笑ったり泣いたりしてみようかと思う。私たち高齢者が若い頃の山登りは「きつい」「汚い」「危険」の「3K」といわれていた。しかし今は、装備や技術の進化により、やり方次第では「快適に」「おしゃれに」「安全に」山登りを楽しむことができる。そんな組織を作って行けば、会員数の減少も止まるのではないかと考えている。

世界中で起きている紛争は目を覆いたくなることばかりだ。なぜ人を殺しても欲しいものがあるのだろう。山ではとっていいのは写真だけ、残していいのは足跡だけといわれている。隣の芝生は青いのかも知れないが、少し歩いて山へ行けば、素敵な景色や楽しい体験はたくさんある。私たちにできることは、楽しく安全に、そして少しだけ冒険心を満たす山登りを、一人でも多くの人に伝えていくことだ。新たな仲間を迎え入れていこう！

日本勤労者山岳連盟 第37回総会 議案

第37回総会の主な議題は、次のとおりである

- ・ 1号議案 第36期下期の活動総括と第37期上期（2026年度）の活動方針
- ・ 2号議案 第36期下期の財政活動総括と第37期上期の財政方針、予算案の策定
- ・ 3号議案 連盟費に関する規定の一部改定
- ・ 4号議案 全国役員を選出、その他

今総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりである。

- (1) 広範な登山者の要求実現と登山環境整備のための、組織強化と会員拡大を目指す活動について
- (2) 増え続ける遭難事故への対策と安全登山教育の拡充について
- (3) 環境保全に取り組み、豊かな山岳自然を守る活動について
- (4) 連盟財政の安定化について
- (5) 紛争の無い平和な社会を実現し、登山文化を継承・発展させる取り組みについて

<第1号議案>

第35期下期（2025年）の活動総括と第36期上期（2026年）の活動方針

1. 登山をめぐる情勢

1) 登山をめぐる社会情勢

7月の参議院選挙の結果、与党が過半数割れし、公明党が連立政権から離脱した。しかし、日本維新の会と連立を組むことにより高市早苗氏が初の女性総理大臣となり、自由民主党政権が続いている。米や野菜など毎日の食卓に欠かせないものが値上がりし、円安の影響から輸入品も高く、ガソリンは暫定税率の廃止に伴いある程度値下がりはしたが、ETC割引廃止など、登山を楽しむ生活環境は厳しい状況が続いている。

アメリカのトランプ政権は自由で開かれた経済社会とは相反する政策を推し進め、ウクライナや中東での紛争終結が充分ではないところに、中南米で新たな火種を作っている。日本だけでなく欧州各国で軍事予算拡大など、平和な世界が見通せない。

2) 国内登山の情勢

山小屋や山間部の宿泊施設では値上がりとともに、予約の取れない状況が続いている。酷暑が長く続いた影響なのか、熊の被害が都市部まで広がり、登山中の対策も検討すべき状況となってきた。山火事への注意も今まで以上に必要となっている。

スマホのアプリを利用した新しい登山のやり方が広まってきているが、山の危険（気温が低い、季節や天候により環境が一変するなど）に対する初歩的な知識が普及していない。山の歩き方やトレーニング方法、装備の使い方なども、情報が多いために間違っただけで危険な状況に陥ることも発生している。

2. 登山各分野の活動

1) 組織強化・拡大

登山の会員数は2025年11月末の組織数調査で523団体15894名となり、前年に比べ338名減少した。

第36期下期の方針に基づき下記の通り活動した。

- ①「平和と登山」の取り組みでは、2025年度は、特に何も取り組むことができなかった。
- ②2024年に実施した地方連盟の「登山学校アンケート」については、結果を集約し、「登山時報」などによってその結果を全国に伝え、また2025年11月に大阪で開催された「第19回全国登山研究集会」で報告した。
- ③組織活動強化をめざして、2025年11月15日～16日に全国連盟は大阪で第19回全国登山研究集会（全登研）を開催した。この集会には、全国から19地方連盟120名（男性83女性36）が参加して、大きく成功した。分科会は3つ（筋トレ、組織拡大・教育、自然保護）設けられ、組織部は第2分科会「組織拡大・教育」を担当した。また、この全登研集会にむけて、全国団体から、組織部として各会での組織拡大の取り組みについて、アンケートや聞き取り調査に取り組み、全部で16団体の状況をまとめることができた。
- ④全国的に、会員の高齢化と、それを背景とした会の登山からの脱退が少しずつ進行し

ている。そのことは11月に開催された全登研集会にも反映され、参加者の過半数が70代であった。どうしたら会員の若返り、世代交代をはかれるかが、大きな課題となっている。

- ⑤全国連盟組織部が提供する各会・クラブおよび県連連盟のホームページ（HP）開設支援については、52団体が登録しており、サーバー老朽化による新サーバーへの移行を4月末に行った。一部のHPで不具合があったものの正常に稼働している。今後は、HPが最新に更新されていない会・クラブに対し、インスタグラムやX等のSNS活用を含めて、HP更新方法等をサポートすることが課題となっている。

2) 遭難対策の現状と課題

①国内の山岳遭難概況

2024年の警察庁による山岳遭難者数は3,357人（前年-211人）。発生件数は2,946件。（前年-180件）。過去10年の山岳遭難発生をみると、2020年から3年連続で増加していたところ、2024年中は前年比減少した。死亡・行方不明者は300人（前年-35人）となり減少した。死亡者は265人（前年-28人）と減少、行方不明者も35人（前年-7人）と減少した。負傷者は1,390人（41.4%）。無事救出者は1,667人（49.7%）。遭難者のうち60歳以上が1,677人と全体の50.0%。死亡・行方不明では60歳以上が192人と全体の64.0%を占めている。40歳以上の中高年登山志向は継続し、2,678人が遭難し全体の79.8%を占めている。遭難の原因は、道迷いが最多で1,021人30.4%（前年-183人）、滑落、転倒、疲労、病気と続いている。2024年は、転倒（671人前年+67人）滑落（577人前年-40人）、疲労（343人前年+19人）滑落は減少し、転倒・疲労は前年より増加した。その他として病気256人（前年-52人）、雪崩事故27人（前年+7人）、野生動物による襲撃も37人（前年-8人）いた。減少の要因のひとつとして、コロナ渦での影響を受けた19年20年を経て、21年・22年と急速に事故者が増加し23年は3,100人を超える事故者の増加があり、各自治体や各県警察が事故防止に力を入れた事により24年は減少傾向になったと考えている。

2025年については、2026年7月に警視庁から「2025年における山岳遭難の概況等について」で発表されるが、前年都道府県別の山岳事故発生状況で最も多い長野県が速報値として発表している増加傾向から2025年の増加傾向に転じる可能性も否定できない。

②労山内の山岳事故概況と対策

2025年は死亡・行方不明者が9名。事故件数392件、事故者数400人。遭難対策部会での行事・集会について、7月の「救助技術交流集会」、10月の「若手クライミング講習会」を開催した。

「救助技術交流集会」は神戸セミナーハウスで7月5～6日に開催し、14地区連盟32名・全国遭難対策部員9名・近畿ブロック協議会からスタッフ9名の合計50名が参加した。1日目に、基調報告として遭対部長石川より報告があり、次にオーセンテックジャパンの八木澤美好氏より、「山岳遭難事故早期解決のために」の内容で講演を頂いた。その後、各地方県連からの捜索・救助事例報告が北海道道央地区連盟と岡山県連盟から報告があった。2日目は、搬送技術（ザイル担架の使い方他）と各地方での取り組みについての報告や救助活動の今後について、どの様な講習や訓練を行うべきか、救助活動者の体力や技術にあわせた内容を提示することも今後の課題となった。

「若手クライミング講習会」は小川山で10月4～5日に開催し、受講生15名、講師・スタッフ9名の合計24名が参加した。今回は20代、30代の労山会員の参加が多く、「若手会員のクライミングの正しい技術・知識を伝える」という講習の目的を果たすことが出来た。講習の内容も整備されてきたが、リード出来るレベルではない受講生の参加が多く、講師の負担と危険が増加し次年度の開催を検討する必要性が生じた。

「登山寿命を伸ばす為の講習会」は2024年10月19～20日に筑波山で遭難対策部会の主催で開催し、好評を得たことから2025年に各地で開催された。

5月17～18日に関東ブロック協議会主催「登山寿命を伸ばすための考え方と実際」～山での歩き方と日常のトレーニングの見直し～は照内明良氏を講師に迎え、茨城県連盟主管で筑波ふれあいの里で開催した。参加者は、51名で東京(12名)神奈川(5名)埼玉(5名)、栃木(5名)、千葉(8名)、茨城(16名)、講師は3名。講習会の準備や実技講習の具体的な進め方や課題が見えたことが良かった。また、受講生の取り組む姿勢や関心が大きくこの講習会を継続する力になった。

6月7～8日に全国ハイキング委員会主催、長野県連盟主管で開催した「全国ハイキングリーダー学校」において講習会「登山寿命をのばすための歩き方とトレーニング」は安藤真由子氏を講師に迎え開催した。44名の参加で、4ポイントに分けたコースをそれぞれのスピードで班ごとに歩いて頂いた。受講生は、登りの疲れないペースの学習や具体的な歩き方の指導を受け今後の登山活動に参考になったと思うが、更に机上講習を今後の受けると内容が一層深まると考えている。

9月27～28日に愛知県勤労者山岳連盟主催、共催「岐阜県連盟・静岡県連盟」で「登山寿命を伸ばすための考え方と実際」～山での歩き方と日常のトレーニングの見直し～を開催した。27日の午前中は川嶋理事長の講演「これからの労山」と石川遭難対策部長の報告「2024年労山での登山事故の現状と2025年8月末日までの事故状況」があった。午後は照内明良講師による机上講習を行い、参加者は42名。28日の実技講習は34名が参加し、上り3区間・下り2区間での「登高ペース体験実習」を実施した。さまざまな指標をもとにペース調整を試みたものの、多くの方が初めての経験だったこともあり、班によっては調整に苦勞する場面も見受けられた。一方で、うまく感覚を掴めた班もあり、同じペースで歩いても「きつさ(主観的強度)」の感じ方には個人差があることを学んでいただく良い機会となった。

登山寿命の延長は、主観強度を評価しながら登山実践してることが重要。さらに、ストレッチングと筋力トレーニングを継続して取り入れることがポイントである。

「全国雪崩講習会」は、2025年1月31日～2月2日の三日間にわたり白馬梅池で開催した。参加者は、20名(代表1名、事務局1名、講師14名、講師養成受講生3名)リモート参加2名(内1名雪崩研究者)。次回より、講師養成クラスを開設し受講生を募集する。

「山筋ゴーゴー体操」については、遭難対策部会・ハイキング委員会と協議を行い内容の改善やテキスト改正に進める予定だったが、協議の場を持てなかった。

3) 自然保護活動

①第52回全国一斉クリーンハイク・清掃登山

30 地方連盟の1都2道2府25県で行われた(別紙参照)全体で308コース、277会、5137名が参加した。集めたゴミは可燃ごみ1622kg不燃ごみ1544.6kg合計3,167kgに達した。

②第27回全国自然保護講座の開催

青森県連の主管で、9月27日～28日、青森県弘前市岩木青少年スポーツセンターで開催し、当日は会場35名、オンライン16名が参加した。

記念講演は「風力発電が稼働した地域での課題」で行われた。元秋田県連盟の会員夫妻から巨大風力発電が発する低周波による健康被害の実体験が報告された。地方連盟から7件の報告が有り有意義な講座であった。

翌日は青森県連の案内で40名が参加、岩木山登山で親睦を図った。

③自然保護委員研修会

5月11日～12日表丹沢野外センターで9名が参加、部員の親睦と今後の委員会の方針と課題を話し合った。翌日は表丹沢二ノ塔・三ノ塔で登山道整備の視察を行った。

④リニア新幹線計画問題

リニア新幹線計画において、今までは「静岡県が許可を渋っているため」として計画の進行遅れが静岡県のせいだと責任転嫁を計ってきたJR東海であったが、静岡県知事が代わってなおかつ水問題で解決が図られずにいる。他方岐阜県瑞浪市の水源枯渇、ため池の水位低下などを始めリニア計画沿線での地盤沈下・騒音・振動・残土運搬による大気汚染・残処理の決まらない蓄積残土からの汚染物質の流失と様々な問題が噴出してきている。加えて工事がこうした要因により10年の遅延につながると同時に今年11月にJR東海は当初の予算5.5兆円から2倍の11兆円に工事費が膨れ上がった事を認め最短で2035年の工期竣工を示唆した。財投3兆円もの血税の回収もおぼつかない状況に陥っている。もはやリニア計画はJR東海一社だけで完工できる状態ではなく民営公設の域を出ないこの様な杜撰な計画は既に破綻している。速やかな中止を求めて行かなくてはならない。

⑤北陸新幹線延伸問題は、その都度情報を発信し、署名などのとりくみをすすめた。小浜・京都ルートの問題点が明らかになり、アセス未了のまま推移している。

⑥全国登山研究集会分科会のレポート等を通じて、開発等による山と自然を破壊する各地の実態が明らかになった。

⑦ライチョウ目撃情報は、労山ホームページ「ライチョウ目撃情報」に17件の情報が有り、また環境省「生き物ログ」に15件を投稿し、通算で99件の投稿に達した。

⑧隔月の山岳団体自然環境連絡会に参加し、労山の取組みを報告し情報交換をした。

4) ハイキング分野の活動

①広域委員会で活動し始めて5～6年になるが、現在は東京、栃木、群馬、静岡、愛知、岡山、香川、北海道から選出された9名で構成している。前総会で掲げた「埼玉、神奈川」県連盟からの選出については、埼玉県連盟との電話での話し合いのみに終わり、選出に至っていない。また女性委員の獲得もできなかった。

②委員会は対面が1回、それ以外は全てZoomで毎月行った。現在の各委員は所属する会や県連の幹部が多く、ハイカー層の情勢を議論するのではなく、県連や所属会全般の活動を議論することが多く、今後の課題と言える。

③第36期後期の最大の取り組みである「全国ハイキングリーダー学校」は6月7日(土)～8日(日)長野県連盟の主管で、北八ヶ岳の唐沢鉦泉を貸切り実施した。「登山寿命を延ばす歩き方とトレーニング」というテーマで行った学校には17地方連盟、31団体(60名)から参加し成功した。参加者層は40歳代2名・50歳代8名・60歳代27名・70歳代12名と比較的若い世代が多かった。また机上講座の短さや、翌日の実技講座の初めての試みなど、いくつかの課題は残したが、参加者の多くから「歩き方の考えを変えた。トレーニングの必要性を実感した。」など大きな反響を得た。積み残した「徹底した机上講座」については第37期の全国ハイキング交流集會に引き継ぎたいと考えている。

④多くの無雪期登山者の教本となっている「ハイキングABC」は2024年2000部増刷し、この1年間で1169部販売(71団体)した。又、同じく2024年度に第5版を出した「ハイキングセカンドステップ」は595部(40団体)販売し(前半15頁にわたり労山の歴史を掲載しているのが好評)、会員教育のひとつとして大きな役割を果たしている。

5) メディア局

①ホームページ

JWAF公式ホームページはページの更新を年間75回行なった。全国連盟ホームページの訪問者数は、2025年の年間訪問数は約33.8万人と会員数が減少しているにも関わらず前年度比144.3%増加した。増加の原因は機関紙のJWAF journalの閲覧と季刊誌の登山時報にアクセスする会員が多かったことによる。最大の要因は登山時報発行時期と登山のピーク(夏山と紅葉時期)に訪問者が多く、特に8月の約3.5万人がピークだった。大体ひと月2.8万人前後が平均して訪れている。夏山を目指してアルプスの山小屋の割引やお得な情報を検索してのリサーチだが、最近では山小屋の割引を廃止するケースが増えており、コロナ以降の山小屋の経営環境が厳しくなったためとみられる。

閲覧ページのトップスリーはトップページの新着情報に続き労山基金の各ページがよくみられている結果となっている。ホームページには、もっと動画を積極的に取り入れたらどうかという意見をいただいている。

また、ホームページはコンテンツの内容はPC画面对応となっていたので、「スマホ対応」の画面を新規に作成した。

なお、ホームページから投稿された問い合わせメールは、全部で440件、労山基金に関するものが185件、次が一般的な事柄・事務連絡が174件、次いで登山時報、ホームページに関する順となっている。毎年労山基金に関する問い合わせが全部の半分を占めている。この数字はホームページに寄せられた件数だが、このほか事務所の代表電話や直接メールアドレスに寄せられる件数は把握していないが、この数倍の量があると推定される。

②機関誌・紙編集委員会

登山時報、ろうさんニュース、全国連盟メールニュースを統廃合して、月刊「JWAF journal」と季刊「登山時報」の機関誌・紙へ円滑に移行して3年が経過した。各専門部長、各委員長から構成される「機関紙誌編集委員会」を年4回開催した。

○月刊紙「JWAF journal」の位置づけは、全国連盟からのお知らせや全国連盟が何を行っているかを会員に理解してもらうことを目的として、2025年1月号を皮切りに毎月発行した。月刊機関紙の発行形態は原則として電子媒体による配付を行ない、購読料は無料

とした。A4版8頁建てで毎月25日に発行し、JWAF公式ホームページに掲載した。経費を抑えるために印刷は事務所で行い、発送は外部業者へ委託した。もっと地方連盟の活動を掲載すべきだとの声がある。

※2025年12月号発行部数：各会・クラブ1部配布（約500部）のほか、希望により印刷している部数は2地方連盟と40会・クラブに約2000部を送付している。

○季刊誌「登山時報」は、機関誌的位置づけと読み物の二律性を担う誌面を心がけた。発行時期は、春号（4月25日）・夏号（7月25日）・秋号（10月25日）・冬号（1月25日）の年4回の季刊発行を行った。A4版40ページの総カラー建てで、各会・クラブへ1部を配布した（購読料は連盟費に含む）。JWAF公式ホームページにアップし、誰でも登山時報をダウンロードできるようにした。

なお、登山時報は電子媒体で閲覧する限り無料だが、紙媒体で購読する方には、購読料として年間1,200円（税込み、郵送料込）を徴収している。2025年10月号の（個人購読）有料購読数は119部となっており、2024年4月をピークに減少している。愛読していた会員の退会やキャンペーン不足が原因だとみている。旧来の団体購読方式と違って、会・クラブでの積極的な購読推進の取り組みが不足している。

発行費用は予算の200万円以内に収まりそうだが、最近の諸物価上昇の影響を受けて次年度は増額もやむを得ない状況である。

6) 国際活動

6月にモンゴルのウランバートルでアジア山岳連盟総会が開催された。理事長と国際部長が出席し、第二次世界大戦後80年を迎え、平和行進などの労山活動を報告した。

7) 海外委員会

10月29日に2025年海外山行オンライン交流集会を開催した。委員会としても初めての取り組みでもあったため、開催に向けては7回に及ぶ委員会での話し合いを持った。内容についてはその都度JWAFジャーナルに委員会活動として掲載し、集案内も載せてもらった。今回の集会は報告者の選定と準備資料の作成がスムーズ進められたので計画通りに開催できた。

集会では、当初40名の参加申し込みがあり、委員会としては反響の良さに驚いていたが、実際に参加したのは16名にとどまった。原因としてはいろいろ考えられると思うが、集会視聴URL案内メールをBCCで送ったため、迷惑メールとして扱われたものが多数あったと思われる。実際、委員の中にも迷惑メールボックスに入っていた人もいた。集会終了後にアンケートを取るために、参加申し込みした方すべてにアンケートURLを送付したが、回答があったのは7名と少なく、委員会としては今後活用するための多数の意見を集約する事は出来なかった。

8) 山筋ゴーゴ一体操推進委員会

- ①山筋ゴーゴ一体操サポーター養成講座を香川県で開催し、サポーターが13名誕生した。
- ②山筋テキストの改訂については、担当委員の役員活動が停止したままで活動復帰ができず、議論が計画どおりには進まなかった。

③山筋Tシャツ、テキストを普及した。

9) 趣意書検討委員会

趣意書検討委員会は2024年2月の総会で報告した労山が将来へ向け発展するために趣意書の在り方の検討を続けている。現在の趣意書は労山設立当初の目的・背景・社会的意義を示す、当時掲げる理念とビジョンが合わせられ現実の運動へ結びつける指針となったものである。このことを踏まえ発展していく組織に今後必要とされる将来の目標、労山はどうあるべきかという根本的な考え方は今の趣意書とは別の形で作り出すことが求められるという判断に至った。

10) 登山界の共同の活動

山岳4団体が共同して、全国山の日協議会の活動や超党派山の日議員連盟の活動に参加した。日本山岳・スポーツクライミング協会の新春懇談会、日本山岳ガイド協会総会、モンベル創業50周年記念祝賀会、福井県での全国山の日記念大会、日本山岳会創立120周年記念式典、日本ヒマラヤ協会華甲望年會に参加した。山岳7団体自然環境連絡会は定期的にオンラインで会議を開催した。

11) 他団体との共同行動、新日本スポーツ連盟など

原水爆禁止国民平和行進は富山からの出発ができず2コースでの参加となった。6月に開催した第64回共済研究会で労山基金についての報告を行った。新日本スポーツ連盟とは3月、9月、12月に定期協議を開催し、活動情報を共有した。

3. 各分野の活動方針

1) 組織強化拡大をめざす取り組み

①組織拡大に向けた取り組み

- ・全国各会の組織拡大の経験交流をはかるため、「組織拡大・経験交流集会」を10月3日(土)午後、全国連盟事務所をベースに開催し、全国からZOOMで参加してもらう。
- ・2025「全登研」集会の討論の中で提起された、組織拡大のための新しい手法の研究・普及をはかる。そのため、ユーチューブの活用や会員個人が発信しているインスタグラムなどと連携したHP作成手法の研究、ユーチューブなどを活用した登山知識などの普及をめざし、労山で蓄積された登山技術・知恵の外部への発信に取り組む。「ハイキングA・B・C」などのテキストも、労山外部にむけた発信方法を研究し、普及をめざす。

②国際社会において武力行使や力による現状変更が懸念される状況が続いている。私たちは、登山文化が本来持つ連帯と相互理解の力を重視し、『平和と登山』の取り組みを全国的に交流し、発展させることに取り組む。

2) 遭難事故防止の活動と教育活動

①地方連盟の遭難対策活動を支援

気象・読図・運動生理学・緊急連絡体制他、講師派遣を継続して充実させる。

②教育体制の充実

- ・「全国遭難対策担当者会議」の開催を東京で行い、転倒事故防止等の安全登山教育体制を強化する。
- ・中央登山学校「雪崩講習会」、「MF A講習会」を充実させ継続開催する。

③健康管理

- ・年代による心身の特性を知り健康状態の把握、健康づくりを啓発する。
- ・登山の運動生理学とトレーニング方法の啓発を行う。「登山寿命を伸ばすための考え方と実践」を各地で開催する。
- ・新たな筋トレ講習を導入し、各地で取り組みを行う。

④遭難対策に役立つ各種団体・会議・学会

「日本山岳サーチ&レスキュー研究機構」、「全国山岳遭難対策協議会」、「日本雪氷学会」「日本山岳文化学会」「日本イカール委員会」「山岳安全対策ネットワーク協議会」などに継続して参加する。

⑤遭難事故の原因分析

労山内外の山岳遭難事故の情報を収集・分析、その結果を普及・活用していく。

⑥ココヘリ労山捜索隊の編成組織による研修会を開催し、救助活動のより円滑な体制を作り各地方での研修会を広げて行きたい。

⑦遭難対策部会の研修会

各地で登攀や沢登りに関する墜落・転落・溺死等の事故が発生している。事故の検証と遭難対策部員の技術レベルアップを目的とした研修を開催する。

3) 自然保護活動

①第53回全国一斉クリーンハイク・清掃登山を6月7日に実施する。

②全国自然保護担当者会議を関西地区で11月14日～15日に行なう。

③南アルプスの自然や環境を破壊する「リニア中央新幹線建設」に反対していく。

④古都京都の山岳や環境を破壊する「北陸新幹線延伸計画」に反対していく。

⑤大型風力発電・メガソーラー計画で生じる様々な問題を学び、健康被害や法面崩壊などの実態を広め、山岳自然を破壊する計画には反対していく。

⑥ライチョウ保護、登山道整備、山のトイレ問題の取り組みを引き続きすすめていく。

⑦山岳団体自然環境連絡会で、各団体と自然保護活動の情報交換をしていく。

⑧気候変動の影響、野生動物の動向、生物多様性の損失など、山と自然の変化を登山者として注視し、情報を発信していく。

4) ハイキング委員会

①広域委員会の充実のために、関東近県からの委員の選出、女性委員の獲得に努力する。

また、委員会の議論を活発にするために毎月定例の委員会を継続し、ハイカー層（無雪期登山者）の情報提供、特にニーズの収集等に努め、会員拡大につなげる。また2025年度はハイキングでの死亡事故例もあり、委員会でも議論したが、遭難対策部の援助を得ながら、可能な範囲で事故分析を行い、事故を無くすために努力する。

②2026年全国ハイキング交流集会を石川県で開催する。主催・主管ともに全国連盟とし、

石川県連盟協力のもと、6月13日～14日に開催する。2025年の全国ハイキングリーダー学校に続き、「登山寿命を延ばす歩き方とトレーニング」をテーマに講習と交流を行う予定である。

- ③「ハイキングABC」の普及、「ハイキングセカンドステップ」の特徴を生かした活用の普及に努める。

5) メディア局

①ホームページ

- 労山会員証の5年更新を機会に、ホームページに掲載されている優待施設数を拡大していく。コロナ以降は優待施設の割引を縮小する傾向にあるので、労山会員証のメリットを享受するため、割引が適用される宿泊施設の拡大に取り組んでいく。
- 全国連盟行事を動画にて配信する（5分～10分位の動画）。
- 地方連盟や各会・クラブの動画がアップされているサイトについては、全国連盟ホームページからリンクを張って紹介する。

②機関誌・紙編集委員会

- 2026年度も引き続き、機関紙「JWAF journal」の毎月発行、季刊誌「登山時報」の季刊発行を円滑に行う。
- 地方連盟からの意見を取り入れて誌面の充実をしていく。具体的には「地方連盟の行事・イベント」紹介する。
- 「魅力ある、興味のわく機関紙誌づくり」として、毎号企画特集を組む。具体的には山岳中の事故事例、花特集、岩山特集、紅葉などの読者の関心が高い記事とアルパイン層向けの記事とバランスをとった内容を組んでいく。
- 個人購読者（有料購読）がどんな方が購読しているのか実態を把握し、個人購読数の増加に取り組む。
- 機関紙誌編集委員会の構成およびホームページ委員会の確立を図り運営していく。
- 発行費用について予算内での執行に努める。

6) 国際部

アジア山岳連盟総会（中国・重慶での開催予定）に参加し、アジア周辺での山岳情報を共有する。国際山岳連盟の登山委員会に、日本国内の山岳事故情報を報告する。

7) 海外委員会

隔年開催としている対面形式での海外山行交流集会を開催する。開催日は11月28日～29日の予定で進めていく。メインの講演及び山行報告を依頼する方については今後の委員会で早めに選定作業に入る。開催場所は全国連盟事務所を予定している。

25年度に続いて委員の拡充を図っていく。

8) 趣意書検討委員会

これまで現在の趣意書が全国の会員にどれだけの浸透（理解）を得られているか、アンケートの実施を試みる。その結果と現代の様々な登山環境を検討し労山の将来像を思い描

き指し示すものを提案する検討を継続する。

9) 自然災害等への支援活動について

財団法人山岳基金への寄付金の運用資金で、災害支援について検討する。

10) 他団体との共同行動について

山岳4団体での共同の活動は継続して進めていく。2026年原水爆禁止国民平和大行進に参加する。共済の今日と未来を考える懇話会、新日本スポーツ連盟の賛助会員、定期協議を継続する。

2026年度の全国的な規模の集会・会議予定

第37期上期（2026年度）

機関会議・集会

第37回全国総会	2月14日～15日（東京・ビジョンセンター市ヶ谷）
全国遭難対策担当者会議	7月4日～5日（東京・全国連盟事務所）
全国自然保護担当者会議	11月14日～15日（近畿地方）

行事・集会

第40回全国雪崩講習会	1月30日～2月1日（長野県・栂池高原）
全国ハイキング交流集会	6月13日～14日（石川県）
全国組織拡大 経験交流集会	10月3日（東京・全国連盟事務所、オンライン）
全国海外山行交流集会	11月28日～29日（東京・全国連盟事務所）

国際会議・集会・行事

アジア山岳連盟（UAAA）年次総会	5月15日～19日（中国・重慶）
-------------------	------------------

友好山岳団体との共同の集会・会議など

全国山岳遭難対策協議会	7月 日（東京・文部科学省）
第10回「山の日」記念全国大会	8月10日～11日（岐阜県高山市）

連盟費に関する規定

第1条 この規定は規約第26条により、地方連盟の連盟費についての細目を定めるものである。

第2条 その年度の地方連盟ごとの連盟費は、年度始めの総会または評議会において、次の算式で金額を定める。

$$\text{連盟費} = (\text{加盟団体数}) \times 3,600 \text{円} + 100 \text{円} \times 12 \text{ヶ月} \times (\text{所属会員数})$$

第3条 連盟費算出の基準となる加盟団体数および会員数は、前年度10月末日現在の地方連盟の報告数とする。

第4条 連盟費の納入は、原則として前納制とする。納期は年額を4等分し、3月、6月、9月、11月の各末日とする。

第5条 特別の理由がなく連盟費の納入を滞納した地方連盟は、この連盟の活動に参加する権利を留保されることがある。

第6条 この規定の改廃は、総会で出席者の過半数の賛成を必要とする。

付 則

連盟費は、原則として年度途中における加盟団体数および会員数の増減によって変更しない。

1. 特別な事情によりこの規定によりがたい場合は理事会と協議する。
2. この規定は、2008年2月17日より実施する。

2026年2月15日 一部改定

3号議案 提案理由

全国連盟費は1団体年間3,600円と会員1人当たり月額130円の合計金額。

これは2000年1月から改定されたもので、それまでは1団体年間3,600円と会員1人当たり月額100円であった。当時は会員数が23,700名を超え最も労山組織が拡大した時期であったが、それとともに活動領域が拡大した。会員1人当たり月額30円の値上げは、年間約800万円の収入増で、各種全国会議への地方連盟からの参加者交通費補助や、消費税導入による諸物価高騰への対応に充てた。

現在は全国連盟事務所を所有し、会員証の発行など、2000年当時より経費のかかる部分もあるが、事務所を賃貸で利用するより、所有することでの経費削減、事務作業の効率化により、2000年以前の会員1人当たり月額100円に戻しても、現在の活動ができるとの判断から、連盟費の値下げを提案する。

全国連盟費は500団体で180万円、会員1人当たり1,560円で16,000名だと2,500万円の合計2,680万円になるところを、会員1人当たり1,200円で16,000名だと1,920万円の合計2,100万円になる。つまり580万円のマイナスとなる。

これを山岳基金に寄付した2億円（残りの2億円の寄付は償還の関係で2030年頃までかかる）の運用利益平均3%の600万円で補填する。主に全国連盟事務所の固定資産税、建物保険料・警備費、減価償却引当金、水道光熱費、事務機器リース代金に支出する。

同時に労山基金と安全対策基金を維持していくため、地方団体事務推進費の支出を廃止する。これにより基金加入者1人100円と振込手数料（15,000名の加入者だと約155万円）の支出が無くなり、事務作業の効率化とともに、安全対策基金への支出拡大が可能となる。

2025 年度決算の概要

財政部

<一般会計>

(収入)

- ・連盟費収入では、すべての地方連盟から納入が完了した。
- ・カレンダー収支では、印刷費や郵送費の値上がりを勘案して、全国連盟から各地方連盟への販売価格を、従来の1部700円から800円に改定したが、いぜんとして収支は赤字となっており、今後のさらなる検討が必要である。
- ・テキスト類では、各テキストとも順調な販売ができているが、増刷時に経費がかかるため、収支については単年度ではなく、複数年度でとらえと、黒字となっている。

(支出)

- ・評議会費用(2025/2東京・府中で開催)が予算をオーバーしているが、ホテル代の値上がりに加えて、出席者数が多かったことによる。このため2026年総会は会場を変更して、節約をはかった。
- ・部局/委員会活動費、機関担当者会議費は、予算オーバーした項目はなかった。
- ・職員関係費では、小池前事務局長退職にともない、2025年1～5月は3名が勤務する形となったため、予算をオーバーすることとなった。
- ・事務所関係費では、「事務所改築引当金寄付」支出を処理漏れしていた。なお、この費目は今後、(財)「山岳基金」会計に移管される。
- ・メディア関係費(JWAF journal、季刊「登山時報」など)はほぼ予算どおりの執行であった。

<特別会計(安全対策基金)>

全体として、予算の枠内での執行を行った。

収入面では、「ココヘリ」からの代理店手数料が、年間で約93万円の収入となり、大きな貢献をしている。

支出面では、「部員研修・資料費」が10万円の予算オーバーとなった。これは、2024年10月に筑波で開催した「登山寿命を延ばすための講習会」が大人気(スタッフ含め41名参加)で、一人8000円の参加費を徴収したが、経費もかさんだことが大きい。

これも含め、もともと2024年度予算が前年度からの繰越金を組み込んだ予算編成であったため、次年度への繰越金が331万円となったものの、前年度の442万円からは111万円減少した。

【一般会計】

貸借対照表

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	5,334,260	
現金	368,021	
小口現金	186,284	
普通預金	4,779,955	
未収金	45,500	
前払金	41,000	
立替金	1,050,794	
仮払金	422,000	
流動資産合計		6,893,554
固定資産		
その他の固定資産		
什器備品	431,206	
みずほ退職積立金	11,241,800	
三菱UFJ財政安定積立金	9,000,000	
その他の固定資産合計	20,673,006	
固定資産合計		20,673,006
資産合計		27,566,560
【負債の部】		
流動負債		
未払金	662,570	
職員預り金	473,280	
預り金	2,215,938	
仮払金	1,180,000	
流動負債合計		4,531,788
固定負債		
退職給与引当金	11,241,800	
財政安定引当金	9,000,000	
固定負債合計		20,241,800
負債合計		24,773,588
【正味財産の部】		
正味財産		2,792,972
(うち当期正味財産減少額)		4,584,701
負債及び正味財産合計		27,566,560

正味財産増減計算書

2025年1月1日から2025年12月31日まで (単位:円)

科目	金額	
【増加の部】		
資産増加額		
負債減少額		
増加額合計		0
【減少の部】		
当期収支差額	4,532,609	
什器備品減価償却額	52,092	4,584,701
負債増加額		
減少額合計		4,584,701
当期正味財産減少額		4,584,701
前期繰越正味財産額		7,377,673
期末正味財産合計額		2,792,972

財産目録

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	5,334,260	
現金	554,305	
普通預金	4,779,955	
三菱UFJ銀行	2,808,748	
ゆうちょ銀行	780,317	
みずほ銀行	1,130,890	
ゆうちょ機関誌	60,000	
未収金	45,500	
カレンダー連盟	45,500	
前払金	41,000	
総会	41,000	
立替金	1,050,794	
特別会計	33,636	
東京都連盟	452	
一般会計	1,016,706	
仮払金	422,000	
その他	1,000	
短期掛捨てプラン2024年分	421,000	
流動資産合計		6,893,554
固定資産		
その他の固定資産		
什器備品	431,206	
みずほ退職積立金	11,241,800	
三菱UFJ 財政安定積立金	9,000,000	
その他固定資産合計	20,673,006	
固定資産合計		20,673,006
資産合計		27,566,560
【負債の部】		
流動負債		
未払金	662,570	
特別会計	662,570	
職員預り金	473,280	
源泉税預り金	203,274	
住民税預り金	28,000	
健康保険預り金	159,154	
厚生年金預り金	74,266	
介護保険預り金	8,586	
預り金	2,215,938	
労山基金	835,216	
機関誌委員会	1,200	
義援金	608,682	
月間登山時報前納購読料	539,760	
その他	21,680	
2024短期掛捨て保険料	209,400	
借入金	1,180,000	
流動負債合計		4,531,788
固定負債		
退職給与引当金	11,241,800	
財政安定引当金	9,000,000	
固定負債合計		20,241,800
負債合計		24,773,588
正味財産		2,792,972

2025年度 一般会計決算書

2025年1月1日～12月31日

(単位:円)

I 収入の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	執行率	備考
1	連盟費収入	26,981,640	26,981,640	0	100%	536団体、16232名 全国評議会後、連盟費額訂正
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,580,000	2,573,000	7,000	100%	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	労山基金より 100,000円×12ヶ月
	労山基金事務消費費	600,000	600,000	0	100%	労山基金より 50,000円×12ヶ月
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	100%	都連盟より 55,000円×12ヶ月
	会議室分担金	120,000	113,000	7,000	94%	労山団体1回3,000円
4	カレンダー・テキスト収入	2,680,000	2,756,120	△ 76,120	103%	
	カレンダー連盟	1,600,000	1,728,000	△ 128,000	108%	一部800+送料等
	カレンダー一般	50,000	41,680	8,320	83%	一部1,000+送料等
	ハイキングABC	330,000	321,100	8,900	97%	一部300円、第5版発行
	セカンドステップ	340,000	246,500	93,500	73%	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	30,000	77,600	△ 47,600	259%	一部200円
	バッジ・腕章	0	2,700	△ 2,700	-	バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	100,000	198,440	△ 98,440	198%	登山技術ハンドブック・その他
	登山時報	230,000	140,100	89,900	61%	
5	雑収入	0	60,736	△ 60,736	-	為替差益他
6	退職給与引当金収入	350,000	0	350,000	100%	
7	特定預金取崩収入	0	1,687,200	△ 1,687,200	-	
	退職給与引当金取崩収入	0	1,687,200	△ 1,687,200	-	小池事務局長退職による
当期収入合計(A)		34,791,640	36,258,696	△ 1,467,056	104%	
前期繰越収支差額		6,894,375	6,894,375	0	100%	
収入合計(B)		41,686,015	43,153,071	△ 1,467,056	104%	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	執行率	備考
1	会議費	3,020,000	3,315,716	△ 295,716	110%	
	総会	0	0	0	-	
	評議会	3,000,000	3,315,716	315,716	110%	2025年2月に東京都府中市で開催
	理事会	20,000	0	△ 20,000	0%	
2	部局・委員会活動費	2,160,000	1,023,727	△ 1,136,273		
	ハイキング委員会	200,000	149,574	50,426	75%	委員会活動費
	海外委員会	200,000	0	200,000	0%	委員会活動費
	遭難対策部	20,000	8,794	11,206	44%	委員会活動費
	青年学生委員会	0	0	0	-	
	女性委員会	0	0	0	-	
	自然保護委員会	200,000	173,897	26,103	87%	委員会活動費
	山筋ゴーゴー体操推進	90,000	0	90,000	0%	
	メディア局	50,000	16,780	33,220	34%	委員会活動費
	組織部	250,000	7,171	242,829	3%	委員会活動費
	国際関係	600,000	562,331	37,669	94%	UAAA年会費、総会
	趣意書検討委員会	100,000	46,590	53,410	47%	委員会活動費
	地方強化会議	450,000	58,590	391,410	13%	地方連盟総会、会議参加交通費と宿泊費
3	渉外費・分担金	350,000	303,535	46,465	87%	新日本スポーツ連盟賛助金10万円、その他

II 支出の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	執行率	備考
4	全国集会関係費	1,200,000	979,496	220,504	82%	
	自然保護講座	400,000	392,810	7,190	98%	9月 青森県で開催
	第21回全国登山研究集会	800,000	586,686	213,314	73%	11月 大阪府で開催
5	機関担当者会議	0	0	0	-	
	組織担当者会議	0	0	0	-	開催せず
	自然保護担当者会議	0	0	0	-	開催せず
6	メディア関係費	4,100,000	4,024,960	75,040	98%	
	JWAF journal	1,000,000	1,026,099	△ 26,099	103%	
	季刊・登山時報	2,100,000	2,070,351	29,649	99%	
	ホームページ	1,000,000	928,510	71,490	93%	ホームページリニューアル
7	事務局関係費	8,150,000	7,847,835	302,165	96%	
	水道光熱費	500,000	498,213	1,787	100%	水道代・電気代
	事務機リース料	2,200,000	2,215,214	△ 15,214	101%	コピー印刷複合機×2台、パソコン、電話、LED一式
	事務消耗費	450,000	440,737	9,263	98%	・印刷用紙・インク・トナー・文具等
	事務印刷費	600,000	585,352	14,648	98%	封筒・複合機カウンター料金・コピー紙
	通信費	350,000	277,533	72,467	79%	郵便料金改定分を見込む
	電話料	200,000	186,667	13,333	93%	固定電話×1、FAX
	資料費	200,000	186,668	13,332	93%	新聞・書籍・資料購入・NHK受信料
	ホームページ・PC関係費	1,150,000	779,938	370,062	68%	プロバイダー費、ホームページ更新費用
	顧問料	600,000	555,500	44,500	93%	税理士顧問料、社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	200,000	177,404	22,596	89%	ごみ処理券、電柱広告
	会員証関係費	1,700,000	1,944,609	△ 244,609	114%	全会員の会員証を一斉更新
8	事務所関係費	1,500,000	434,280	1,065,720	29%	
	固定資産税額分寄付	0	0	0	0%	(財)山岳基金に移項
	建物保険料・警備費	500,000	434,280	65,720	87%	セコム警備費・火災保険料
	事務所改築引当金寄付	1,000,000	0	1,000,000	0%	(財)山岳基金に移項
9	役員行動費	2,000,000	1,289,777	710,223	64%	会長・副会長・理事交通費・宿泊費
10	職員関係費	13,650,000	17,070,487	△ 3,420,487	125%	
	職員給与	11,000,000	13,097,039	△ 2,097,039	119%	2025/1～5は職員交替のため3名分
	法定福利費	2,170,000	1,943,607	226,393	90%	社会保険事業主負担、労働保険料
	福利厚生費	480,000	342,641	137,359	71%	通勤定期、健康診断
	退職金	0	1,687,200	△ 1,687,200	-	退職金予算計上もれ
11	カレンダー・テキスト費	2,150,000	2,401,492	△ 251,492	112%	
	カレンダー	2,000,000	1,934,352	65,648	97%	制作費、送料
	ハイキングABC	50,000	416,461	△ 366,461	833%	年間販売数 1168冊 増刷経費 予算未計上のため
	セカンドステップ	60,000	14,703	45,297	25%	年間販売数 595冊
	山筋ゴーゴー体操	10,000	15,396	△ 5,396	154%	年間販売数 294冊
	バッジ・腕章	0	0	0	-	
	その他書籍購入費	30,000	20,580	9,420	69%	書籍購入等
12	特定預金支出	2,100,000	2,100,000	0	100%	
	退職金引当積立金支出	2,100,000	2,100,000	0	100%	35万円×3名×2年分(前年計上漏れ分含む)
	財政安定積立金支出	0	0	0	-	
13	予備費	500,000	0	500,000	0%	
当期支出合計(C)		40,880,000	40,791,305	88,695	100%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 6,088,360	△ 4,532,609	△ 1,555,751	74%	
次期繰越収支差額(B)-(C)		806,015	2,361,766	△ 1,555,751	293%	

【特別会計】

貸借対照表

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	5,396,068		
現金	172		
普通現金	5,060,008		
郵便振替	335,888		
立替金	1,344,838		
流動資産合計		6,740,896	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	4		
その他の固定資産合計	4		
固定資産合計		4	
資産合計			6,740,900
【負債の部】			
流動負債			
未払金	43,040		
預り金	1,098,085		
流動負債合計		1,141,125	
負債合計			1,141,125
【正味財産の部】			
正味財産			5,599,775
(うち当期正味財産増加額)			(2,286,533)
負債及び正味財産合計			6,740,900

財産目録

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	5,396,068		
現金	172		
普通預金	5,060,008		
ゆうちょ銀行	5,060,008		
郵便振替	335,888		
〒・中央登山学校	335,888		
立替金	1,344,828		
労山基金	702,258		
一般会計	642,570		
流動資産合計		6,740,896	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	4		
その他の固定資産合計	4		
固定資産合計		4	
資産合計			6,740,900
【負債の部】			
流動負債			
未払金	43,040		
地方協議会	43,040		
預り金	1,098,085		
一般会計	1,016,706		
その他	60,000		
源泉税預り金	21,379		
流動負債合計		1,141,125	
負債合計			1,141,125
正味財産			5,599,775

正味財産増減計算書

2025年1月1日から2025年12月31日まで (単位:円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	2,286,533	2,286,533	
負債減少額			
増加額合計			2,286,533
【減少の部】			
資産減少額			
減少額合計			0
当期正味財産増加額			2,286,533
前期繰越正味財産額			3,313,242
期末正味財産合計額			5,599,775

2025年度 特別会計決算書

2025年1月1日～12月31日

《安全対策基金》

(単位：円)

I 収入の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	執行率	備考
1	労山基金振替収入	11,700,000	11,700,000	0	100%	基金払込金の20%ただし1,500万円を限度とする。(定款第4章11条の3)
2	雑収入	0	3,109	△ 3,109	-	預金利息
3	ココヘリ繰入金	870,000	934,956	△ 64,956	109%	ココヘリより
当期収入合計 (A)		12,570,000	12,638,065	△ 68,065	101%	
前期繰越収支差額		3,313,238	3,313,238	0	100%	
収入合計 (B)		15,883,238	15,951,303	△ 68,065	101%	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	執行率	備考
1	全国雪崩講習会	1,300,000	1,061,498	△ 238,502	81%	
2	技術教育関係費	2,220,000	1,585,930	△ 634,070	34%	
	役員・講師派遣費用	700,000	476,289	△ 223,711	68%	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	20,000	15,080	△ 4,920	75%	インストラクター養成費用
	ハイキングリーダー学校	300,000	308,491	8,491	103%	
	学習資料作成費	0	0	0	0%	雪崩テキスト改訂、事故防止マニュアル 他
	若手クライミング講習会	400,000	234,320	△ 165,680	59%	
	山筋・筋トレ講習関係	800,000	551,750	△ 248,250	69%	開催予定なし
3	救助隊関係費	900,000	617,989	△ 282,011	69%	
	全国救助技術交流集会	800,000	539,449	△ 260,551	67%	開催予定なし
	測定器他維持管理費	100,000	78,540	△ 21,460	79%	兵庫県・百丈やぐら
4	遭難対策関係費	1,270,000	594,812	△ 675,188	47%	
	遭難対策担当者会議	0	0	0	0%	
	全国山岳遭難対策協議会	10,000	0	△ 10,000	0%	
	S&R研究機構	200,000	200,000	0	100%	事故調査分担金、総会・会議参加交通日
	各学会参加費	20,000	0	△ 20,000	0%	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	300,000	0	△ 300,000	0%	登攀技術研修/事故の現場検証 他
	器材購入費	100,000	0	△ 100,000	0%	最新クライミング機器、消耗品購入 他
	岩場グレンデ環境整備費	300,000	100,000	△ 200,000	33%	
	登山道整備助成金	300,000	294,812	△ 5,188	98%	
	ココヘリ補助金労山捜索隊	40,000	0	△ 40,000	0%	会議・研修費
5	地方協議会補助費	2,870,000	2,037,800	△ 832,200	71%	
	ブロック雪崩講習会補助	1,650,000	1,227,800	△ 422,200	74%	※1
	ブロック安全対策講習会補助	1,220,000	810,000	△ 410,000	66%	※2
6	地方連盟登山学校・講習会補助	5,150,000	3,482,320	△ 1,667,680	67%	※3
7	事務費	2,100,000	971,183	△ 1,128,817	46%	振込手数料、アルバイト給与
8	予備費・雑費	79,528	0	△ 79,528	0%	
当期支出合計 (C)		15,889,528	10,351,532	△ 5,537,996	60%	
当期収支差額 (A) - (C)		△ 3,319,528	2,286,533	5,606,061		
次期繰越収支差額 (B) - (C)		△ 6,290	5,599,771	5,606,061		

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック安全対策講習会補助：18万円×2ブロック（4000人以上）、12万円×3ブロック（1000人～2000人未満）
10万円×5ブロック（1000人未満）

※3 20万円×2地方連盟（1000人以上）+15万円×7地方連盟（600人以上～1000人未満）
+12万円×6地方連盟（300人～600人未満）+10万円×16地方連盟（100人～300人未満）+8万円×17地方連盟（100人未満）

特別会計/地方協議会補助・地方連盟登山学校補助 2025年

ブロック	適用	地方協議会安全対策講習会		地方登山学校・講習会補助				
		北海道30万円他15万円	10~20万円	会員数	予算	送金日	補助金額	実施内容
北海道	道央	10/31 ¥300,000 第31回 北海道雪崩講習会	10/31 ¥100,000 道央地区連盟救助隊2025年 度春季訓練・冬季訓練	734	150,000	10/31	150,000	第54回北海道登山研究集会 開催
	道北			31	80,000	10/31	80,000	第54回北海道登山研究集会 開催
	道東			89	80,000	10/31	80,000	第54回北海道登山研究集会 開催
奥羽	青森県	2025 12/10 2026 1/6 ¥150,000 奥羽雪崩講習会2025	12/10 ¥50,000 青森県連救助隊交流会	152	100,000	12/10	100,000	第22回登山教室
	岩手県			225	100,000			
	秋田県			0	80,000			
東北	山形県	11/28 ¥150,000 東北雪崩講習会2025	6/3 ¥100,000 沢救助搬出技術研修会、クライ ミングレスキュー技術研修会、ク ライミング技術、雪山搬出技術研修 会	27	80,000			
	宮城県			114	100,000	5/1	100,000	初めての人のためのクライミング教室、初級沢登り教室、入門冬山登山学校
	福島県			88	80,000	12/22	80,000	歩行訓練講習会、岩登り講習会、沢登り講習会
関東	群馬県	10/31 ¥150,000 第33回関東雪崩講習会	5/1 ¥180,000 ハイキング安全講習会	348	120,000	6/3	120,000	気象、地図読、雪山講習会他
	栃木県			360	120,000	12/22	120,000	山岳講演会、岩の登り下り練習会
	茨城県			120	100,000	12/22	100,000	安全登山教室
	埼玉県			564	120,000	12/22	120,000	登山学校、各専門委員会講習会
	東京都			2,295	200,000	12/22	200,000	2025年度「クライミングリード」「マルチピッチクライミング」
	千葉県			632	150,000	10/31	150,000	雪上訓練、初級クライミング講習会、登山講習会、事故防止経験交流集会他
	神奈川県			508	120,000			
北信越	山梨県	12/10 ¥150,000 第28回 北陸雪崩講習会	5/1 ¥180,000 ハイキング安全講習会	108	100,000	5/1 10/31	80,000	転倒防止研究会、ハイキングセルフレスキュー講習会
	新潟県			214	100,000	10/28	100,000	安全登山教室
	富山県			85	80,000	6/3	100,000	労山県連登山セミナー2025
	石川県			254	100,000	12/23	43,320	2025年度 ステップアップ講習会、事故対処講習会
	福井県			62	80,000			
東海	長野県	10/31 ¥250,000 第25回東海ブロック雪崩講習会	5/1 ¥180,000 ハイキング安全講習会	252	100,000			
	静岡県			293	100,000	7/1	100,000	安全登山講習会、クライミング講習会
	愛知県			809	150,000	1/16	150,000	登山学校、雪山安全講習
	岐阜県			266	100,000	12/22	100,000	救助訓練、岩登り講習会、雪山歩行訓練
近畿	三重県	12/22 ¥150,000 第31回近畿ブロック雪崩 事故を防ぐための講習会	12/22 ¥180,000 第44回搬出技術講習会	4	80,000			
	滋賀県			174	100,000	10/28	100,000	バリエーション初級登山教室
	京都府			933	150,000	10/28	150,000	各種教室・講座
	奈良県			216	100,000	7/1	100,000	テーピング講習会、広域捜索訓練、ハイカーのための搬出講習会
	和歌山県			322	120,000	12/22	13,000	事故防止安全対策講習会
	大阪府			933	150,000	12/22	150,000	ハイキングセミナー、山の教室、初級・中級登山学校、岩登り体験教室他
中国	兵庫県	7/1 ¥127,800 遭難対策講習会	12/22 ¥180,000 第44回搬出技術講習会	1,954	200,000	12/22	200,000	登山寿命を延ばすための講習会、大山北壁雪稜講習会、山での応急手当
	鳥取県			4	80,000			
	島根県			142	100,000	10/28	100,000	山岳登山の安全対策講習会
	岡山県			844	150,000	12/22	150,000	2025年度安全登山講習
	広島県			205	100,000	3/4	100,000	第6回初級登山学校
四国	山口県	7/1 ¥127,800 遭難対策講習会	12/22 ¥180,000 第44回搬出技術講習会	80	80,000	12/22	80,000	安全登山講座
	香川県			274	100,000	10/28	100,000	県連講習、県東部地区登山講座、Enjoy登山学校
	徳島県			223	100,000	7/1	100,000	県民登山教室、まさかのときの対処法研修、岩登り教室、冬山登山教室
	高知県			95	80,000			
九州	愛媛県	7/1 ¥127,800 遭難対策講習会	12/22 ¥180,000 第44回搬出技術講習会	32	80,000	12/22	56,000	安全登山講習会、ロッククライミング講習会、沢登り講習会他
	福岡県			646	150,000			
	佐賀県			65	80,000	12/22	80,000	「遭難救助訓練」「地図読み講習」「けがの対処法」他
	長崎県			234	100,000	2/4	100,000	ストレッチ講座、沢登り講習会、搬出訓練・応急処置講演会他
	熊本県			39	80,000			
	大分県			50	80,000			
	宮崎県			39	80,000			
	鹿児島県			76	80,000	10/31	80,000	安全登山教室
沖縄県	18	80,000						
総合計	1,227,800	810,000					※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック ※2 ブロック安全対策講習会補助:18万円×2ブロック(4000~5000人未 満)+12万円×3ブロック(1000~2000人)、10万円×5ブロック(1000 人未満)	
予算額	1,650,000	1,220,000		5,190,000		3,632,320	※3 20万円×2地方連盟(1000人以上)+15万円×7地方連盟(600人 以上~1000人未満)+12万円×6地方連盟(300人~600人未満)+10 万円×16地方連盟(100人~300人未満)+8万円×18地方連盟(100人未 満)	
%	74.40%	66.30%				69.90%		

斜字は2026年度の支払い

労山基金運営委員会 第36期下期の総括

1. 加入者と運用の概況

労山基金個人の今期加入者数は14,957名（前年度比56名減）で、11月末の会員数に対する加入比率は93.1%（前年93.8%）だった。労山基金の寄付金は、個人が5587万3100円（前年度比約277万円減）、団体81万4000円（前年度比2000円増）の入金で、寄付金合計が5668万1100円（前年度比約277万円の減）となった。

交付件数は今年度291件、296名（前年度比0件2名増）で、交付金額は3768万0748円（前年度比約128万円の増）、寄付金の総額に対する交付率は66.5%となり昨年度と比べ、交付率は5%増えて65%を越えた。登山活動が活発化した昨年度と比べても事故がさらに増えた。今期の収入合計は寄付金、受取利息、その他を含め6032万5993円となり、交付金支払いや事務経費の支出合計は6405万0668円となり、約372.5万円の赤字だった。

一般財団法人山岳基金の2023年度仮払金と立替金を精算し、9082万円を寄付した。

2. 交付内容の内訳と前年度比

死亡・行方不明者の推移は、22年度7名、23年度6名、24年度は7名となり3年連続一桁台後半で推移した。2025年度の死亡交付者数は7名で、死亡交付金820万円（前年度は1,060万円）だった。

救助・捜索の交付金額は829万9468円（前年度370万8948円で前年度比224%）前年度より大幅に増加し2倍強となった。

救援者費用は4件、交付額は4万9086円だった。

入通院の交付は289名（前年度比5名の増）と微増したのに伴い、交付金額も1914万6800円と546.8万円増加（前年度比142%）した。

これまで全加入者数に対する登山中の事故交付率の平均は1.2%程度だったが、25年度は1.98%となり、24年度に続き加入者の50人に1人が事故者となった。

3. 活動の概要

(1) 交付申請の審議

事故一報、交付申請の遅れが数件あり厳正に審議した。遅れるに正当な理由があり、会が今後同じ間違いを起こさない為の対応策を会内に周知徹底することを条件に受理したものと、改善策がたてられない為受理出来ないものに明暗がわかれた。

また、交付特典申請においては、コースを特定するために多大な労力を要した。

昭文社の地図に該当がないものは公的な資料を要求して審査した。

(2) オンライン説明会

2025年11月12日（水）19時～20時半 運営委員10名：ZOOM参加者 240名

(3) 地方連盟単位現地説明会

2025年6月7日（土）岩手県連盟

運営委員2名が参加し、基金の説明を行なった。17名が参加した。

2025年6月8日（日）青森県連盟

運営委員2名が参加し、基金の説明を行なった。10名が参加した。

2025年6月28日（土）愛知県連盟

運営委員3名が参加し、基金の説明を行なった。20名が参加した。

2025年9月10日（水）松戸山の会

運営委員3名が参加し、基金の説明を行なった。55名が参加した。

【労山山岳事故対策基金 会計】

貸借対照表

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	5,086,056	
現金	153,628	
普通預金	4,932,428	
未収金	342,800	
仮払金	1,364,229	
流動資産合計		6,793,085
固定資産		
基本財産引当預金	3,856,185	
投 基本財産合計	123,000,000	
基本財産合計	126,856,185	
その他の固定資産		
安全対策引当有価	21,150,393	
安全対策引当普通	33,186,231	
構築物	76,287	
什器備品	1	
その他の固定資産合計	54,412,912	
固定資産合計		181,269,097
資産合計		188,062,182
【負債の部】		
流動負債		
預り金	717,943	
流動負債合計		717,943
固定負債		
安全対策引当金	54,336,624	
固定負債合計		54,336,624
負債合計		55,054,567
【正味財産の部】		
正味財産		133,007,615
うち基本金		126,856,185
うち正味財産減少額		71,598,130
負債および正味財産合計		188,062,182

正味財産増減計算書

2025年1月1日から2025年12月31日まで (単位:円)

科目	金額	
【増加の部】		
資産増加額		
当期収支差額	0	0
負債減少額		
安全対策引当金減少額	38,190,116	38,190,116
増加額合計		38,190,116
【減少の部】		
資産減少額		
基本財産減少額	10,000,550	
有価証券売却額	25,000,000	
構築物減価償却額	12,625	
減価償却引当預金取崩額	36,584,955	
安全対策引当預金取崩額	38,199,116	109,797,246
負債増加額		
減少額合計		109,797,246
当初正味財産減少額		71,598,130
前期繰越正味財産額		204,605,745
期末正味財産合計額		133,007,615

財産目録

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	5,086,056	
現金	153,628	
普通預金	4,932,428	
ゆうちょ銀行	1,511,942	
みずほ銀行	3,269,695	
三菱UFJ信託銀行	151,688	
大和ネクスト	3	
未収金	342,800	
その他の他	342,800	
仮払金	1,364,229	
その他	1,364,229	
流動資産合計		6,793,985
固定資産		
基本財産		
基本財産引当預金	3,856,185	
三菱UFJ銀行普通預金	3,856,185	
投資有価証券	122,000,000	
日興コーディアル証券	10,000,000	
野村証券	87,000,000	
大和証券	26,000,000	
基本財産合計	126,856,185	
その他の固定資産		
安全対策引当金有価証券	21,156,393	
野村証券	21,000,000	
野村・金銭	150,393	
安全対策引当普通預金	33,186,231	
現預金	13,100,632	
ゆうちょ銀行	3,943,831	
三菱UFJ信託	10,000,000	
三菱UFJ	6,141,768	
構築物	76,287	
什器備品	76,287	
その他の固定資産合計	54,412,912	
固定資産合計		181,269,097
資産合計		188,062,182
【負債の部】		
流動負債		
預り金	717,943	
特別会計	702,258	
新特別基金	5,000	
その他	5,000	
源泉税預り金	5,685	
流動負債合計		717,943
固定負債		
安全対策引当金	54,336,624	
固定負債合計		54,336,624
負債合計		55,054,567
正味財産		133,007,615

2025年 労山基金会計決算書

2025年1月1日～12月31日

I 収入の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	比率	備考
1	個人寄付金	56,014,100	58,381,900	△ 2,367,800	104%	
	継続	52,833,000	53,916,200	△ 1,083,200	102%	
	新規	2,755,600	3,577,900	△ 822,300	130%	
	増し口(追加)	185,000	417,000	△ 232,000	225%	
	移籍	240,500	470,800	△ 230,300	196%	
2	団体寄付金	824,000	810,000	14,000	98%	
3	受取利息	600,000	609,529	△ 9,529	102%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
	有価証券	600,000	563,590	36,410	0%	
	その他利息	0	45,939	△ 45,939	94%	
4	雑収入	0	2,049	△ 2,049	-	
5	減価償却引当金収入	0	36,584,955	△ 36,584,955	-	
6	基本財産収入	0	10,000,550	△ 10,000,550	-	
7	安全対策引当金預金取崩収入	113,024,278	35,098,564	77,925,714	31%	
8	有価証券償還収入	0	25,000,000	△ 25,000,000	-	
当期収入合計(A)		170,462,378	166,487,547	3,974,831	98%	
前期繰越収支差額		6,075,142	6,075,142	0	100%	
収入合計(B)		176,537,520	172,562,689	3,974,831	98%	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	差異	比率	備考
1	交付金	36,532,000	37,836,584	△ 1,304,584	104%	
	交付金	36,500,000	37,802,954	△ 1,302,954	104%	
	交付雑費	32,000	33,630	△ 1,630	105%	
2	行事主催者賠償責任保険	350,000	298,195	51,805	85%	
3	安全対策基金支出	11,700,000	11,700,000	0	100%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,508,300	1,511,595	△ 3,295	100%	地方連盟基金加入者数×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	9,200,000	8,639,137	560,863	94%	
	職員関係費	5,200,000	6,916,324	△ 1,716,324	133%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	臨時職員	4,000,000	1,722,813	2,277,187	43%	パート職員1名
8	事務経費	3,247,220	2,674,861	572,359	82%	
	PC器材・事務用品費	550,000	13,200	536,800	2%	
	通信費	600,000	881,123	△ 281,123	147%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	450,000	268,866	181,134	60%	基金実務担当者講習会、保険業法PT、委員交通費
	印刷・宣伝費	250,000	111,792	138,208	45%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	291,500	△ 27,500	110%	パソコンメンテナンス契約
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,000円/月×12ヶ月+決算処理101,000円
	弁護士顧問料	668,220	625,070	43,150	94%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	25,000	43,310	△ 18,310	173%	振り込み手数料他
9	寄付金	110,000,000	99,827,175	10,172,825	91%	財団法人山岳基金へ
当期支出合計(C)		176,537,520	166,487,547	10,049,973	94%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 6,075,142	0	△ 6,075,142		
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	6,075,142	△ 6,075,142		

〔一般財団法人 山岳基金〕

貸借対照表

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	56,010,861	
現金	100	
普通預金	4,685,949	
普通預金(外貨)	556,703	
定期預金	33,041,831	
定期預金(外貨)	12,140,294	
運用益預金	5,585,984	
流動資産合計		56,010,861
固定資産		
基本財産引当預金	3,000,000	
基本財産合計	3,000,000	
その他の固定資産		
土地	117,100,000	
建物	6,322,560	
投資有価証券野村	104,690,924	
投資有価証券大和	57,549,175	
みずほ建物積み立て	598,080	
固定資産合計	286,260,739	
資産合計		289,260,739
負債合計		345,271,600
【負債の部】		
固定負債		
建物積立金	598,080	
固定負債合計	598,080	
負債合計		598,080
【正味財産の部】		
正味財産		344,673,520
(うち基本金)		-3,000,000
(うち正味財産減少額)		108,283,516
負債および正味財産合計		345,271,600

正味財産増減計算書

2025年1月1日から2025年12月31日まで (単位:円)

科目	金額	
【増加の部】		
資産増加額		
当期収支差額	108,482,876	
建物積立増加	199,360	108,682,236
負債減少額		
増加額合計		108,682,236
【減少の部】		
資産減少額		
建物原価減少額	199,360	199,360
負債増加額		
建物積立繰入	199,360	199,360
減少額合計		398,720
当期正味財産増加額		108,283,516
全期繰越正味財産合計額		236,390,004
期末正味財産合計額		344,673,520

財産目録

2025年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	5,086,056	
現金 現金手元有高	100	
普通預金	4,685,949	
ゆうちょ銀行	4,115,655	
みずほ銀行	754	
大和ネクスト銀行	569,540	
普通預金(外貨)	556,703	
大和ネクスト普通預金外貨	556,703	
定期預金	33,041,831	
定期預金(外貨)	12,140,294	
大和定期預金外貨	12,140,294	
運用益預金	5,585,984	
流動資産合計		56,010,861
固定資産		
基本財産		
基本財産引当預金	3,000,000	
ゆうちょ銀行	3,000,000	
基本財産合計	3,000,000	
その他の固定資産		
土地	117,100,000	
建物	6,322,560	
投資有価証券野村	104,690,924	
投資有価証券野村	57,549,175	
みずほ建物積立	598,080	
その他の固定資産合計	286,260,739	
固定資産合計		289,260,739
資産合計		345,271,600
【負債の部】		
固定負債		
建物積立金	598,080	
固定資産合計		598,080
負債合計		598,080
正味財産		344,673,520

2025年 一般財団法人・山岳基金 決算書

2025年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	予算残	執行率	備考
1	受取配当分配利息	3,000,000	6,578,147	△ 3,578,147	219%	
	投資信託分配金		4,754,804	△ 4,754,804	-	
	手取配当金		538,258	△ 538,258	-	
	受取社債利息		1,271,994		-	
	その他利息		13,091		-	
2	雑収入	0	880	△ 880	-	
3	為替換算益	0	1,969,436	△ 1,969,436	-	
4	受取寄付金	110,000,000	102,261,366	7,738,634	93%	
5	建物積立繰入収入	1,000,000	0	1,000,000	0%	
当期収入合計(A)		114,000,000	110,809,829	3,190,171	97%	
前期繰越収支差額		109,768,084	109,768,084	0	100%	
収入合計(B)		223,768,084	220,577,913	3,190,171	98%	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年予算	2025年決算	差異	比率	備考
1	固定資産税	950,000	934,600	15,400	98%	
2	東京都税	64,000	70,000	△ 6,000	109%	
3	建物減価償却積立支出	199,360	199,360	0	100%	特別会計安全対策基金へ
4	建物再建積立	2,000,000	0	2,000,000	0%	地方連盟基金加入者数×100円+払込手数料
5	事務費	5,000	10,000	△ 5,000	200%	一般会計へ
6	為替換算損	0	1,110,293	△ 1,110,293	-	
7	雑費	0	2,700	△ 2,700	-	
当期支出合計(C)		3,218,360	2,326,953	891,407	72%	
当期収支差額(A)-(C)		110,781,640	108,482,876	2,298,764		
次期繰越収支差額(B)-(C)		220,549,724	218,250,960	2,298,764		

一般財団法人山岳基金への寄付金(2025年)

	月 日	団体・個人名	金額	備考
1	4月11日	山の会 樹眩霧	2,188,191	
2	5月9日	大分勤労者山岳会	10,000	
3	5月15日	川嶋高志	5,000	
4	5月26日	過去のカンパ	231,000	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
	合 計		2,434,191	

登山文化の継承・発展のための寄付金のお願ひ

日本勤労者山岳連盟は1960年の創立以来、日本の登山・アウトドア活動の継承・発展のために活動してきました。具体的には技術教育、遭難対策、自然保護、海外登山および国際平和、登山道の維持、山小屋などアウトドア活動施設の保全などです。この活動を継続し、より発展させていくために、広く寄付金を募集します。寄付をしていただいた金額は消費することなく一般財団法人山岳基金の預貯金や有価証券で運用し、その運用益で日本勤労者山岳連盟の目的達成のために、活動していきます。寄付をいただいた個人・団体は日本勤労者山岳連盟の総会で報告し、名称（匿名希望を除く）と日にち、金額を記録し、ホームページなどで公開します。記録は日本勤労者山岳連盟の歴史とともに、永遠に保存していきます。

登山・アウトドア活動を自由・平等にすべての人々が有効に利用する条件と環境を整備するために、日本勤労者山岳連盟は活動を続けていきます。この活動を支援していただける方からの、ご寄付を心からお待ちしています。

一般財団法人山岳基金

一口 5,000円～

寄付金口座 ゆうちょ銀行

記号 11310

番号 09156271

名称 ザイ) サンガクキキン

2025年2月16日

日本勤労者山岳連盟

会計監査報告書

2025年度（自2025年1月1日 至2025年12月31日）日本勤労者山岳連盟の監査を、2026年1月29日に当該全国連盟事務所内において行った結果、下記決算についてすべて公正妥当であり、適正に処理がなされていることを認めます。

記

- 1 一般会計
- 2 特別会計
- 3 機関誌会計
- 4 労山基金会計

2026年1月29日

日本勤労者山岳連盟

監事

田村 廣史



渡辺 三男



2026 年度予算案編成方針

財政部

<一般会計>

2026 年度は、全国の会員の皆さんから強い要望が寄せられていた、日本勤労者山岳連盟の連盟費引き下げが総会で提案されます。これを前提とした予算組みとしました。

従来の全国連盟費は、西暦 2000 年から適用されてきました。団体分担金（1 団体あたり年間 3600 円）と、会員 1 人あたり月額 130 円の 12 月分の合計となっています。提案はこのうち、会員 1 人あたり月額 130 円を 100 円に切り下げるものです。この措置が実現すれば、26 年ぶりの連盟費改定となります。

これによる引き下げ幅は、別紙をご参照ください（会員数 2000 名を超える東京都連盟と兵庫県連盟には特別な計算方法がありましたが、これも廃止が提案されています）。この改定による減額分は、ぜひ各会・各地方連盟で積極的に活用して、労山の組織と活動を強化・発展させるために使ってください。

この措置が可能となったのは、日本勤労者山岳連盟が、皆さんから拠出していただいた労山基金（以前は遭対基金）をもとに自己所有の事務所を取得し、それを法人化（「財団法人・山岳基金」）したことによります。この措置によって、これまでみなし法人で制限が多かった労山が、不動産部分については法人化され、法人名義で資産を保有できるようになりました。労山基金が保有していた資金の一部をこの法人に移転し、それを運用して運用益をうることができるようになったのです。これによって、連盟費を値下げする財源が生み出されました。

労山所有の不動産にかかわる事項については、一般会計から財団法人・山岳基金会計に移項しました

各項目の内訳は、活動内容に必要な金額を見積もり、また各専門部から提出された予算要求書を考慮して、算定しました。ただ、職員関係費は従来 2 名分を見積もっていました（もう 1 名は労山基金会計に計上）。退職により労山本部事務局は人員不足状態にあります。なんとか、これも解決したいものです。

<安全対策基金>

安全対策基金会計も、各部局からの必要額を見込んで、算定しました。そのなかで強化したのは、筋トレ普及のための講習会や、各地方連盟で講習会を実施する場合に、講師を積極的に派遣できるように、関係費を厚く見積もっています。

2026年度 一般会計予算案

2026年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	備考
1	連盟費収入	26,981,640	20,955,600	△ 6,026,040	523団体、15894名 新連盟費で計算
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,573,000	2,573,000	0	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	
	労山基金事務消耗費	600,000	600,000	0	
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	
	会議室分担金	113,000	113,000	0	
4	カレンダー・テキスト収入	2,756,120	2,382,000	△ 374,120	
	カレンダー連盟	1,728,000	1,750,000	22,000	一部800+送料等
	カレンダー一般	41,680	50,000	8,320	一部1,000+送料等
	ハイキングABC	321,100	80,000	△ 241,100	一部300円
	セカンドステップ	246,500	340,000	93,500	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	77,600	0	△ 77,600	発売を中止
	バッジ・腕章	2,700	2,000	△ 700	バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	198,440	20,000	△ 178,440	総合登山技術ハンドブック・その他
	登山時報	140,100	140,000	△ 100	
5	特定預金取崩収入	1,687,200	350,000	△ 1,337,200	
	退職給与引当金収入	1,687,200	350,000	△ 1,337,200	労山基金より職員1名分
6	雑収入	60,736	20,000	△ 40,736	
7	退職給与引当金取崩収入	1,687,200	0	△ 1,687,200	
当期収入合計(A)		36,258,696	28,480,600	△ 7,778,096	
前期繰越収支差額		6,894,375	2,361,766	△ 4,532,609	
収入合計(B)		43,153,071	30,842,366	△ 12,310,705	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	備考
1	会議費	3,315,716	3,040,000	△ 275,716	
	総会	0	3,000,000	3,000,000	会場費は低減したが、出席者増を見込む
	評議会	3,315,716	0	△ 3,315,716	
	理事会	0	40,000	40,000	拡大理事会1回
2	部局・委員会活動費	1,023,727	2,350,000	1,326,273	
	ハイキング委員会	149,574	250,000	100,426	委員会活動費、ハイキング集会后見費
	海外委員会	0	80,000	80,000	委員会活動費
	遭難対策部	8,794	100,000	91,206	委員会活動費
	自然保護委員会	173,897	250,000	76,103	委員会活動、自然保護憲章発送費用
	山筋ゴーゴー体操推進	0	90,000	90,000	委員会活動費
	メディア局	16,780	130,000	113,220	含 HP委員会
	組織部	7,171	300,000	292,829	委員会活動費
	国際関係	562,331	600,000	37,669	UAAA年会費、総会
	趣意書検討委員会	46,590	100,000	53,410	委員会活動費
	地方強化会議	58,590	450,000	391,410	地方連盟総会、会議参加交通費と宿泊費
3	渉外費・分担金	303,535	300,000	△ 3,535	新日本スポーツ連盟賛助金10万円、その他

II 支出の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	備考
4	全国集関係費	979,496	700,000	△ 279,496	
	ハイキング交流集会	0	350,000	350,000	開催予定なし
	登山者自然保護集会	392,810	0	△ 392,810	開催予定なし
	海外山行交流集会		350,000	350,000	ZOOMで開催予定
	第19回全国登山研究集会	586,686	0	△ 586,686	開催予定なし
5	機関担当者会議	0	800,000	800,000	
	組織担当者会議	0	0	0	開催せず
	自然保護担当者会議	0	800,000	800,000	
6	メディア関係費	4,024,960	4,000,000	△ 24,960	
	JWAF journal	1,026,099	1,000,000	△ 26,099	
	季刊・登山時報	2,070,351	2,000,000	△ 70,351	
	ホームページ	928,510	1,000,000	71,490	
7	事務局関係費	7,847,835	2,400,000	△ 5,447,835	
	水道光熱費	498,213	0	△ 498,213	(財)山岳基金へ移項
	事務機リース料	2,215,214	0	△ 2,215,214	(財)山岳基金へ移項
	事務消耗品費	440,737	0	△ 440,737	(財)山岳基金へ移項
	事務印刷費	585,352	0	△ 585,352	(財)山岳基金へ移項
	通信費	277,533	0	△ 277,533	(財)山岳基金へ移項
	電話料	186,667	0	△ 186,667	(財)山岳基金へ移項
	資料費	186,668	200,000	13,332	新聞・書籍・資料購入・NHK受信料
	ホームページ・PC関係費	779,938	1,000,000	220,062	プロバイター費、ホームページ更新費用
	顧問料	555,500	600,000	44,500	税理士顧問料、社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	177,404	200,000	22,596	ごみ処理券、電柱広告
	会員証製作費	1,944,609	400,000	△ 1,544,609	残務整理
8	事務所関係費	434,280	0	△ 434,280	
	固定資産税額分寄付	0	0	0	(財)山岳基金に移管
	建物保険料・警備費	434,280	0	△ 434,280	(財)山岳基金に移管
	事務所改築引当金寄付	0	0	0	(財)山岳基金に移管
9	役員行動費	1,289,777	2,000,000	710,223	会長・副会長・理事交通費・宿泊費
10	職員関係費	17,070,487	10,000,000	△ 7,070,487	
	職員給与	13,097,039	8,800,000	△ 4,297,039	職員1名、アルバイト職員
	法定福利費	1,943,607	1,000,000	△ 943,607	社会保険事業主負担、労働保険料
	福利厚生費	342,641	200,000	△ 142,641	通勤定期、健康診断
	退職金	1,687,200	0	△ 1,687,200	
11	カレンダー・テキスト費	2,401,492	2,460,000	58,508	
	カレンダー	1,934,352	2,000,000	65,648	制作費、送料
	ハイキングABC	416,461	30,000	△ 386,461	送料
	セカンドステップ	14,703	400,000	385,297	増刷予定
	山筋ゴーゴー体操	15,396	0	△ 15,396	
	バッジ・腕章	0	0	0	
	その他書籍購入費	20,580	30,000	9,420	書籍購入等
12	特定預金支出	2,100,000	2,100,000	0	
	退職金引当金預金支出	2,100,000	2,100,000	0	2名分
	財政安定積立金支出	0	0	0	
13	予備費	0	10,000	10,000	諸雑費
当期支出合計(C)		40,791,305	30,160,000	△ 10,631,305	
当期収支差額(A)-(C)		△ 4,532,609	△ 1,679,400	2,853,209	
次期繰越収支差額(B)-(C)		2,361,766	682,366	△ 1,679,400	

2026年度 特別会計予算案

2026年1月1日～12月31日

(単位:円)

《安全対策基金》

I 収入の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	備考
1	労山基金振替収入	11,700,000	11,000,000	700,000	基金払込金の20% ただし1,500万円を限度とする。 (定款第4章11条の3)
2	雑収入	3,109	0	3,109	預金利息
3	ココヘリ繰入金	934,956	940,000	△ 5,044	ココヘリより
当期収入合計(A)		12,638,065	11,940,000	698,065	
前期繰越収支差額		3,313,238	5,492,811	△ 2,179,573	
収入合計(B)		15,951,303	17,432,811	△ 1,481,508	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	備考
1	全国雪崩講習会	1,061,498	1,300,000	238,502	
2	技術教育関係費	1,542,890	2,300,000	757,110	
	新たな講習会関係費	0	1,000,000		筋トレ普及、登山寿命講習関係
	役員・講師派遣費用	433,249	1,000,000	566,751	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	15,080	100,000	84,920	インストラクター養成費用
	ハイキングリーダー学校	308,491	0	△ 308,491	
	若手クライミング講習会	234,320			
	山筋ゴーゴー体操講習会	551,750	0	△ 551,750	
	学習資料作成費	0	200,000	200,000	雪崩テキスト改訂、事故防止マニュアル 他
	全国登山学校担当者交流会	0	0	0	開催予定なし
3	救助隊関係費	617,989	100,000	△ 517,989	
	全国救助技術交流集会	539,449	0	△ 539,449	開催予定なし
	全国救助技術研修会	0	0	0	開催予定なし
	測定器他維持管理費	78,540	100,000	21,460	兵庫県・百丈やぐら
4	遭難対策関係費	594,812	2,600,000	2,005,188	
	遭難対策担当者会議	0	800,000	800,000	
	全国山岳遭難対策協議会	0	10,000	10,000	
	S&R研究機構	200,000	200,000	0	事故調査分担金、総会・会議参加交通日
	各学会参加費	0	20,000	20,000	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	0	500,000	500,000	登攀技術研修/事故の現場検証 他
	器材購入費	0	170,000	170,000	最新クライミング機器、消耗品購入 他
	岩場グレンゲ環境整備費	100,000	300,000	200,000	
	登山道整備助成金	294,812	300,000	5,188	
	ココヘリ補助金労山捜索隊	0	300,000	300,000	会議・研修費
5	地方協議会補助費	2,037,800	2,870,000	832,200	
	ブロック雪崩講習会補助	1,227,800	1,650,000	422,200	※1
	ブロック安全対策講習会補助	810,000	1,220,000	410,000	※2
6	地方連盟登山学校・講習会補助	3,632,320	4,950,000	1,317,680	※3
7	事務費	971,183	2,200,000	1,228,817	振込手数料、アルバイト給与
8	予備費・雑費	0	0	0	
当期支出合計(C)		10,458,492	16,320,000	5,861,508	
当期収支差額(A)-(C)		1,481,508	△ 4,380,000	△ 5,861,508	
次期繰越収支差額(B)-(C)		5,492,811	1,112,811	△ 4,380,000	

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック安全対策講習会補助:18万円×2ブロック(400人以上)、12万円×3ブロック(1000人～2000人未満)、10万円×5ブロック(1000人未満)

※3 20万円×2地方連盟(1,000人以上)+15万円×7地方連盟(600人以上～1,000人未満)

+12万円×5地方連盟(300人～600人未満)+10万円×17地方連盟(100人～300人未満)+8万円×15地方連盟(100人未満)

労山基金運営委員会 第37期上期の方針

1. 基金加入者の要望や利益を考えて、引き続き制度の改善に取り組む。
2. 会・クラブ基金担当者へ「労山基金説明会」を開催する。開催方法は、Zoomを用いたオンライン会議及びリアル対面方式によるハイブリッド開催とする。開催単位は年1回の全国オンライン会議および開催要望があった地方連盟で開催する。
3. 「山と自然ネットワークコンパス (COMPASS) : 略称コンパス」に関する山行計画書の円滑な提出、指定山域での登山届の義務及び自治体・警察との連携などの運用制度の理解を深めるためにコンパスのオンライン説明会を開催する (遭難対策部と共催)。
4. 短期掛け捨て保険については現行制度を維持していく。
同じく、行事主催者賠償責任保険も引き続き現行制度を維持し、加入に伴う掛け金は全額労山基金が負担する (無料)。
個人賠償責任保険を必要とする会員にはココヘリへの加入促進、または自身の生命保険や自動車保険に付属する保険で対応するように訴えていく。
5. 一般財団法人山岳基金へ運営資金として債権償還分を拠出 (移行) する。
既に山岳基金に寄付した2億円に加えて、残りの債権2億円を順次移行させ、2030年までに完了させる。
6. 「日本勤労者山岳連盟 労山山岳事故対策基金規定 (略称: 労山基金)」制度の見直しを1年かけて検討する。具体的には細則-1の [交付金額および算出方法] の項目、 [救助・捜索交付]、入通院に関する「加入者障害交付」を過去の交付額に基づき精査する。その結果として細則-3 [交付の特典] についても見直しを検討する。
7. 共済を考える懇話会などの共同活動を進める。また、山岳共済や民間保険などの情報について広く収集し、労山基金の優位性につなげていく。

2026年 労山基金会計予算書

2026年1月1日～12月31日

I 収入の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	差異	比率	備考
1	個人寄付金	58,381,900	55,873,100	△ 2,508,800	96%	
	継続	53,916,200	52,688,000	△ 1,228,200	98%	2025年末、登録口数より算出
	新規	3,577,900	2,765,000	△ 812,900	77%	
	増し口(追加)	417,000	167,000	△ 250,000	40%	
	移籍	470,800	253,100	△ 217,700	54%	
2	団体寄付金	810,000	814,000	4,000	100%	
3	受取利息	609,529	600,000	△ 9,529	98%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
4	減価償却引当金収入	36,584,955	12,625	△ 36,572,330	-	
5	その他収入	2,049	3,000	951	-	
6	安全対策引当金繰出収	70,099,114	10,454,353	△ 59,644,761	-	
	財団法人山岳基金拠出金	45,099,114	10,454,353	△ 34,644,761	-	
	労山基金運営費用	25,000,000	0	△ 25,000,000	-	
当期収入合計		166,487,547	67,757,078	△ 98,730,469	41%	
前期繰越収支差額		6,075,142	6,075,142	0		

II 支出の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	差異	比率	備考
1	交付金	37,836,584	38,035,000	198,416	101%	
	交付金	37,802,954	38,000,000	197,046	101%	
	交付雑費	33,630	35,000	1,370	104%	交付金の払込手数料
2	行事主催者賠償責任保険	298,195	350,000	51,805	117%	
3	安全対策基金支出	11,700,000	11,000,000	△ 700,000	94%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,511,595	0	△ 1,511,595	0%	地方連盟基金加入者数15,013名×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	8,639,137	7,400,000	△ 1,239,137	86%	
	職員関係費	6,916,324	5,200,000	△ 1,716,324	75%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	パート職員	1,722,813	2,200,000	477,187	128%	給与費・法定福利費・福利厚生費
8	事務経費	2,674,861	3,047,220	372,359	114%	
	事務入力委託費	0	0	0	-	
	パソコン器材・事務用品費	13,200	200,000	186,800	1515%	労山システム追加・修正、公益法人会計ソフト
	通信費	881,123	800,000	△ 81,123	91%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	268,866	400,000	131,134	149%	基金実務担当者講習会・地方連盟説明会交通費、保険業法PT
	印刷・宣伝費	111,792	250,000	138,208	224%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	291,500	264,000	△ 27,500	91%	労山システムメンテナンス契約@22,000円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,500円/月×12ヶ月+決算処理110,000円
	弁護士顧問料	625,070	668,220	43,150	107%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	43,310	25,000	△ 18,310	58%	振り込み手数料他
9	減価償却引当預金支出	0	0	0	-	事務所減価償却額を定期預金へ
10	財団法人拠出金(寄付)	99,827,175	10,000,000	△ 89,827,175	-	一般財団法人山岳基金への拠出(寄付)
11	安全対策引当金繰入支出	0	0	0	-	
当期支出合計		166,487,547	73,832,220	△ 92,655,327		
当期収支差額		0	△ 6,075,142			
次期繰越収支差額		6,075,142	0			

2026年 一般財団法人山岳基金予算書

2026年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	比率	備考
1	受取配当分配利息	6,578,147	7,500,000	921,853	114%	投信、社債利息、配当金
2	為替換算益	1,969,436	0	△ 1,969,436		
3	受取寄付金	102,261,366	10,000,000	△ 92,261,366		
4	雑収入	880	0	△ 880	0%	振込料補填
当期収入合計(A)		110,809,829	17,500,000	△ 93,309,829	16%	
前期繰越収支差額		109,768,084	218,240,960	108,472,876	199%	
収入合計(B)		220,577,913	235,740,960	15,163,047	107%	

II 支出の部

科目	補助科目	2025年決算	2026年予算	増減	比率	備考
1	事務局関係費	0	5,150,000	5,150,000	-	2025年は一般会計で434,280
	水道光熱費	0	500,000	500,000	-	2025年は一般会計で498、213
	事務機リース料	0	2,500,000	2,500,000	-	2025年は一般会計で2,215,214
	事務消耗品費	0	450,000	450,000	-	2025年は一般会計で449,737
	事務印刷費	0	600,000	600,000	-	2025年は一般会計で585,352
	通信費	0	300,000	300,000	-	2025年は一般会計で277,533
	電話料	0	200,000	200,000	-	2025年は一般会計で186,667
	顧問料	0	600,000	600,000	-	2025年は一般会計で555,500
2	事務所関係費	1,004,600	1,470,000	465,400	146%	
	固定資産税	934,600	950,000	15,400	102%	土地・建物
	東京都税	70,000	70,000	0	100%	法人住民税
	建物保険料・警備費	0	450,000	450,000	-	2025年は一般会計で434,280
3	建物減価償却積立	199,360	199,360	0	100%	
4	建物再建積立	0	4,000,000	4,000,000	-	2025未執行分も含め2年分
5	職員関係費	0	3,000,000	3,000,000	-	非正規、事務費負担
6	事務費	10,000	10,000	0		登記印紙
7	為替換算損	1,110,293	0	△ 1,110,293	0%	
8	雑費	12,700	300,000	287,300	2362%	ごみ処理券、電柱広告、振込手数料等
当期支出合計(C)		2,336,953	14,129,360	11,792,407	605%	
当期収支差額(A)-(C)		108,472,876	3,370,640	△ 105,102,236	3%	
次期繰越収支差額(B)-(C)		218,240,960	221,611,600	3,370,640	102%	

第37期上期(2026年)連盟費一覽表

連盟費	団体数	加入人数	2026年度・連盟費		合計	1期 納期 3/31	2期 納期 6/30	3期 納期 9/30	4期 納期11/30
			一律分担金	比例分担金					
道 央	19	724	68,400	868,800	937,200	234,300	234,300	234,300	234,300
道 北	2	33	7,200	39,600	46,800	11,700	11,700	11,700	11,700
道 東	3	88	10,800	105,600	116,400	29,100	29,100	29,100	29,100
青森県	4	150	14,400	180,000	194,400	48,600	48,600	48,600	48,600
岩手県	7	233	25,200	279,600	304,800	76,200	76,200	76,200	76,200
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	2	28	7,200	33,600	40,800	10,200	10,200	10,200	10,200
宮城県	5	124	18,000	148,800	166,800	41,700	41,700	41,700	41,700
福島県	6	86	21,600	103,200	124,800	31,200	31,200	31,200	31,200
群馬県	12	350	43,200	420,000	463,200	115,800	115,800	115,800	115,800
栃木県	11	363	39,600	435,600	475,200	118,800	118,800	118,800	118,800
茨城県	8	100	28,800	120,000	148,800	37,200	37,200	37,200	37,200
埼玉県	29	550	104,400	660,000	764,400	191,100	191,100	191,100	191,100
東京都	96	2,276	345,600	2,731,200	3,076,800	769,200	769,200	769,200	769,200
千葉県	13	606	46,800	727,200	774,000	193,500	193,500	193,500	193,500
神奈川県	19	516	68,400	619,200	687,600	171,900	171,900	171,900	171,900
山梨県	2	102	7,200	122,400	129,600	32,400	32,400	32,400	32,400
新潟県	9	215	32,400	258,000	290,400	72,600	72,600	72,600	72,600
富山県	3	83	10,800	99,600	110,400	27,600	27,600	27,600	27,600
石川県	6	241	21,600	289,200	310,800	77,700	77,700	77,700	77,700
福井県	4	63	14,400	75,600	90,000	22,500	22,500	22,500	22,500
長野県	10	257	36,000	308,400	344,400	86,100	86,100	86,100	86,100
静岡県	13	274	46,800	328,800	375,600	93,900	93,900	93,900	93,900
愛知県	20	780	72,000	936,000	1,008,000	252,000	252,000	252,000	252,000
岐阜県	6	267	21,600	320,400	342,000	85,500	85,500	85,500	85,500
三重県	3	4	10,800	4,800	15,600	3,900	3,900	3,900	3,900
滋賀県	6	182	21,600	218,400	240,000	60,000	60,000	60,000	60,000
京都府	18	909	64,800	1,090,800	1,155,600	288,900	288,900	288,900	288,900
奈良県	6	210	21,600	252,000	273,600	68,400	68,400	68,400	68,400
和歌山県	10	304	36,000	364,800	400,800	100,200	100,200	100,200	100,200
大阪府	45	915	162,000	1,098,000	1,260,000	315,000	315,000	315,000	315,000
兵庫県	39	1,962	140,400	2,354,400	2,494,800	623,700	623,700	623,700	623,700
鳥取県	1	4	3,600	4,800	8,400	2,100	2,100	2,100	2,100
島根県	3	131	10,800	157,200	168,000	42,000	42,000	42,000	42,000
岡山県	6	743	21,600	891,600	913,200	228,300	228,300	228,300	228,300
広島県	9	203	32,400	243,600	276,000	69,000	69,000	69,000	69,000
山口県	2	70	7,200	84,000	91,200	22,800	22,800	22,800	22,800
香川県	8	248	28,800	297,600	326,400	81,600	81,600	81,600	81,600
徳島県	7	218	25,200	261,600	286,800	71,700	71,700	71,700	71,700
高知県	3	90	10,800	108,000	118,800	29,700	29,700	29,700	29,700
愛媛県	3	32	10,800	38,400	49,200	12,300	12,300	12,300	12,300
福岡県	25	635	90,000	762,000	852,000	213,000	213,000	213,000	213,000
佐賀県	2	66	7,200	79,200	86,400	21,600	21,600	21,600	21,600
長崎県	8	239	28,800	286,800	315,600	78,900	78,900	78,900	78,900
熊本県	3	36	10,800	43,200	54,000	13,500	13,500	13,500	13,500
大分県	2	46	7,200	55,200	62,400	15,600	15,600	15,600	15,600
宮崎県	2	40	7,200	48,000	55,200	13,800	13,800	13,800	13,800
鹿児島県	2	78	7,200	93,600	100,800	25,200	25,200	25,200	25,200
沖縄県	1	20	3,600	24,000	27,600	6,900	6,900	6,900	6,900
合計	523	15,894	1,882,800	19,072,800	20,955,600	5,238,900	5,238,900	5,238,900	5,238,900

第37期上期 (2026年) 連盟費一覽表

2025年				2026年				減少額
地方連盟	団体数	加入人数	年間連盟費	地方連盟	団体数	加入人数	年間連盟費	
道 央	19	734	1,213,440	道 央	19	724	937,200	276,240
道 北	2	31	55,560	道 北	2	33	46,800	8,760
道 東	3	89	149,640	道 東	3	88	116,400	33,240
青森県	4	152	251,520	青森県	4	150	194,400	57,120
岩手県	7	225	376,200	岩手県	7	233	304,800	71,400
秋田県	0	0	0	秋田県	0	0	0	0
山形県	2	27	49,320	山形県	2	28	40,800	8,520
宮城県	5	114	195,840	宮城県	5	124	166,800	29,040
福島県	6	88	158,880	福島県	6	86	124,800	34,080
群馬県	12	348	586,080	群馬県	12	350	463,200	122,880
栃木県	12	360	604,800	栃木県	11	363	475,200	129,600
茨城県	8	120	216,000	茨城県	8	100	148,800	67,200
埼玉県	30	564	987,840	埼玉県	29	550	764,400	223,440
東京都	100	2,295	3,784,800	東京都	96	2,276	3,076,800	708,000
千葉県	15	632	1,039,920	千葉県	13	606	774,000	265,920
神奈川県	19	508	860,880	神奈川県	19	516	687,600	173,280
山梨県	2	108	175,680	山梨県	2	102	129,600	46,080
新潟県	9	213	364,680	新潟県	9	215	290,400	74,280
富山県	3	85	143,400	富山県	3	83	110,400	33,000
石川県	6	254	417,840	石川県	6	241	310,800	107,040
福井県	4	63	112,680	福井県	4	63	90,000	22,680
長野県	10	252	429,120	長野県	10	257	344,400	84,720
静岡県	13	293	503,880	静岡県	13	274	375,600	128,280
愛知県	20	809	1,334,040	愛知県	20	780	1,008,000	326,040
岐阜県	7	266	440,160	岐阜県	6	267	342,000	98,160
三重県	3	4	17,040	三重県	3	4	15,600	1,440
滋賀県	5	174	289,440	滋賀県	6	182	240,000	49,440
京都府	18	933	1,520,280	京都府	18	909	1,155,600	364,680
奈良県	6	216	358,560	奈良県	6	210	273,600	84,960
和歌山県	11	322	541,920	和歌山県	10	304	400,800	141,120
大阪府	45	933	1,617,480	大阪府	45	915	1,260,000	357,480
兵庫県	39	1,954	3,074,160	兵庫県	39	1,962	2,494,800	579,360
鳥取県	1	4	9,840	鳥取県	1	4	8,400	1,440
島根県	4	142	235,920	島根県	3	131	168,000	67,920
岡山県	8	844	1,345,440	岡山県	6	743	913,200	432,240
広島県	9	205	352,200	広島県	9	203	276,000	76,200
山口県	2	80	132,000	山口県	2	70	91,200	40,800
香川県	8	274	456,240	香川県	8	248	326,400	129,840
徳島県	7	223	373,080	徳島県	7	218	286,800	86,280
高知県	3	95	159,000	高知県	3	90	118,800	40,200
愛媛県	3	32	60,720	愛媛県	3	32	49,200	11,520
福岡県	26	646	1,101,360	福岡県	25	635	852,000	249,360
佐賀県	2	65	108,600	佐賀県	2	66	86,400	22,200
長崎県	8	234	393,840	長崎県	8	239	315,600	78,240
熊本県	3	39	71,640	熊本県	3	36	54,000	17,640
大分県	2	50	85,200	大分県	2	46	62,400	22,800
宮崎県	2	39	68,040	宮崎県	2	40	55,200	12,840
鹿児島県	2	76	125,760	鹿児島県	2	78	100,800	24,960
沖縄県	1	18	31,680	沖縄県	1	20	27,600	4,080
合 計	536	16,232	26,981,640	合 計	523	15,894	20,955,600	6,026,040

都道府県連盟別組織推移表（2025年11月末日数）

年度 都道府県	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
										団体数	会員数
全体	19,528	19,029	18,802	18,238	17,550	17,106	16,814	16,616	16,232	523	15,894
北海道	807	822	821	829	806	825	837	822	854	24	845
青森県	165	181	175	160	150	162	163	170	152	4	150
岩手県	290	285	280	265	257	252	244	242	225	7	233
秋田県	5	5	5	2	2	2	0	0	0	0	0
山形県	17	45	35	35	34	31	33	31	27	2	28
宮城県	122	122	122	116	131	135	136	135	114	5	124
福島県	131	130	133	106	113	100	91	83	88	6	86
群馬県	403	394	408	387	364	336	323	324	348	12	350
栃木県	474	470	457	440	391	372	370	338	360	11	363
茨城県	190	179	176	166	149	140	130	124	120	8	100
埼玉県	647	632	621	608	615	620	589	590	564	29	550
東京都	2,700	2,613	2,588	2,547	2,466	2,393	2,366	2,351	2,295	96	2,276
千葉県	756	754	696	694	663	657	628	637	632	13	606
神奈川県	654	635	623	521	507	520	509	508	508	19	516
山梨県	72	69	70	68	82	75	80	80	108	2	102
新潟県	267	277	284	275	254	249	228	230	213	9	215
富山県	128	135	138	123	121	124	113	102	85	3	83
石川県	261	270	275	275	259	255	263	267	254	6	241
福井県	62	76	69	72	68	68	70	75	63	4	63
長野県	373	358	339	313	288	255	253	259	252	10	257
静岡県	570	566	515	445	422	378	375	341	293	13	274
愛知県	1,128	1,019	996	976	913	893	870	861	809	20	780
岐阜県	294	298	295	288	278	284	294	287	266	6	267
三重県	10	2	2	2	2	2	2	4	4	3	4
滋賀県	220	216	209	207	171	164	166	177	174	6	182
京都府	1,002	1,019	1,000	954	938	927	914	922	933	18	909
奈良県	275	233	233	224	238	225	222	223	216	6	210
和歌山県	395	366	347	352	350	347	335	322	322	10	304
大阪府	1,348	1,275	1,252	1,215	1,140	1,059	973	935	933	45	915
兵庫県	2,124	2,043	2,067	2,025	1,967	1,923	1,991	2,014	1,954	39	1,962
鳥取県	28	24	34	32	32	4	4	4	4	1	4
島根県	213	208	203	196	199	189	156	156	142	3	131
岡山県	806	805	844	867	851	815	851	854	844	6	743
広島県	264	246	255	270	256	258	261	212	205	9	203
山口県	57	74	78	79	80	84	81	87	80	2	70
香川県	255	252	252	261	266	252	261	265	274	8	248
徳島県	225	221	211	217	211	219	213	224	223	7	218
高知県	137	117	128	117	103	98	97	94	95	3	90
愛媛県	65	66	66	57	49	49	30	32	32	3	32
福岡県	873	856	829	807	741	753	730	682	646	25	635
佐賀県	80	78	80	80	80	70	70	67	65	2	66
長崎県	248	261	280	270	251	252	240	235	234	8	239
熊本県	88	85	83	81	79	82	62	61	39	3	36
大分県	48	54	48	42	47	51	51	52	50	2	46
宮崎県	57	62	59	54	49	47	41	39	39	2	40
鹿児島県	123	109	100	100	93	90	78	74	76	2	78
沖縄県	71	22	21	18	24	20	20	24	18	1	20

2024年、2025年組織数比較表

	2024	2025		増 減		2024	2025		増 減
	会員数	団体数	会員数	増減数		会員数	団体数	会員数	増減数
合 計	16232	523	15894	-338	岐阜県	266	6	267	1
北海道央	734	19	724	-10	三重県	4	3	4	0
北海道北	31	2	33	2	滋賀県	174	6	182	8
北海道東	89	3	88	-1	京都府	933	18	909	-24
青森県	152	4	150	-2	奈良県	216	6	210	-6
岩手県	225	7	233	8	和歌山県	322	10	304	-18
秋田県	0	0	0	0	大阪府	933	45	915	-18
山形県	27	2	28	1	兵庫県	1954	39	1962	8
宮城県	114	5	124	10	鳥取県	4	1	4	0
福島県	88	6	86	-2	島根県	142	3	131	-11
群馬県	348	12	350	2	岡山県	844	6	743	-101
栃木県	360	11	363	3	広島県	205	9	203	-2
茨城県	120	8	100	-20	山口県	80	2	70	-10
埼玉県	564	29	550	-14	香川県	274	8	248	-26
東京都	2295	96	2276	-19	徳島県	223	7	218	-5
千葉県	632	13	606	-26	高知県	95	3	90	-5
神奈川県	508	19	516	8	愛媛県	32	3	32	0
山梨県	108	2	102	-6	福岡県	646	25	635	-11
新潟県	214	9	215	1	佐賀県	65	2	66	1
富山県	85	3	83	-2	長崎県	234	8	239	5
石川県	254	6	241	-13	熊本県	39	3	36	-3
福井県	62	4	63	1	大分県	50	2	46	-4
長野県	252	10	257	5	宮崎県	39	2	40	1
静岡県	293	13	274	-19	鹿児島県	76	2	78	2
愛知県	809	20	780	-29	沖縄県	18	1	20	2

会員数100人以上の会・クラブ一覧

連盟	団体名	人数	連盟	団体名	人数
道央	札幌中央勤労者山岳会	154	大阪	豊中勤労者山岳会	135
群馬	太田ハイキングクラブ	126	兵庫	神戸中央山の会	141
栃木	宇都宮ハイキングクラブ	160	兵庫	西宮山岳会	150
東京	ぶなの会	147	兵庫	西宮明昭山の会	300
東京	町田グライス山の会	140	兵庫	摩耶山友会	190
千葉	ちば山の会	103	岡山	倉敷ハイキング倶楽部	284
千葉	千葉こまくさハイキングクラブ	126	岡山	山陽カルチャーマウンテンクラブ	350
神奈川	藤沢山の会	102	徳島	徳島山と友の会	103
愛知	名古屋山岳同志会	104	福岡	あだると山の会	113
愛知	東三河山ぽ会	155	福岡	みどる山の会	116
京都	西山ハイキングクラブ	144			

2026年版労山カレンダー (2026/01/30)

販売 (地方連盟・加盟団体扱い)

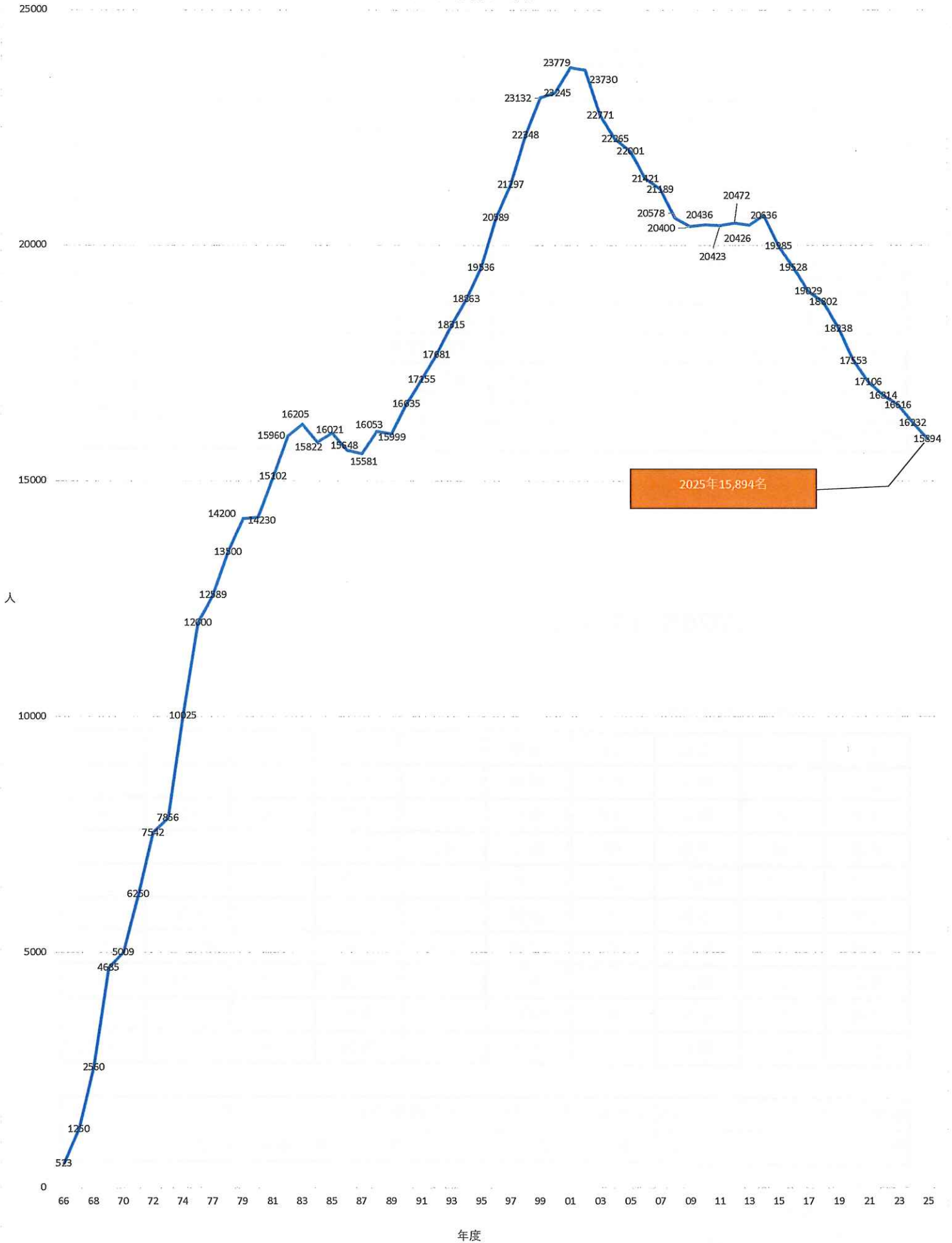
道央	42	茨城	21	長野	27	兵庫	95	福岡	200
道北	0	埼玉	121	静岡	92	鳥取	4	佐賀	15
道東	0	東京	205	愛知	75	島根	36	長崎	40
青森	34	千葉	65	岐阜	44	岡山	70	熊本	17
岩手	112	神奈川	22	三重	0	広島	36	大分	35
山形	4	山梨	8	滋賀	7	山口	25	宮崎	9
宮城	58	新潟	107	京都	209	香川	60	鹿児島	28
福島	24	富山	0	奈良	6	徳島	40	沖縄	20
群馬	72	石川	40	和歌山	23	高知	23		
栃木	68	福井	0	大阪	55	愛媛	30	合計	2,324

販売 (一般)	96	写真採用者予約購入、全国連盟直販、イベント販売
贈呈 (一般)	224	名誉会員・顧問、カレンダー製作 (写真応募者 各1部など)

※合計の出荷部数2644部。作成部数3000部。

※25年度実績 = 地方連盟販売2,294部、贈呈306部

労山会員数の推移



2025年15,894名

202 年度 第 36 期下期 (2025 年 1 月以降) 加盟団体一覽

加盟団体 2025 年 1 月 1 日以降受付分

受理番号	地方連盟	団体名	団体番号	創立年月日	加盟年月日	男性	女性	合計
1	滋賀	びわ湖山技会	250606	2025/04/01	2025/04/01	1	0	1
2	東京	山楽会	120348	2024/01/01	2025/04/01	2	2	4
3	東京	HIMALAYANS	120624	2025/04/01	2025/04/01	3	2	5
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

脱退・解散届け 第36期下期 (2025年度)

受理番号	地方連盟	団体名	加盟年月	脱退年月	会員数	脱退の理由・理由
1	岡山	新見ハイキングクラブ	2005/08	2025/03/25	29	高齢化で県連行事に参加できない。
2	長野	松本勤労者山岳会	1966/01	2025/04/01	8	会員数の減少により会運営が困難になった。
3	栃木	南那須山楽会	1978/06	2025/06/26	3	会員を取り巻く環境の変化で先鋭的山行継続が困難になった。
4	愛知	ちんぐるま	1987/07	2025/08/07	5	高齢化で休会状態、2024年5月末で解散した。
5	岡山	ピーク・フレンズ・クラブ	1998/09	2025/08/07	11	会長逝去で臨時総会により労山脱退を決めた。
6	東京	目白山岳会	1974/12	2025/08/25	9	高齢化で少人数となり、組織維持が困難。
7	東京	新宿山の会	2000/07	2025/09/11	6	高齢化で会活動継続が困難、解散を決めた。
8	東京	K9-SAR 岳の会	2013/09	2025/09/11	4	会長逝去で活動が無くなった。
9	東京	クラウドナインCN	2008/04	2025/09/11	4	会の代表ともう1名が他界したため。
10	和歌山	和歌山アルパインクラブ	1973/11	2025/11/06	5	高齢化で日常登山が困難なので解散を決めた。
11	島根	出雲山の会	1974/08	2025/12/10	10	会員数が減少したため。
12	千葉	まっど山翠会	2001/01	2025/12/10	18	会員の高齢化で連盟行事に参加できないため。
13	千葉	千葉民医連山を歩こう会	1993/03	2025/12/10	4	会員数の減少と高齢化で山に登れないため。
14	京都	舞鶴勤労者山岳会	1975/08	2025/12/19	14	会員数の減少と高齢化で新人獲得が困難。
15	岐阜	あるばいんKANI	2010/04	2025/12/22	8	県連活動についていけなくなった。
16	東京	光陽山の会	1973/04	2025/12/31	4	会員の減少で会を解散する。
17	東京	登嶺会	1969/01	2025/12/31	10	会としての活動が無くなった。
18	東京	東京港区ハイキングクラブ	1976/06	2025/12/31	5	会員の減少と高齢化のため会を解散した。
19	福岡	山岳山遊会	2022/02	2025/12/31	4	会員の総意による解散。
20						

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	総計 (団体数)			555	536	523			
	総計 (会員数)			16,616	16,232	15,894	7,942	8,368	14,796
北海道・道央地区連盟	団体数			19	19	19			19
	小計 会員数			707	734	724	364	360	668
	小樽勤労者山岳会	66.01	011101	36	35	35	22	13	28
	札幌FC GROUPE DE ROCHER	92.04	011201	8	8	8	5	3	8
	札幌中央勤労者山岳会	76.07	011301	151	162	154	89	65	132
	札幌ピオレ山の会	76.08	011302	44	38	40	20	20	40
	札幌北稜クラブ	76.07	011303	45	40	49	33	16	45
	札幌山びこ山友会	81.01	011304	43	53	57	26	31	57
	札幌登攀倶楽部	83.06	011305	9	9	9	8	1	9
	山遊会 ル・レラ	13.03	011311	4	4	4	2	2	4
	さっぽろ山遊会	14.12	011312	48	53	40	13	27	38
	スマイル・マウンテン・クラブ		011313	49	52	57	32	25	57
	同人ラリーグラス	06.10	011402	11	12	14	0	14	14
	同人スソク	16.02	011403	4	4	4	2	2	4
	地図とコンパスで歩く会	23	011404	2	2	2	1	1	1
	ハイキングクラブみどりの風	82.04	011601	29	34	30	6	24	30
	百松山岳会	85.12	011602	42	43	47	27	20	38
	ハイキングネットワークこだま倶楽部	90.12	011603	13	13	11	5	6	11
	函館山楽クラブ	97.06	011604	72	62	61	19	42	54
	パビシエ・マウンテン・クラブ	07.04	011605	85	98	96	50	46	92
	リベルテ	23	011901	12	12	6	4	2	6
北海道・道北地区連盟	団体数			2	2	2			2
	小計 会員数			32	31	33	17	16	14
	旭川勤労者山岳会	70.04	012101	28	27	29	14	15	11
	オホーツク山の会	05.06	012103	4	4	4	3	1	3
北海道・道東地区連盟	団体数			3	3	3			3
	小計 会員数			83	89	88	53	35	81
	帯広勤労者山岳会	71.11	013101	39	42	46	27	19	42
	釧路勤労者山岳会	68.12	013201	31	36	33	21	12	30
	北見勤労者山岳会	16.11	013203	13	11	9	5	4	9
青森県	団体数			5	4	4			5
	小計 会員数			170	152	150	76	74	127
	青森勤労者山岳会	71.02	020101	82	76	74	35	39	69
	青森ファミリーハイキングクラブ	83.12	020103	22	21	22	7	15	14
脱退	白神・十二湖ハイキングクラブ	06.05	020301	6	脱退	脱退			
	八戸勤労者山岳会		020601	21	21	22	15	7	22
	弘前勤労者山岳会	72.06	020603	39	34	32	19	13	22
岩手県	団体数			8	7	7			9
	小計 会員数			242	225	233	98	135	243
脱退	一関勤労者山岳会	70.04	030101	脱退	脱退	脱退			
	アウトドアを楽しむ会	98.06	030102	25	23	14	4	10	25
	いわて生協山の会	98.06	030103	14	13	12	3	9	14
	釜石勤労者山岳会	66.05	030201	35	30	33	17	16	37
	胆江勤労者山岳会	70.01	030401	23	28	29	14	15	20
	花巻山友会	75.09	030601	43	36	38	10	28	43
脱退	宮古勤労者山岳会	74.11	030701	5	脱退	脱退			
	盛岡山友会	87.01	030702	82	80	94	43	51	92
	RAM	16.	030901	15	15	13	7	6	12
秋田県	団体数			0	0	0			0
	小計 会員数			0	0	0	0	0	
山形県	団体数			2	2	2			2
	小計 会員数			31	27	28	21	7	28
	やまがた山歩会	96.07	050701	9	6	7	7	0	7
	Rousan鶴岡	17.04	050901	22	21	21	14	7	21
宮城県	団体数			5	5	5			4
	小計 会員数			135	114	124	78	46	126
	石巻山の会	70.08	060101	34	34	34	21	13	36
	同人すばる	86.02	060402	5	4	4	3	1	0
	古川どっぼ山の会	79.07	060601	6	7	8	4	4	8
	朋友会	69.06	060602	80	56	62	42	20	66
	みやぎトレッキングクラブ	20.11	060701	10	13	16	8	8	16
福島県	団体数			6	6	6			5
	小計 会員数			83	88	86	57	29	80
	郡山勤労者山岳会	66.02	070201	31	35	34	26	8	33
	鹿島厚生病院山クラブ	47.12	070204	4	4	4	2	2	0

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	相馬山歩会	96.09	070301	14	15	13	5	8	14
	福島勤労者山の会	70.06	070601	11	10	10	6	4	11
	フィエスタの谷	05.04	070605	21	22	23	17	6	20
	山クラブ ぶなの実	22.04	070801	2	2	2	1	1	2
群馬県	団体数			12	12	12			12
	小計 会員数			324	348	350	156	194	350
	太田ハイキングクラブ	75.04	080105	118	127	126	47	79	127
	NJKクラブ高峰		080106	3	3	3	1	2	2
	桐生勤労者山岳会	68.01	080202	3	3	3	2	1	3
	甘楽町山の会	86.04	080203	17	18	20	10	10	13
	高崎勤労者山岳会		080401	12	12	10	7	3	11
	ぼんぼこ山の会		080601	15	16	21	9	12	24
	PURPLE SNOW & WIND		080602	34	37	35	22	13	37
	前橋勤労者山岳会	68.02	080701	20	29	21	10	11	27
	前橋ハイキングクラブ	81.09	080703	60	60	69	25	44	64
	モンテ アルパインクラブ	00.02	080704	9	9	7	5	2	7
	毛ッ久里山の会	10.06	080705	22	22	23	13	10	23
	やまなみ (山脈)	03.12	080801	11	12	12	5	7	12
栃木県	団体数			11	12	11			10
	小計 会員数			338	360	363	143	220	379
	宇都宮山の会	75.03	090102	8	8	8	6	2	10
	宇都宮ハイキングクラブ	81.04	090103	160	160	160	60	100	177
	上三川ハイキングクラブ	03.06	090201	10	10	12	6	6	15
	山岳同人 野武士	24.05	090302		3	3	3	0	2
	栃木岳人クラブ	96.04	090401	4	4	4	3	1	4
	つむぎ山悠会	14.04	090403	13	14	15	5	10	15
	野木山想会	92.03	090502	85	95	99	39	60	91
脱退	南那須山楽会	78.06	090701	3	3	脱退			
	マロニエハイキングクラブ	94.04	090702	21	28	24	7	17	24
	マウントアンサンブル	05.04	090703	5	5	5	2	3	6
	山人 (やまんど) クラブ	03.04	090802	27	28	31	10	21	35
	労山かぬま	05.11	090901	2	2	2	2	0	
茨城県	団体数			7	8	8			8
	小計 会員数			124	120	100	55	45	136
脱退	笠間おちこち山の会	72.12	100102	脱退	脱退	脱退			
	茨城やまね会	24.06	100105		3	3	3	0	3
	古河青峰山の会	73.02	100202	6	5	3	3	0	3
	取手山の会	76.05	100402	24	18	22	10	12	25
	つくばね山の会	84.01	100403	23	21	28	16	12	28
	チームやまや	11.02	100405	5	5	5	4	1	5
	ハイキングクラブ のんびり	76.09	100601	24	25	20	7	13	21
	水戸っ歩山の会	03.05	100704	32	32	6	3	3	37
	ラリグラス	99.01	100901	10	11	13	9	4	14
埼玉県	団体数			32	30	29			29
	小計 会員数			590	564	550	277	273	550
	あすなる山岳会	68.11	110102	4	4	4	4	0	1
	浦和くまざさ山岳会	70.07	110103	15	16	16	12	4	16
	大宮勤労者山岳会	65.04	110104	73	67	59	33	26	56
	アルパインクラブNPOさいたま	06.07	110112	33	34	34	24	10	34
	熊谷トレッキング同人	96.12	110201	22	20	25	16	9	19
	登山クラブやまなみ	91.07	110205	22	22	20	9	11	26
	北本山の会	00.05	110206	9	8	8	3	5	8
	ハイキングクラブ上里	01.01	110207	7	8	8	2	6	9
	クライミングさいたま		110209	8	17	32	22	10	28
	山の子倶楽部	89.04	110301	9	9	8	2	6	8
脱退	川越ハイキングクラブ・ピスターリ	95.12	110303	26	脱退	脱退			
	山楽童人グループマジ	13.03	110304	5	5	5	4	1	4
	彩の山友会	13.03	110305	7	7	6	5	1	5
	紫翠山岳会	16.04	110307	15	16	17	6	11	17
	指扇山の会	23	110308	5	6	7	3	4	7
	椽山岳会	66.09	110401	3	3	3	3	0	3
	所沢ハイキングクラブ	70.06	110402	32	36	43	21	22	47
	登攀クラブ岩つばめ	92.11	110403	7	5	6	4	2	7
	秩父アルペンクラブ	05.01	110405	21	24	23	5	18	25
脱退	新座山の会	93.07	110501	30	30	脱退			
	日進山岳会	08.02	110502	35	33	31	15	16	34
	飯能勤労者山岳会	76.01	110602	19	18	18	11	7	20
	深谷こまくさ山の会	84.01	110605	29	33	30	12	18	30

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	富士見市嶮山の会	92.11	110606	36	34	36	10	26	36
	ハイジアルペンクラブ	97.11	110607	23	22	24	10	14	22
	日和田アルパインクラブ	98.12	110609	6	6	6	4	2	6
脱退	バル・ブランチ	10.07	110611	4	脱退	脱退			
	蓮田山の会	21.05	110612	2	2	3	1	2	3
新規	バッカス山の会	23	110613	7	7	7	7	0	7
	三郷山の会	94.05	110701	27	25	24	10	14	24
	わらび山の会	66.09	110802	20	16	16	10	6	16
	荻歩歩富士見山の会	90.04	110804	29	31	31	9	22	32
脱退	山ぼうし	19.02	110805	脱退	脱退	脱退			
東京都	2,357名			104	100	96			100
	小計			2,351	2,295	2,276	1,187	1,089	2,253
東京都・千代田区連盟				194	199	201	136	65	209
	同人クライミングファイト	95.01	120414	46	51	54	36	18	54
	ぶなの会	66.11	120605	148	148	147	100	47	155
東京都・中央区連盟				66	61	64	37	27	55
	銀座山の会	66.11	120207	35	31	33	21	12	27
	山岳会ヤマニテ	73.07	120310	31	30	31	16	15	28
脱退	山の会樹眩霧	66.12	120804	脱退	脱退	脱退			
東京都・港区連盟				62	60	52	22	30	50
	東京みなと山の会	66.11	120417	56	55	52	22	30	50
	東京港区ハイキングクラブ	76.07	120418	6	5	脱退			
東京都・新宿区連盟				74	67	65	34	31	62
	溪嶺会	69.01	120202	9	9	10	7	3	10
	光陽山の会	73.04	120203	4	4	脱退			
	グループ わたすげ	03.04	120220	5	5	6	3	3	4
脱退	新宿山の会		120304	6	脱退	脱退			
	東京ろうあ者山の会	74.09	120403	15	15	16	5	11	16
	東京岳遊会	66.12	120444	12	11	11	10	1	10
	峰凌倶楽部	75.06	120603	12	11	11	9	2	11
	山の会 さくら草	14.11	120819	5	5	4	0	4	5
	山の会 こぶし	14.11	120820	6	7	7	0	7	6
東京都・東部地区連盟				83	82	62	30	32	46
脱退	あらかわ山の会		120101	5	脱退	脱退			
	江戸川山の会	66.04	120102	12	15	15	8	7	14
	墨田山の会	78.02	120301	31	33	31	11	20	24
	東部教職員山の会	76.10	120401	6	6	6	4	2	
	登嶺会	69.01	120402	10	10	脱退			
	らくらくハイキングクラブ	83.07	120901	12	11	10	7	3	8
	わたすげハイキングクラブ	97.04	120904	7	7	脱退			
東京都・みなみ地区連盟				230	221	212	97	115	237
	大田山の会	66.04	120107	55	60	60	40	20	78
	大田ハイキングクラブ	73.08	120108	50	50	40	12	28	43
	大田山友会	90.04	120109	9	11	10	5	5	10
	大田・わたすげの会	00.08	120121	6	6	7	1	6	7
	品川山の会・さんかくてん	85.08	120316	58	60	58	24	34	61
	じょうなんハイカーズ	20.07	120347	2	2	2	1	1	1
	めぐろ山学クラブ・仲間	65.11	120704	18	13	11	4	7	11
	目黒ハイキングクラブ		120705	30	17	22	8	14	24
	山の仲間「山風」	98.01	120813	2	2	2	2	0	2
東京都・渋谷区連盟				21	18	19	12	7	0
	渋谷山の会 ウルスカディ	09.01	120124	21	18	19	12	7	
東京都・練馬区連盟				207	208	224	106	118	243
	ぐるうぶ山人	74.07	120208	41	43	43	10	33	44
	石神井山の会	93.09	120317	85	85	95	46	49	103
	練馬山の会	71.06	120504	81	80	86	50	36	96
東京都・豊島区連盟				31	31	21	14	7	21
	東京雪稜会	76.06	120410	20	20	21	14	7	21
	目白山岳会	74.12	120701	11	11	脱退			
東京都・北区連盟				56	46	48	30	18	48
	田端雪稜山岳会	79.09	120412	11	11	12	9	3	12
	淡歩歩山の会	05.07	120434	41	32	32	19	13	31
	東京緑峰クラブ	09.03	120439	4	3	4	2	2	5
脱退	モンテローザ山の会	80.06	120702	脱退	脱退	脱退			
東京都・多摩東部連盟				140	126	130	55	75	133
	北多摩山の会		120211	33	32	31	16	15	32
	グループ・どっぺる	78.04	120212	31	36	47	10	37	55

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	山座会	70.06	120319	40	28	22	14	8	19
	ふくろうハイキングクラブ	97.02	120608	17	11	13	5	8	14
	むさしの山の会	66.03	120708	15	15	13	7	6	13
	むさしの“どっぼ”	89.12	120709	4	4	4	3	1	0
東京都・多摩北部連盟				105	97	96	35	61	84
	多摩みどり山遊会	00.04	120426	11	11	9	5	4	10
	チーム バガボンズ	05.01	120432	2	2	2	1	1	2
	野火止山の会	75.09	120505	59	53	54	20	34	46
	コスモス山の会	91.04	120612	33	31	31	9	22	26
東京都・府中市連盟				35	37	37	17	20	37
	Climbing NAKAMA	03.12	120334	2	2	2	1	1	2
	山の会「かたつむり」	84.07	120809	33	35	35	16	19	35
東京都・町田市(準地区連盟)				138	141	140	66	74	134
	町田グライス山の会	84.03	120710	138	141	140	66	74	134
東京都(地区連盟無所属)				892	885	891	487	404	869
	板橋勤労者山岳会	66.03	120111	39	37	36	22	14	37
	神楽坂アルパインクラブ	95.06	120112	4	4	5	4	1	5
	八王子おおるり山の会	97.03	120113	95	91	93	42	51	80
	oak	09.07	120125	6	6	6	4	2	5
	MGC	14.12	120127	10	10	9	7	2	9
	AMC	15.04	120128	1	1	1	0	1	1
	アルペンブルーメ	20.07	120129	10	14	15	6	9	15
	earth (アース)	22.03	120130	3	3	3	2	1	3
	神田山の会	66.12	120206	47	41	40	18	22	41
脱退	狛江山遊会	87.12	120213	脱退	脱退	脱退			
	C・C” 扉”	01.04	120218	3	2	2	1	1	2
	クラウドナイン・クライマーズ・ネット	08.04	120222	5	4	脱退			
脱退	K9-SAR 岳の会		120224	4	脱退	脱退			
	杉並勤労者山岳会	66.06	120306	69	75	79	51	28	71
	杉並山の会	78.02	120308	57	54	45	20	25	49
	世田谷山ぞくの会	72.12	120314	3	3	3	2	1	3
	世田谷山友会	00.03	120315	86	88	85	41	44	72
	山岳同いかわせみ	92.01	120324	4	4	4	3	1	4
	新婦人青梅ハイキング小組・スイビ-班	98.09	120326	16	15	14	1	13	16
	日本ロープレスキュー協会	98.04	120327	2	2	2	2	0	2
	さわらび山の会	00.07	120331	40	42	43	22	21	42
	雲表倶楽部	04.02	120335	22	26	26	21	5	27
	山の会 やまづと	08.06	120339	47	47	49	27	22	59
	山岳同人GRAPPA	08.06	120340	4	4	4	3	1	4
	G登攀クラブ	09.03	120341	21	20	19	13	6	22
	新婦人けやき班ハイキング小組	12.03	120344	11	11	10	0	10	10
	アルムクラブTokyo	10.11	120346	7	7	7	4	3	7
	登攀クラブNCP	84.04	120408	6	6	6	3	3	6
	チーム 吾赤紅(われもこう)	07.03	120436	4	4	4	2	2	4
脱退	地形図研究会	10.06	120440	5	脱退	脱退			
脱退	痛恨	13.03	120441	4	脱退	脱退			
	Team CELL	14.3	120442	9	10	10	5	5	10
	Team Diagonal	14.12	120443	10	8	10	7	3	10
	日本エキスパートクライマーズクラブ	04.03	120510	27	26	27	23	4	26
	プリムラ山の会	83.10	120607	10	10	10	7	3	10
	ハイキングクラブ四季	79.06	120609	9	8	8	6	2	8
	ハイキングクラブ・ジャンダルム	93.09	120611	9	12	6	4	2	9
	ポーラスター山岳会	01.12	120617	5	5	5	3	2	0
	5.10クラブ	04.08	120619	2	2	2	2	0	1
	ポレポレ倶楽部山の子	07.03	120621	20	19	19	10	9	19
	Haruhiraa Club	15.01	120623	11	9	8	7	1	8
	めぐろ山の会	90.01	120706	20	23	27	10	17	27
	民医連東京共済山の会	90.02	120707	15	15	18	6	12	19
	無想・転生	09.07	120713	4	6	6	5	1	6
	山セミの会	96.06	120807	16	17	18	8	10	14
	山の会ふみあと	73.07	120810	18	18	18	10	8	18
	雪豹同人	13.05	120818	2	2	2	1	1	1
	HC Wild Berry	17.11	120909	25	20	20	9	11	23
	ROUSANパートナーズ	17.11	120910	39	43	49	33	16	50
	労山マスターズ	19.06	120911	2	2	2	2	0	0
	リトルベアー	23	120912	4	4	4	2	2	3
	リベロ山の会	24.02	120913		5	3	1	2	2
新規	HIMALAYANS	25.04	120624			5	3	2	5

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
新規	山楽会	25.04	120348			4	2	2	4
東京都・学生団体				17	16	14	9	5	25
	東京農工大学ワグナーフォーゲル部	97.05	120506	17	16	14	9	5	25
千葉県	団体数			15	15	13			15
	小計 会員数			637	632	606	277	329	635
	市川山の会	00.10	130101	7	7	5	3	2	4
脱退	君津ケルン山の会	70.02	130201	脱退	脱退	脱退			
	かがりび山の会	95.08	130202	40	37	37	19	18	38
	岳人あびこ	96.10	130203	53	56	59	23	36	62
	ちば山の会	66.11	130401	103	104	103	54	49	112
	千葉こまくさハイキングクラブ	84.01	130403	137	137	126	51	75	130
	東葛山の会	84.05	130404	54	56	55	25	30	56
	船橋勤労者山の会	77.06	130603	26	23	21	16	5	22
	ふわくハイキングサークル	97.05	130604	61	51	50	11	39	52
	茂原道標山の会	71.04	130701	13	19	20	9	11	21
	松戸山の会	83.04	130702	75	78	78	40	38	81
脱退	まつど山翠会	01.11	130705	17	15	脱退			
	まつど遠足クラブ1年さくら組	04.01	130706	14	12	15	5	10	18
	山の会らんたん	84.12	130802	26	24	27	14	13	29
脱退	千葉民医連山を歩こう会	93.03	130803	4	4	脱退			
	山の会「岳樺クラブ」	94.02	130804	7	9	10	7	3	10
神奈川県	団体数			20	19	19			19
	小計 会員数			508	508	516	278	238	458
	小田原ナーゲル山の会	71.01	140102	18	16	19	8	11	15
	M&C	11.03	140104	18	20	20	13	7	17
	川崎勤労者山岳会	67.01	140201	16	17	24	14	10	18
	川崎ハイキングクラブ	78.02	140202	94	90	91	40	51	64
	川崎柴笛クラブ	74.01	140203	16	16	16	9	7	14
	カモの会	98.03	140209	46	47	32	20	12	31
	Grazie(グランチェ)	13.10	140211	14	12	10	7	3	10
	銀嶺会		140212	5	5	4	0	4	4
	相模アルパインクラブ	74.01	140301	41	40	41	24	17	32
	さがみ山友会	93.03	140304	13	17	17	13	4	15
	山岳素行童人メーグリ家	08.07	140307	7	7	9	8	1	9
	SAWAMAFIA	22.04	140308	10	6	18	15	3	18
	山学同人稜風会	23	140309	1	6	6	5	1	2
	地平線の会	00.04	140401	7	7	5	0	5	6
	藤沢山の会	82.06	140601	99	101	102	37	65	103
	みずなら山の会	88.11	140702	31	28	28	15	13	25
	アルパインクラブ横浜		140801	31	36	41	29	12	41
	雪童山の会	00.01	140807	18	17	20	13	7	18
	やま十十(やまぶらぶら)	03.01	140808	18	20	13	8	5	16
脱退	山ブキの会	07.04	140809	5	脱退	脱退			
山梨県	団体数			2	2	2			2
	小計 会員数			80	108	102	43	59	102
	彷徨倶楽部	20.03	150601	10	13	7	4	3	5
	山梨山の会	98.03	150801	70	95	95	39	56	97
新潟県	団体数			9	9	9			9
	小計 会員数			230	214	215	130	85	228
	糸魚川勤労者山岳会	76.01	160101	24	21	21	9	12	20
	十日町おだまき山の会	82.09	160102	41	40	39	24	15	42
	阿賀山の会	98.06	160103	21	18	19	5	14	22
	清津山の会	76.12	160201	22	19	19	11	8	20
	長岡勤労者山岳会	69.01	160501	30	29	29	23	6	30
	新潟山友会	76.08	160502	8	7	7	5	2	6
	新潟クライミングクラブ	96.07	160503	31	33	35	27	8	40
	新潟岳遊塾	05.01	160504	3	3	3	2	1	4
	みちぐさ山の会	69.07	160701	50	44	43	24	19	44
富山県	団体数			4	3	3			3
	小計 会員数			102	85	83	42	41	88
	富山勤労者山岳会	66.07	170403	29	23	22	15	7	22
	富山ハイキングクラブ	78.01	170404	35	32	32	14	18	34
脱退	辿山会		170407	3	脱退	脱退			
	三島野スポーツクラブ	99.05	170701	35	30	29	13	16	32
石川県	団体数			6	6	6			6
	小計 会員数			267	254	241	131	110	265
	でんでん虫倶楽部	74.12	180201	9	9	8	7	1	10
	小松ブルーベル山の会	51	180203	79	79	70	41	29	73

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	金沢ハイキングクラブ	81.01	180204	103	98	94	39	55	114
	チャムラン山の会	80.01	180401	35	30	26	16	10	26
	めっこ山岳会	66.10	180701	25	24	23	19	4	21
	白山フウロ山岳会	84.10	180702	16	14	20	9	11	21
福井県		団体数		5	4	4			4
	小計	会員数		75	62	63	35	28	57
	あしハイキングクラブ	00.03	190101	27	27	29	14	15	25
	あし山遊会		190102	15	16	15	4	11	15
	ケルン山の会	00.03	190201	12	7	7	7	0	4
	ベルグラ山の会	00.03	190602	14	12	12	10	2	13
脱退	山っ子の会	00.03	190801	7	脱退	脱退			
長野県		団体数		11	10	10			10
	小計	会員数		259	252	257	170	87	249
	伊那山仲間	75.01	200102	26	21	22	15	7	12
	大町勤労者山の会	66.08	200103	28	27	27	18	9	29
	駒ヶ根山岳会	66.01	200202	13	13	13	9	4	10
	クライミングメイト山の子	01.07	200205	9	9	9	8	1	12
	上小山の会	66.01	200301	23	23	23	15	8	26
	佐久アッセントクラブ	75.07	200303	47	50	51	27	24	54
	佐久山の会	66.08	200304	34	40	43	29	14	46
	茅野しらびそ山の会	77.07	200306	12	13	13	8	5	1
	山岳会ロック&ブッシュ	80.07	200308	20	18	19	16	3	20
	まみくとい山の会	68.01	200501	38	38	37	25	12	39
脱退	松本勤労者山岳会	66.01	200701	9	脱退	脱退			
静岡県		団体数		13	13	13			13
	小計	会員数		341	293	274	147	127	300
	天城やまの会	87.12	210105	35	25	25	10	15	30
	あさざり山の会	89.11	210104	51	50	51	18	33	52
	静岡勤労者山岳会	66.08	210301	51	49	48	31	17	54
	清水勤労者山岳会	66.08	210302	17	10	17	11	6	16
	静岡安倍っ子山の会	84.04	210303	13	6	5	2	3	5
	裾野麗峰山の会	94.03	210305	15	9	7	4	3	5
	沼津勤労者山岳会	85.01	210501	11	10	8	5	3	10
	ナチュラルマウンテリングクラブ	00.04	210502	11	11	11	6	5	10
	浜松勤労者山岳会	85.04	210604	45	42	41	22	19	39
	浜松山の会フレンズ	87.08	210606	12	12	12	9	3	12
脱退	ふじ山楽歩山の会	07.12	210609	脱退	脱退	脱退			
	三島勤労者山岳会	73.01	210701	47	37	34	22	12	34
	焼津山の会	79.12	210802	8	8	9	3	6	9
	山登歩勤労者山の会	89.01	210803	25	24	6	4	2	24
愛知県		団体数		21	20	20			21
	小計	会員数		861	809	780	377	403	776
	あつた勤労者山岳会	69.03	220104	46	42	41	18	23	47
	おやこ山の会	82.09	220111	5	5	5	2	3	2
	犬山勤労者山の会マップ	85.07	220112	62	50	50	21	29	49
脱退	アリス山の会	97.09	220113	脱退	脱退	脱退			
	春日井峠の会	74.06	220201	48	47	41	18	23	41
	かわせみ山楽会	82.04	220202	12	12	12	6	6	15
	じねんじょ山の会	82.07	220303	45	46	39	23	16	40
	スルジェ山の会		220304	38	36	35	13	22	19
	東海山岳会	69.03	220403	22	23	23	18	5	21
	ちんぐるま	87.06	220404	5	脱退	脱退			
	名古屋山岳同志会	73.05	220501	98	101	104	64	40	106
	名古屋山歩会	74.05	220502	17	7	7	2	5	7
	低い山を楽しむ会	71.11	220503	10	10	10	6	4	8
	名古屋ありんこ山岳会	81.02	220506	31	25	22	12	10	20
	名古屋アルパインスピリッツクラブ	93.02	220511	25	23	22	15	7	21
	ふわく山の会	79.04	220602	37	28	17	9	8	14
	半田ファミリー山の会	81.12	220603	62	60	60	23	37	62
	東三河山ぼ会	84.07	220604	151	156	155	65	90	159
	みどり山の会	98.11	220703	31	30	30	9	21	32
	若駒山岳会	69.03	220801	28	26	19	12	7	23
	山の会「くらら」	96.01	220802	82	79	80	38	42	81
	尾張ハイキングクラブ	23	220803	6	3	8	3	5	9
岐阜県		団体数		7	7	6			7
	小計	会員数		287	266	267	145	122	275
	大垣勤労者山岳会	70.12	230101	57	58	60	35	25	64
脱退	あるばいんKANI	92.04	230102	9	8	脱退			

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	岐阜ケレン山岳会	69.04	230201	50	45	48	31	17	58
	多治見 ろうざん		230401	44	42	41	19	22	34
	中津川勤労者山岳会	69.05	230501	19	17	19	16	3	19
	瑞浪山の会	74.01	230701	18	16	15	10	5	15
	みのハイキングクラブ	97.11	230702	90	80	84	34	50	85
三重県	団体数			3	3	3			3
	小計 会員数			4	4	4	3	1	4
	伊賀忍NMC	23	240102	2	2	2	1	1	2
	三重っぱりな山の会	23	240103	1	1	1	1		1
	松阪勤労者山岳会	71.08	240701	1	1	1	1		1
滋賀県	団体数			6	5	6			6
	小計 会員数			177	174	182	85	97	157
	湖南岳友会	78.01	250201	30	30	29	16	13	5
	滋賀山友会	71.11	250301	73	78	82	36	46	83
脱退	シヤクナゲ廻行クラブ	95.05	250302	5	脱退	脱退			
	ちごゆり山歩会	86.09	250402	20	17	17	6	11	17
	比良雪稜会	79.01	250602	40	39	39	21	18	39
	山の会オフトレイル	01.08	250605	9	10	13	5	8	11
	びわ湖山技会		250606			2	1	1	2
京都府	団体数			20	18	18			18
	小計 会員数			922	933	909	366	543	838
	乙訓山の会		260102	98	96	91	41	50	67
	京都右京勤労者山岳会		260201	57	56	59	24	35	56
	京都左京勤労者山岳会	68.06	260204	24	22	21	13	8	19
	京都明峯勤労者山岳会	78.02	260207	59	63	57	26	31	54
	京都洛中勤労者山岳会		260208	94	94	84	40	44	84
	WAO亀岡		260209	39	43	44	19	25	43
脱退	チーム クラマガチ	97.04	260210	2	脱退	脱退			
	京都伏見山の会	09.05	260212	50	49	45	15	30	46
	樹の根17組	17.06	260213	13	15	14	0	14	14
	丹波勤労者山岳会	83.09	260401	15	13	11	6	5	5
	西山ハイキングクラブ	86.11	260501	132	141	144	45	99	152
	福知山山の会	98.08	260603	32	34	42	20	22	43
	舞鶴勤労者山岳会	77.05	260701	15	15	14	5	9	
	ハイキングクラブ舞鶴山遊会	9801	260702	36	34	37	17	20	36
	京都田辺山友会	80.06	260801	40	42	52	17	35	52
	やましな山の会	86.09	260802	86	88	75	35	40	54
	山城・山の会	96.11	260803	22	18	16	7	9	12
	丹後山の会 (与謝山の会)	02.10	260804	48	58	54	18	36	52
	らくなん山の会	01.04	260904	55	52	49	18	31	49
	Lantan	19.04	260905	5	脱退	脱退			
奈良県	団体数			6	6	6			6
	小計 会員数			223	216	210	93	117	211
	オオヤマレンゲ山の会	02.05	270103	15	14	14	4	10	16
	山風舎	20.04	270302	8	7	7	3	4	3
	奈良勤労者山岳会	69.04	270501	99	94	92	44	48	89
	奈良ハイキングクラブ	75.08	270502	75	75	70	27	43	72
	西大和山の会	82.05	270504	22	22	23	11	12	27
脱退	山行人山楽会	11.07	270801	脱退	脱退	脱退			
	やまと山遊会	11.07	270802	4	4	4	4	0	4
和歌山県	団体数			11	11	10			11
	小計 会員数			322	322	304	123	181	258
	有田山の会	75.08	280101	45	45	47	18	29	38
	紀峰山の会	74.01	280201	72	66	62	33	29	66
	紀北亀足会	95.08	280202	3	3	3	2	1	
	さんぼの会		280301	8	8	13	2	11	12
	はしもと山の会	83.05	280601	6	6	5	5	0	5
	ハハコグサトレッキングクラブ		280602	4	3	3	1	2	3
	紀州山友会	74.11	280701	48	47	45	18	27	45
	みちくさハイキングクラブ	79.06	280702	78	85	74	32	42	43
解散	やまなみハイキングクラブ		280704	3	3	4	2	2	
脱退	和歌山アルパインクラブ		280801	5	5	脱退			
	わかやまハイキングクラブ	75.04	280802	50	51	48	10	38	46
大阪府	団体数			45	45	45			45
	小計 会員数			935	933	915	472	443	907
	COWAC	75.02	290102	10	8	8	5	3	4
	大阪たつの子勤労者山岳会	72.04	290104	26	27	29	19	10	29
	大阪志峰会	53	290107	18	17	19	14	5	14

加盟団体一覧表（2025年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	大阪ぼっぽ会	75.12	290108	36	37	33	19	14	33
	勤労者山岳会ひまやま		290109	15	15	16	5	11	17
	大阪勤労者登攀クラブ(OWCC)	83.06	290112	6	6	6	5	1	6
	大阪マウンテンクラブ	92.05	290117	3	3	3	3	0	3
	A・T・C(ホル・テンション・クライマーズ)	98.02	290118	8	6	6	3	3	6
	大阪スキーハイキングクラブ	01.11	290120	4	5	5	3	2	5
	アウトドア オールラウンダーズ	03.04	290121	13	19	15	9	6	16
	北大阪のぼろう会(KONK)	75.06	290201	22	15	17	8	9	17
	きたろうハイキングクラブ	76.03	290202	60	60	60	27	33	45
	このはな山の会	77.03	290205	32	35	35	27	8	34
	くすのき山遊会	93.04	290207	11	12	13	8	5	13
脱退	加島ルーズクライミングクラブ	01.04	290210	脱退	脱退	脱退			
	遡行同人 溪遊会	03.02	290212	36	37	38	27	11	20
	山の会こもれび	04.03	290214	25	25	21	5	16	14
	club ALBA	22.03	290216	6	7	7	4	3	7
	吹田勤労者山岳会		290302	45	40	40	18	22	48
	泉州勤労者山岳会		290303	35	37	37	19	18	42
	雑木の会	76.04	290306	28	27	25	14	11	25
	高槻勤労者山岳会	69.09	290401	23	24	23	9	14	32
	豊中勤労者山岳会		290402	135	135	135	60	75	151
	山の会 TENSION	03.12	290408	14	14	13	6	7	13
	西淀川勤労者山岳会	66.06	290502	33	29	29	16	13	30
脱退	虹	10.08	290506	脱退	脱退	脱退			
脱退	福島勤労者山岳会	71.06	290601	脱退	脱退	脱退			
	白峰山の会		290605	16	15	15	7	8	15
	女性ハイキングクラブ・ハイジ	92.01	290607	11	11	11	0	11	11
	なにわこぶしの会	96.07	290609	6	6	5	3	2	5
	ハイキングクラブ げんごろう	97.11	290610	16	14	15	4	11	18
	ふれんず	99.01	290611	20	31	18	12	6	15
	山の会バッカス	01.11	290612	9	10	12	9	3	11
	ハイキングクラブELF	05.05	290613	13	13	13	6	7	13
	ピトンの会	06.03	290614	16	14	11	8	3	9
	ハイキングクラブ・テルル	08.05	290615	32	31	30	14	16	31
	H. C. モンテス	11.10	290617	12	11	10	5	5	13
	H. C. JUKE	12.11	290618	12	10	11	5	6	11
	箕面勤労者山岳会		290704	3	3	3	2	1	
	ももんが山岳会		290706	11	11	11	2	9	11
	八尾山の会	66.04	290801	25	24	26	8	18	28
	山の虫クレマントクラブ	78.12	290804	7	7	7	4	3	7
	淀屋橋勤労者山岳会	67.02	290806	14	14	13	7	6	9
	山の会くまごろう	96.04	290807	20	21	23	15	8	28
	山の会ROCKY	00.03	290808	15	14	14	8	6	14
	山の会Monterey	07.05	290809	11	11	11	6	5	11
脱退	山の会 ポレポレ	10.05	290810	脱退	脱退	脱退			
	山の会二十渉	14.04	290811	10	10	11	7	4	11
	つりばし		290902	12	12	12	7	5	12
兵庫県		団体数		40	39	39			39
	小計	会員数		2,014	1,954	1,962	899	1,063	1,180
	アルペン芦山		300102	54	56	56	26	30	46
脱退	尼崎山の会		300103	脱退	脱退	脱退			
	淡路勤労者山岳会	80.01	300104	2	2	2	0	2	
	伊丹勤労者山岳会	72.08	300105	35	29	30	14	16	22
	尼崎ハイキングクラブ	80.07	300106	50	50	50	25	25	20
	やまぼうし	82.02	300107	20	18	15	2	13	15
	明石山の会	88.01	300109	42	42	47	19	28	19
	甲山勤労者山岳会	71.12	300201	80	65	65	37	28	
	神戸カタツムリの会	75.08	300205	80	70	68	22	46	44
	神戸勤労者山岳会	71.12	300206	50	42	40	26	14	26
	神戸みなと山友会		300207	56	56	52	30	22	36
	神戸港山の会	76.08	300208	24	23	23	15	8	18
	神戸中央山の会	80.09	300209	162	153	141	67	74	123
	北須磨山の会	87.09	300211	8	9	7	3	4	6
	神戸山スキークラブ	12.02	300213	20	6	2	2	0	2
	神戸クライマーズクラブ	13.06	300214	11	7	5	4	1	6
	宝塚山の会	75.01	300301	40	43	41	13	28	30
	山岳会ホワイトピーク	77.01	300302	26	28	28	10	18	29
	須磨勤労者山岳会		300305	26	25	26	17	9	23
	山楽会 七色十色	18.11	300307	9	7	7	6	1	6

加盟団体一覧表（2025年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
	但馬勤労者山岳会	75.12	300401	4	4	4	2	2	3
	垂水ハイキングクラブ	85.08	300404	14	12	10	3	7	
	垂水勤労者山岳会	76.07	300405	44	44	45	20	25	50
脱退	地球クラブ	01.04	300407	2	脱退	脱退			
	高御位山遊会	01.07	300408	92	87	92	30	62	94
	西神戸山の会	74.07	300501	58	51	51	20	31	37
	西宮北口勤労者山岳会	75.09	300502	27	27	27	7	20	12
	西宮山岳会	64.02	300503	120	150	150	56	94	117
	西宮明昭山の会	75.12	300504	300	300	300	150	150	
	東灘勤労者山岳会	75.09	300603	7	7	9	6	3	9
	北摂山の会	00.09	300609	57	59	66	38	28	63
	H.C.はりま	04.02	300610	26	30	31	12	19	31
	はりま明姫修験ネット	20.10	300612	2	2	2	1	1	
	摩耶山友会	74.07	300701	168	174	190	90	100	122
	武庫勤労者山岳会	72.07	300702	110	100	90	40	50	71
	メラ・ピークKOBÉ	91.04	300703	6	5	6	5	1	6
	山の会かじか	73.03	300801	50	50	50	24	26	15
	山歩溪山岳会	76.08	300802	83	71	85	41	44	54
	山の会アルプ	84.08	300803	21	22	22	7	15	4
	山の会ささやま	09.07	300804	23	23	22	9	13	16
	ハイキングクラブ レディバード	04.04	300902	5	5	5	0	5	5
鳥取県		団体数		1	1	1			1
	小計	会員数		4	4	4	3	1	2
	米子勤労者山岳会		310801	4	4	4	3	1	2
島根県		団体数		4	4	3			4
	小計	会員数		156	142	131	62	69	104
脱退	出雲山の会	74.08	320101	11	10	脱退			
	エッサッサ山の会	97.12	320102	21	20	20	9	11	20
	松江アルペンクラブ	74.12	320701	44	42	40	25	15	29
	松江ハイキングクラブ	82.04	320702	80	70	71	28	43	55
岡山県		団体数		9	8	6			8
	小計	会員数		854	844	743	302	441	740
	岡山勤労者山岳会	66.12	330101	25	27	22	15	7	26
	倉敷勤労者山岳会	70.05	330201	14	13	16	11	5	15
	倉敷ハイキング倶楽部	90.06	330202	283	304	284	98	186	313
	クラブMONTATA	10.10	330203	7	8	8	6	2	8
	山陽カルチャーマウンテンクラブ	99.09	330301	381	391	350	140	210	313
脱退	玉野ハイキング同好会	87.03	330402	44	脱退	脱退			
脱退	新見ハイキングクラブ	05.08	330501	29	27	脱退			
脱退	ピーク・フレンズ・クラブ	98.09	330601	11	11	脱退			
	みまさか山の会	84.08	330701	60	63	63	32	31	65
広島県		団体数		10	9	9			9
	小計	会員数		212	205	203	92	111	219
	安佐岳友クラブ	09.06	340101	6	7	7	3	4	7
	呉勤労者山の会	68.01	340201	37	41	42	18	24	44
	佐伯山の会	79.01	340301	50	49	57	33	24	62
脱退予定	山岳同人RAIZ	14.03	340304	7	脱退予定	脱退予定			
	福山とんど	02.04	340401	4	4	4	2	2	4
	桃源郷クラブ	14.03	340402	12	11	10	5	5	10
	広島勤労者山の会	83.01	340601	10	9	9	6	3	9
	広島勤労者HCやまぼうし	88.05	340602	59	56	47	20	27	50
	ひろしま令峰クラブ		340604	25	26	25	4	21	33
脱退	県北山の会	93.04	340701	脱退	脱退	脱退			
	山の会 道	00.09	340801	2	2	2	1	1	
山口県		団体数		2	2	2			2
	小計	会員数		87	80	70	23	47	72
	登山・ハイキングサークル コンパス	83.02	350201	44	45	43	13	30	45
	山口県教職員登山サークル「ぼれぼれ」		350801	43	35	27	10	17	27
香川県		団体数		8	8	8			8
	小計	会員数		265	274	248	125	123	230
	観音寺あけぼの山の会	75.01	360201	50	51	52	26	26	51
	観音寺ハイキングクラブ	79.09	360202	22	22	19	4	15	19
	丸亀しわく山の会	76.06	360303	60	66	58	30	28	53
	善通寺山の会	81.07	360304	55	60	61	33	28	51
	山岳同人・五色の峰	16.03	360306	7	4	4	3	1	3
	高松勤労者山の会	67.04	360401	31	28	28	19	9	28
	高松ハイキングクラブ	72.11	360402	4	4	3	1	2	3
	さぬき山歩会	87.06	360403	36	39	23	9	14	22

加盟団体一覧表（2025年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数	
徳島県	小計			7	7	7			7	
		団体数								
		会員数			224	223	218	107	111	174
		阿波あすなろ山の会	83.05	370102	34	36	40	20	20	35
		小松島ハイキングクラブ	78.11	370203	31	31	19	15	4	38
		徳島市勤労者山の会	73.11	370401	16	19	23	13	10	19
		徳島ハイキングクラブ	80.01	370402	17	20	21	5	16	12
		健生山の会	87.06	370403	8	6	6	5	1	5
高知県	小計			3	3	3			3	
		団体数								
		会員数			94	95	90	35	55	71
		あるぷハイキングクラブ	78.11	380101	29	29	32	9	23	16
		高知勤労者山岳会	66.07	380203	49	45	46	24	22	43
		かめのこ山の会	87.11	380205	16	21	12	2	10	12
		(男女比は便宜上記入) 小計			32	32	32	20	12	22
		南予のぼろう会	74.07	390501	7	7	7	3	4	
愛媛県	小計			3	3	3			2	
		団体数								
		会員数			32	32	32	20	12	22
		松山勤労者山岳会	71.05	390702	8	8	8	3	5	8
		山の子	05.04	390801	17	17	17	14	3	14
		久留米山の会	96.08	400209	15	脱退	脱退			
		すばる山の会	99.04	400301	11	11	12	4	8	12
		山岳チーム 風はるか	18.03	400303	4	4	3	2	1	4
福岡県	小計			27	26	25			27	
		団体数								
		会員数			682	646	635	280	355	622
		あしび山の会	69.05	400101	35	43	47	11	36	48
		大川山人会		400103	37	34	30	10	20	30
		大牟田勤労者山岳会	64.01	400104	16	16	16	9	7	16
		大牟田ハイキングクラブ		400105	34	22	18	10	8	18
		あだると山の会	80.09	400107	135	128	113	39	74	119
		奥岳山の会	84.12	400108	4	4	4	2	2	2
		往還倶楽部		400109	7	6	5	4	1	2
		小倉勤労者山岳会	73.03	400204	11	11	13	5	8	12
		RKAC	96.04	400208	43	32	31	24	7	30
	脱退	久留米山の会	96.08	400209	15	脱退	脱退			
		すばる山の会	99.04	400301	11	11	12	4	8	12
		山岳チーム 風はるか	18.03	400303	4	4	3	2	1	4
		山学山遊会	21.10	400304	8	4	脱退			
		田川かたつむり山の会	95.11	400401	17	15	15	10	5	15
		チーム・アース	14.04	400403	6	4	6	3	3	3
		ピナクル山の会	71.11	400601	40	42	44	30	14	45
		福岡勤労者山岳会		400603	39	47	54	30	24	54
		フェニックスマウンテニアリングチーム	84.12	400610	7	5	5	4	1	5
		福岡想山会	86.11	400611	42	53	55	26	29	55
		山岳冒険倶楽部 星と焚火	03.05	400616	7	9	9	4	5	9
		Back Country Club-ef	11.05	400619	3	2	2	1	1	2
		マップ山の会	65.06	400701	22	19	21	8	13	16
		門司勤労者山岳会	720.1	400703	1	3	3	3	0	
		みどる山の会	82.11	400706	127	119	116	35	81	118
	Move (ムーヴ)	98.05	400707	2	2	2	2	0	2	
	ゆるパインクラブ	20.01	400802	8	10	10	3	7	5	
	若宮山岳会	06.09	400901	1	1	1	1	0		
佐賀県	小計			2	2	2			2	
		団体数								
		会員数			67	65	66	30	36	75
		からつ勤労者山岳会	88.04	410201	20	19	16	8	8	12
	佐賀勤労者山岳会	71.03	410301	47	46	50	22	28	63	
長崎県	小計			8	8	8			8	
		団体数								
		会員数			235	234	239	103	136	230
		オレンジハイキングクラブ	75.12	420103	47	50	45	26	19	38
		長崎あゆみハイキングクラブ	97.04	420104	58	50	50	20	30	55
		佐世保こもればいハイキングクラブ	94.08	420301	2	2	2	1	1	2
		長崎東部勤労者山岳会	66.08	420502	25	26	28	9	19	23
		長崎へバルナ山の会	75.06	420505	16	16	16	9	7	16
		長崎南稜山岳会	79.08	420506	18	18	16	7	9	14
		長崎朝霧山の会	84.06	420511	30	30	26	12	14	26
	長崎カルチャー山の会	03.11	420513	39	42	56	19	37	56	
熊本県	小計			4	3	3			3	
		団体数								
		会員数			61	39	36	15	21	29
		天草山の会	84.05	430101	2	2	2	1	1	2
		熊本勤労者山岳会	72.06	430201	28	26	23	11	12	17
脱退	人吉球磨ハイキングクラブ	01.08	430601	18	脱退	脱退				
	八代勤労者山岳会	03.02	430801	13	11	11	3	8	10	

加盟団体一覧表 (2025年11月末日現在)

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	23末 会員数	24末 会員数	25末 会員数	25末 (男性)	25末 (女性)	労山基金 加入者数
大分県		団体数			2	2	2			2
		小計 会員数			52	50	46	19	27	46
	大分勤労者山岳会			440101	42	40	37	14	23	37
	大分山歩会			440301	10	10	9	5	4	9
宮崎県		団体数			2	2	2			2
		小計 会員数			39	39	40	23	17	38
	西都山岳会		99.06	450301	22	22	23	10	13	21
	祝子川山岳会 [ほうりがわ]		04.10	450601	17	17	17	13	4	17
鹿児島県		団体数			2	2	2			2
		小計 会員数			74	76	78	33	45	79
	鹿児島勤労者山岳会		67.09	460201	48	46	48	24	24	49
	山坂達者の会		96.11	460801	26	30	30	9	21	30
沖縄県		団体数			1	1	1			1
		小計 会員数			24	18	20	6	14	20
	花いかだ コザ			470601	24	18	20	6	14	20

※システムの都合上、基金加入者数には年度途中で退会し未精算の者を含みます。ご了承ください。

労山システム入力データより

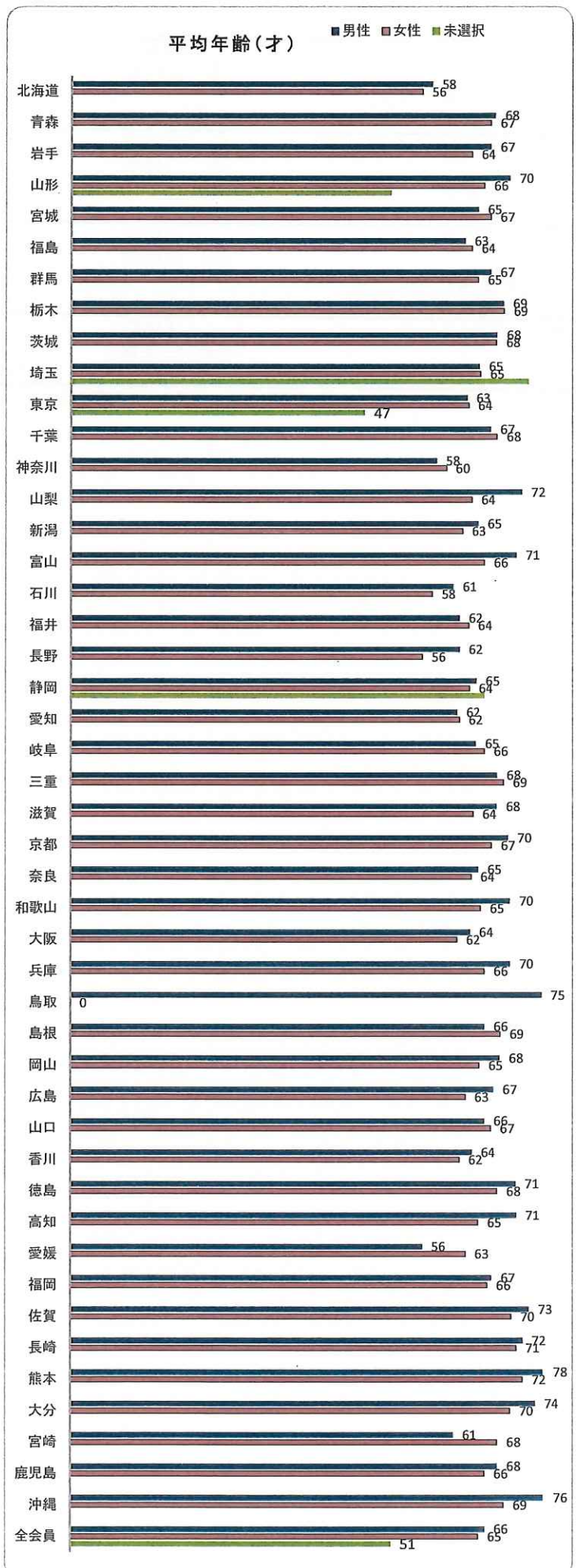
データ数： 17,219 (2026/1/15時点)

※除外 = 会員番号5・7・9番代

※除外 = 年齢不明、1905年以前生まれ

平均年齢 (才)

都道府県	男性	女性	未選択	全体
北海道	58	56	-	57
青森	68	67	-	67
岩手	67	64	-	65
山形	70	66	51	68
宮城	65	67	-	66
福島	63	64	-	63
群馬	67	65	-	66
栃木	69	69	-	69
茨城	68	68	-	68
埼玉	65	65	73	65
東京	63	64	47	64
千葉	67	68	-	68
神奈川	58	60	-	59
山梨	72	64	-	68
新潟	65	63	-	64
富山	71	66	-	68
石川	61	58	-	60
福井	62	64	-	63
長野	62	56	-	60
静岡	65	64	66	65
愛知	62	62	-	62
岐阜	65	66	-	65
三重	68	69	-	68
滋賀	68	64	-	66
京都	70	67	-	68
奈良	65	64	-	65
和歌山	70	65	-	67
大阪	64	62	-	63
兵庫	70	66	-	68
鳥取	75	-	-	75
島根	66	69	-	68
岡山	68	65	-	67
広島	67	63	-	65
山口	66	67	-	67
香川	64	62	-	63
徳島	71	68	-	69
高知	71	65	-	67
愛媛	56	63	-	59
福岡	67	66	-	66
佐賀	73	70	-	71
長崎	72	71	-	71
熊本	78	72	-	75
大分	74	70	-	72
宮崎	61	68	-	64
鹿児島	68	66	-	67
沖縄	76	69	-	71
全会員	66	65	51	65

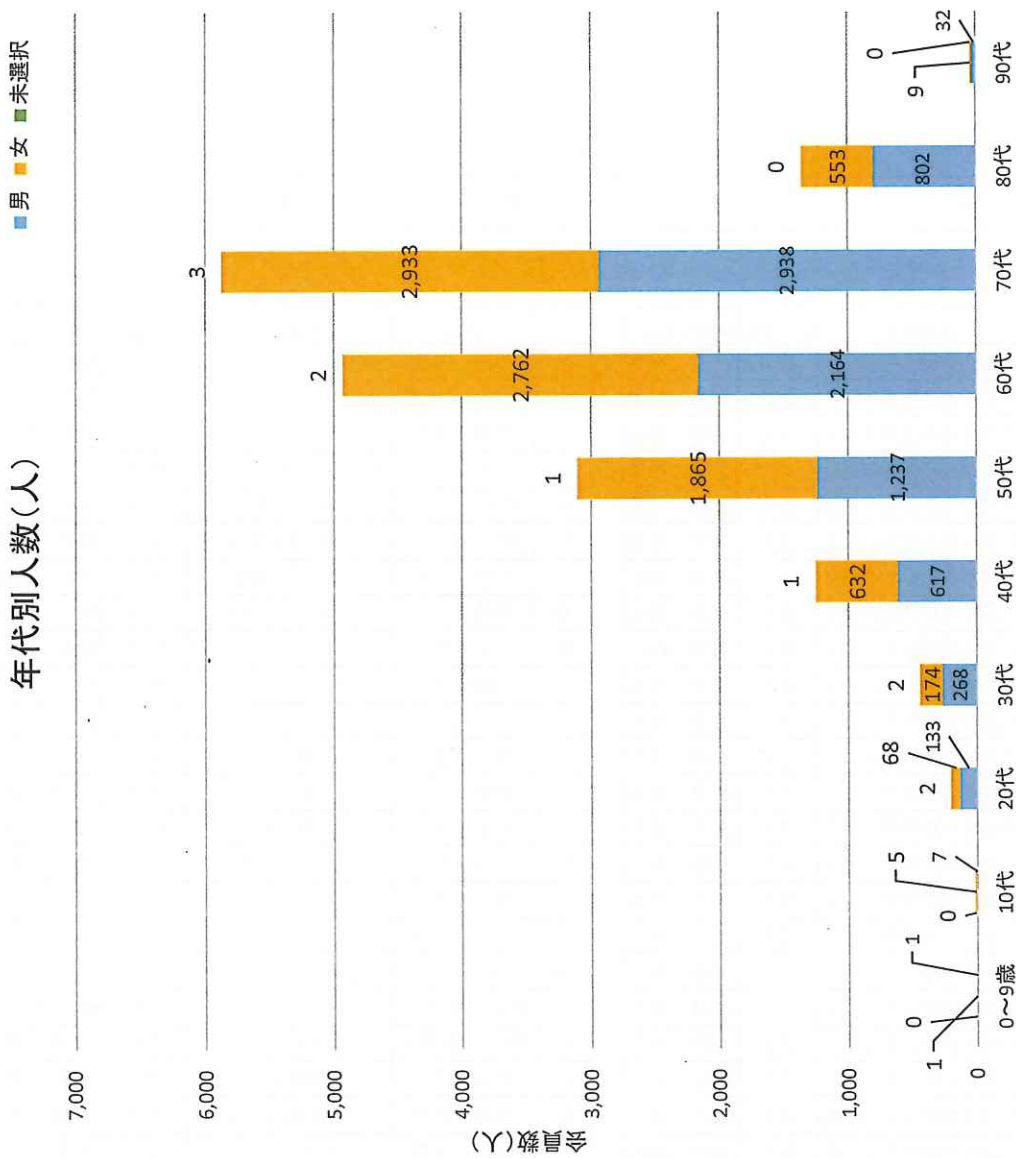


年代別人数(人)

年代	男	女	未選択
0~9歳	1	1	0
10代	7	5	0
20代	133	68	2
30代	268	174	2
40代	617	632	1
50代	1,237	1,865	1
60代	2,164	2,762	2
70代	2,938	2,933	3
80代	802	553	0
90代	32	9	0
合計	8,199	9,002	11

不明 3 不明 4

年代別人数(人)



第37回総会栄誉功労章贈呈者一覧

No.	氏名	所属団体	申請者役職	申請者氏名
1	森下 栄治	静岡勤労者山岳連盟	理事長	高良 周作
2	齋藤 厚子	埼玉勤労者山岳連盟	理事長	瀬下 啓司
3	真 華丸	埼玉勤労者山岳連盟	理事長	瀬下 啓司
4	伊藤 淳子	宮城県勤労者山岳連盟	会長	赤間 弘記
4	斉藤 篤司	福岡県勤労者山岳連盟	理事長	吉永 直樹

永年会員

No.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
1	佐藤 英樹	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
2	前田 十四夫	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
3	鴨澤 修	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
4	西川 幾美	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
5	小林 和幸	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
6	中川 恵子	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
7	舟橋 良子	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
8	浜島 律子	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
9	栗原 仁一	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
10	宇都宮 勇	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
11	吉田 久子	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
12	平川 孝	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
13	沢田 君雄	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
14	沢田 真須美	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
15	藪崎 哲史	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
16	南 真紀	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
17	上田 康博	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
18	二川 薫	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
19	井村 啓子	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
20	田戸岡 尚樹	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
21	江口 元司	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
22	宮川 薫子	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
23	櫻庭 尚身	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
24	玉川 裕	札幌中央勤労者山岳会	道央	渡邊 純也
25	二瓶 理千子	百松山岳会	道央	納谷 教生
26	二瓶 輝男	百松山岳会	道央	納谷 教生
27	安間 忠子	函館山楽クラブ	道央	鎌田 雅年
28	葛岡 美代子	函館山楽クラブ	道央	鎌田 雅年
29	深澤 守	青森勤労者山岳会	青森	横田 智昭
30	島山 和江	青森ファミリーハイキングクラブ	青森	櫻田 正行
31	庄司 忠信	石巻山の会	宮城	菅野 正雄
32	梶谷 美江子	石巻山の会	宮城	菅野 正雄
33	内田 八千代	前橋ハイキングクラブ	群馬	岩崎 健
34	瀧上 傅一	前橋ハイキングクラブ	群馬	岩崎 健
35	江積 操江	前橋ハイキングクラブ	群馬	岩崎 健
36	井野 せつ子	前橋ハイキングクラブ	群馬	岩崎 健
37	岩本 友子	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
38	古口 茂男	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
39	小嶋 裕子	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
40	佐藤 富代	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
41	猪鼻 良子	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子

No.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
42	小川 秀夫	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
43	窪田 すみ子	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
44	高橋 美男	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
45	吉岡 昌徳	宇都宮ハイキングクラブ	栃木	瀧田 玲子
46	阿部 よし江	つむぎ山悠会	栃木	阿部 正彦
47	清水 カツ子	つむぎ山悠会	栃木	阿部 正彦
48	野中 太郎	つむぎ山悠会	栃木	阿部 正彦
49	宮崎 充子	マロニエハイキングクラブ	栃木	松山 久夫
50	山口 伴子	マロニエハイキングクラブ	栃木	松山 久夫
51	福田 勉	マロニエハイキングクラブ	栃木	松山 久夫
52	川口 眞知子	マロニエハイキングクラブ	栃木	松山 久夫
53	金子 富江	三郷山の会	埼玉	富田 皓
54	磯野 京子	三郷山の会	埼玉	富田 皓
55	牛尾 厚子	三郷山の会	埼玉	富田 皓
56	灰谷 和英	大田山の会	東京	秋山 亘
57	飯塚 恵子	大田山の会	東京	秋山 亘
58	土田 真也	大田山の会	東京	秋山 亘
59	柳下 修	八王子おおるり山の会	東京	皆川 雅彦
60	横山 めぐみ	AMC	東京	横山 めぐみ
61	蝦名 眞理子	北多摩山の会	東京	手崎 衆
62	内田 文子	北多摩山の会	東京	手崎 衆
63	牧部 忠孝	北多摩山の会	東京	手崎 衆
64	愛場 良雄	杉並山の会	東京	栗原 英一
65	大野 隆司	杉並山の会	東京	栗原 英一
66	新美 英造	品川山の会さんかくてん	東京	新美 英造
67	佐藤 達夫	品川山の会さんかくてん	東京	新美 英造
68	内藤 彰一郎	品川山の会さんかくてん	東京	新美 英造
69	松田 幸子	野火止山の会	東京	宮脇 正和
70	川尻 弘志	野火止山の会	東京	宮脇 正和
71	藤田 利子	コスモス山の会	東京	瀧本 邦正
72	有賀 宏信	コスモス山の会	東京	瀧本 邦正
73	清都 礼子	目黒ハイキングクラブ	東京	井口 戒
74	野口 義夫	民医連東京共済山の会	東京	三浦 聡雄
75	石黒 紀代子	民医連東京共済山の会	東京	三浦 聡雄
76	安田 優	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
77	塙 ひさ子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
78	原 りか子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
79	古澤 裕美恵	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
80	大須賀 敏子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
81	田代 政子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
82	大宮 富江	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也

第37回総会榮譽功労章贈呈者一覧

永年会員

No.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
83	三枝 和子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
84	岸田 地子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
85	森島 眞知子	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
86	坂口 長成	町田グラウス山の会	東京	木下 拓也
87	山内 桂子	かがりび山の会	千葉	吉武 興治
88	矢野 貞子	岳人あびこ	千葉	高橋 芳恵
89	井上 志津子	ちば山の会	千葉	大木 裕見子
90	石橋 きよみ	ちば山の会	千葉	大木 裕見子
91	杉山 喜代枝	ちば山の会	千葉	大木 裕見子
92	渡辺 純子	ちば山の会	千葉	大木 裕見子
93	広木 国明	ちば山の会	千葉	大木 裕見子
94	中島 修	千葉こまくさハイキングクラブ	千葉	古瀬 健
95	海瀬 典子	千葉こまくさハイキングクラブ	千葉	古瀬 健
96	小山 政夫	千葉こまくさハイキングクラブ	千葉	古瀬 健
97	原田 もと子	千葉こまくさハイキングクラブ	千葉	古瀬 健
98	橋口 紀子	千葉こまくさハイキングクラブ	千葉	古瀬 健
99	五十嵐 朝子	東葛山の会	千葉	安彦 秀夫
100	四元 一成	東葛山の会	千葉	安彦 秀夫
101	高木 泰雄	ふわくハイキングサークル	千葉	田中 康男
102	菊込 恵子	ふわくハイキングサークル	千葉	田中 康男
103	倉沢 とし子	ふわくハイキングサークル	千葉	田中 康男
104	平野 洋子	ふわくハイキングサークル	千葉	田中 康男
105	伊藤 健司	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
106	小澤 紀子	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
107	川崎 美佐子	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
108	清水 陽子	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
109	杉山 邦弘	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
110	関口 金子	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
111	守口 尚美	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
112	矢崎 卷子	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
113	若林 博	川崎ハイキングクラブ	神奈川	白川 嘉門
114	五十嵐 俊男	みずなら山の会	神奈川	寺田 郁夫
115	小川 眞澄	みずなら山の会	神奈川	寺田 郁夫
116	川島 紀男	みずなら山の会	神奈川	寺田 郁夫
117	野沢 孝	みずなら山の会	神奈川	寺田 郁夫
118	村上 賀苗	あさざり山の会	静岡	富永 政則
119	堀田 孝司	浜松勤労者山岳会	静岡	柴田 尚武
120	川瀬 輝次	大垣勤労者山岳会	岐阜	棚橋 久明
121	清水 珠貴	大垣勤労者山岳会	岐阜	棚橋 久明
122	大井 義則	大垣勤労者山岳会	岐阜	棚橋 久明
123	赤井 政二	多治見 ろうざん	岐阜	西部 一政
124	園戸 富士子	みのハイキングクラブ	岐阜	須田 数一
125	園戸 芳明	みのハイキングクラブ	岐阜	須田 数一
126	河合 淳子	みのハイキングクラブ	岐阜	須田 数一
127	小瀬 倫子	みのハイキングクラブ	岐阜	須田 数一
128	佐野 晃司	みのハイキングクラブ	岐阜	須田 数一
129	牧 孝司	みのハイキングクラブ	岐阜	須田 数一
130	竹腰 裕泰	岐阜ケルン山岳会	岐阜	佐藤 瑞恵
131	田中 秀樹	岐阜ケルン山岳会	岐阜	佐藤 瑞恵
132	横江 まさよ	山の会オフトレイル	滋賀	信森 徹
133	西内 滋典	京都右京勤労者山岳会	京都	田尻 ちひろ
134	山根 玲子	京都洛中勤労者山岳会	京都	大江六夫
135	金田 鍾福	京都洛中勤労者山岳会	京都	大江六夫
136	石田 道幸	紀州山友会	和歌山	石田 道幸

No.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
137	林 勇伺	紀峰山の会	和歌山	寺下 俊彦
138	坂田 浩志	紀峰山の会	和歌山	寺下 俊彦
139	増田 佳昭	みちくさハイキングクラブ	和歌山	佐武 純子
140	岡本 江右子	わかやまハイキングクラブ	和歌山	堀端 誠
141	阪上 省吾	きたろうハイキングクラブ	大阪	石野 博良
142	重岡 啓子	きたろうハイキングクラブ	大阪	石野 博良
143	目加田 順子	きたろうハイキングクラブ	大阪	石野 博良
144	楠本 伸一郎	きたろうハイキングクラブ	大阪	石野 博良
145	堀田 暁彦	雑木の会	大阪	堀田 暁彦
146	野村 靖治	豊中勤労者山岳会	大阪	平林 博幸
147	渡邊 守	豊中勤労者山岳会	大阪	平林 博幸
148	朝日 喜久雄	豊中勤労者山岳会	大阪	平林 博幸
149	安藤 誠一郎	豊中勤労者山岳会	大阪	平林 博幸
150	高木 文子	豊中勤労者山岳会	大阪	平林 博幸
151	天王寺谷 三恵子	アルペン芦山	兵庫	矢口 恵美子
152	上田 和則	伊丹勤労者山岳会	兵庫	長谷 信一
153	斎藤 能子	やまぼうし	兵庫	久保克美
154	白川 孝子	やまぼうし	兵庫	久保克美
155	赤井 誠優理	やまぼうし	兵庫	久保克美
156	桑名 正裕	神戸カタツムリの会	兵庫	桑名 正裕
157	吉田 愛子	神戸カタツムリの会	兵庫	桑名 正裕
158	松元 昭弘	神戸カタツムリの会	兵庫	桑名 正裕
159	内村 忠博	神戸中央山の会	兵庫	原田 勝次
160	前田 彰	西宮山岳会	兵庫	蟹沢 久美子
161	樋野 善弘	西宮山岳会	兵庫	蟹沢 久美子
162	藤原 淑子	北摂山の会	兵庫	藤原 稔彦
163	辰巳 康男	摩耶山友会	兵庫	須河内 雅通
164	辰巳 美登里	摩耶山友会	兵庫	須河内 雅通
165	永田 昌弘	山の会かじか	兵庫	小橋 俊夫
166	前田 幸美	山の会かじか	兵庫	小橋 俊夫
167	麻生 千代子	山の会かじか	兵庫	小橋 俊夫
168	岡崎 了子	山の会かじか	兵庫	小橋 俊夫
169	切目 勲	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
170	小野 弥佳子	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
171	東 富義	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
172	松本 勝子	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
173	寺田 孝	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
174	徳岡 壮一	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
175	町井 恵美子	山歩溪山岳会	兵庫	菊山 隆志
176	荒木 美代子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
177	太田 進一	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
178	野上 達子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
179	藤岡 道夫	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
180	横山 康子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
181	太田 常子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
182	笹井 一康	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
183	笹井 雅子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
184	中田 芳子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
185	蜂谷 多子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
186	水内 玲子	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
187	山内 淳之介	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
188	横山 忠則	山陽かちマウンテンクラブ	岡山	吉房順治
189	山本 飛鳥	みまさか山の会	岡山	岡本 毅
190	佐藤 静雄	みまさか山の会	岡山	岡本 毅

第37回総会榮譽功労章贈呈者一覧

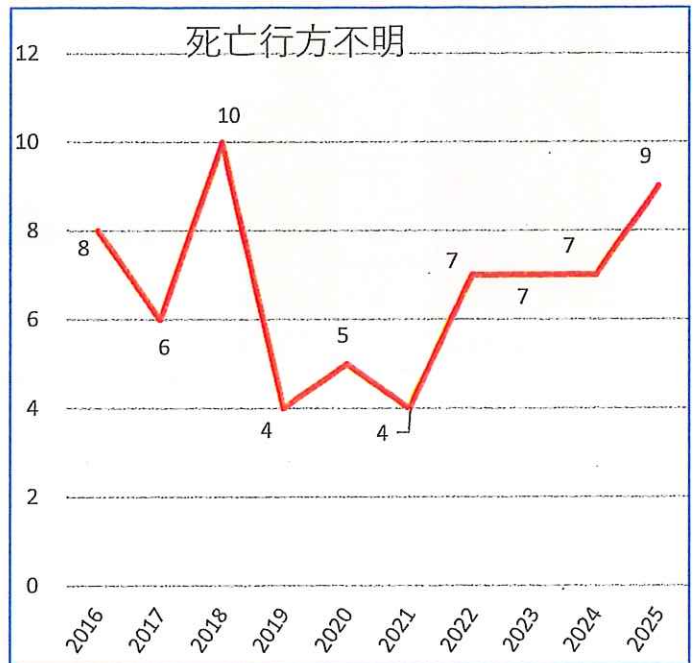
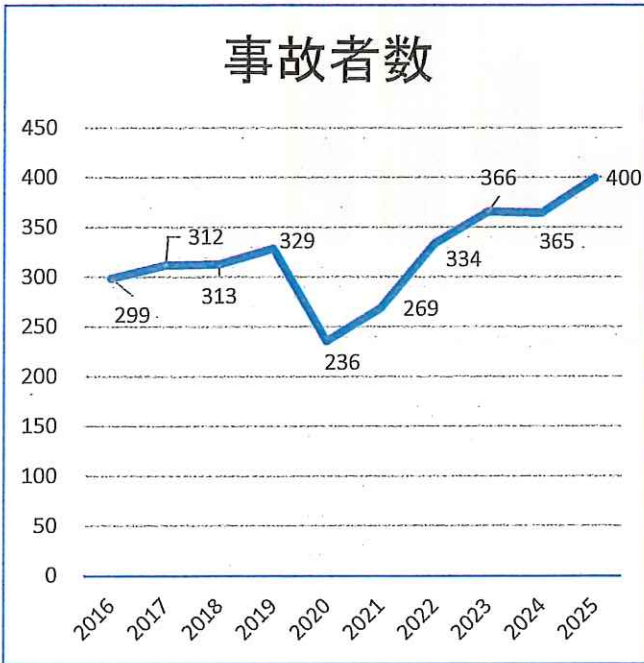
永年会員

No.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
191	繁田 和恵	呉勤労者山の会	広島	山下 政晴
192	本谷 智津子	呉勤労者山の会	広島	山下 政晴
193	谷口 共代	佐伯山の会	広島	安達 忠雄
194	浅井田 克典	佐伯山の会	広島	安達 忠雄
195	増田 光家	佐伯山の会	広島	安達 忠雄
196	得本 真人	広島勤労者ハイキングクラブやまぼうし	広島	宮木 一民
197	小山 晃	広島勤労者ハイキングクラブやまぼうし	広島	宮木 一民
198	石川 敬論	観音寺ハイキングクラブ	香川	杉原 哲哉
199	今野 百合子	観音寺ハイキングクラブ	香川	杉原 哲哉
200	大平 やす子	観音寺ハイキングクラブ	香川	杉原 哲哉
201	野田 順子	観音寺ハイキングクラブ	香川	杉原 哲哉
202	森山 美也子	普通寺山の会	香川	三野 和哉
203	安井 昌史	普通寺山の会	香川	三野 和哉
204	高橋 武志	高知勤労者山岳会	高知	中田 宏
205	原田 大治	大川山人会	福岡	長尾 敏郎
206	諸富 信	大川山人会	福岡	長尾 敏郎
207	諸富 妙子	大川山人会	福岡	長尾 敏郎
208	矢野 里美	あだると山の会	福岡	新貝 耕市
209	鹿児島 由美子	あだると山の会	福岡	新貝 耕市
210	熊野 幸子	あだると山の会	福岡	新貝 耕市
211	信国 トシエ	マップ山の会	福岡	仲谷 恒夫
212	井上 直美	みどる山の会	福岡	池田 善行

No.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
213	佐藤 豊	みどる山の会	福岡	池田 善行
214	佐藤 優希子	みどる山の会	福岡	池田 善行
215	井上 裕美子	みどる山の会	福岡	池田 善行
216	植松 たみ子	みどる山の会	福岡	池田 善行
217	小西 史子	みどる山の会	福岡	池田 善行
218	久富 靖代	みどる山の会	福岡	池田 善行
219	良永 恵子	みどる山の会	福岡	池田 善行
220	中須賀 孝正	オレンジハイキングクラブ	長崎	工藤 学
221	中野 美津子	オレンジハイキングクラブ	長崎	工藤 学
222	國部 徳子	オレンジハイキングクラブ	長崎	工藤 学
223	柿木 信夫	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
224	柿木 治子	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
225	岩永 弘子	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
226	石井 敏子	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
227	石田 清子	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
228	高本 活枝	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
229	本田 春枝	長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	柿木 信夫
230	江島 和憲	長崎朝霧山の会	長崎	林 孝司
231	本屋敷 章子	大分山歩会	大分	姫野 澄男
232	平島 三樹造	大分山歩会	大分	姫野 澄男
233	谷口 候子	鹿児島勤労者山岳会	鹿児島	今村 正一

1. 全国過去10年間の事故の推移(2016～2025)

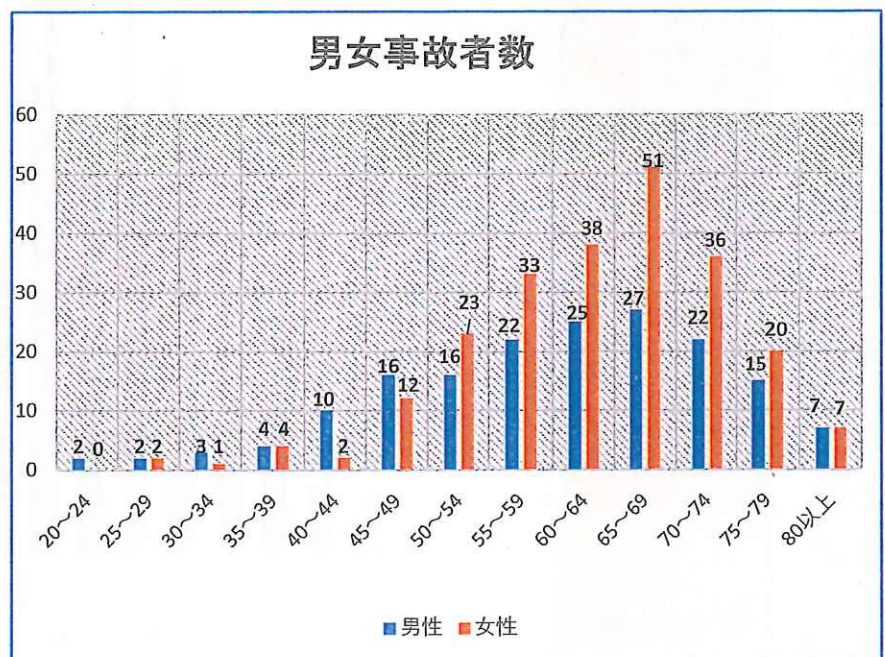
年	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
事故者数	299	312	313	329	236	269	334	366	365	400
死亡行方不明	8	6	10	4	5	4	7	7	7	9



1995年(29年間)からの統計上で事故者数が過去最多となる。

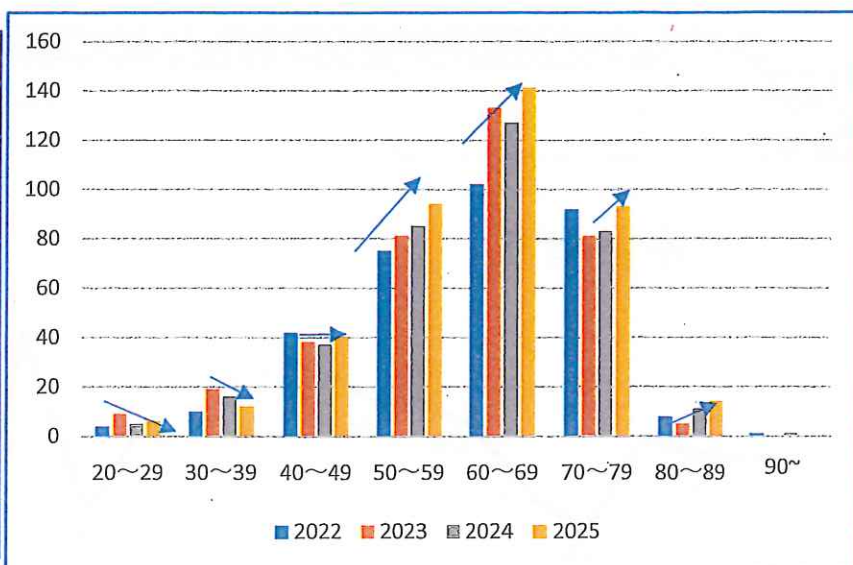
2. 年代別・男女別事故者の状況

年代	男性	女性	小計
20～24	2	0	2
25～29	2	2	4
30～34	3	1	4
35～39	4	4	8
40～44	10	2	12
45～49	16	12	28
50～54	16	23	39
55～59	22	33	55
60～64	25	38	63
65～69	27	51	78
70～74	22	36	58
75～79	15	20	35
80以上	7	7	14
合計	171	229	400



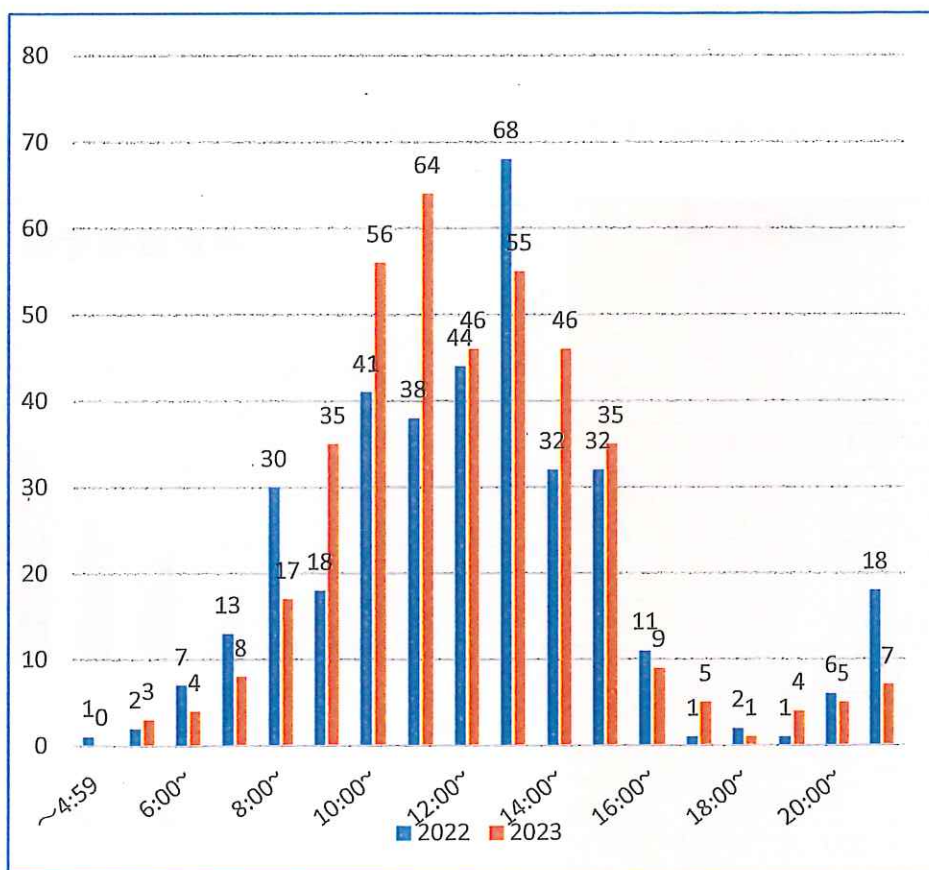
3.2022年～2025年までの年代別

年代	2022	2023	2024	2025
20～29	4	9	5	6
30～39	10	19	16	12
40～49	42	38	37	40
50～59	75	81	85	94
60～69	102	133	127	141
70～79	92	81	83	93
80～89	8	5	11	14
90～	1	0	1	0
合計	334	366	365	400



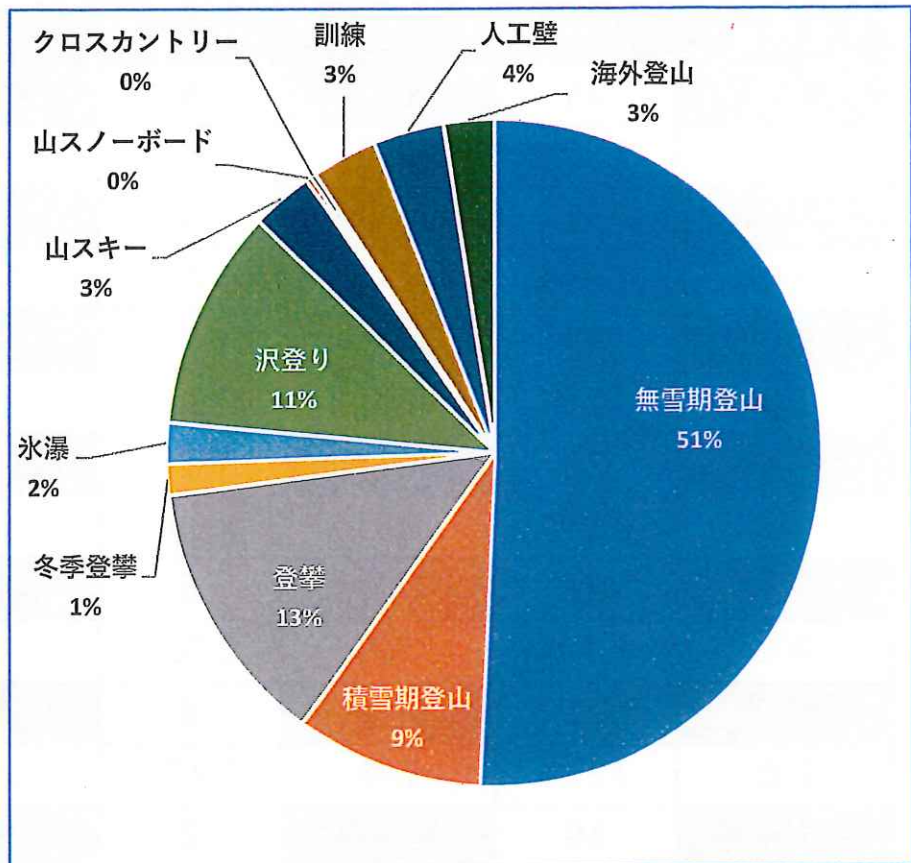
4.時間帯別事故者の状況

時間帯	2024	2025
～4:59	1	0
5:00～	2	3
6:00～	7	4
7:00～	13	8
8:00～	30	17
9:00～	18	35
10:00～	41	56
11:00～	38	64
12:00～	44	46
13:00～	68	55
14:00～	32	46
15:00～	32	35
16:00～	11	9
17:00～	1	5
18:00～	2	1
19:00～	1	4
20:00～	6	5
未記入	18	7
人数	365	400



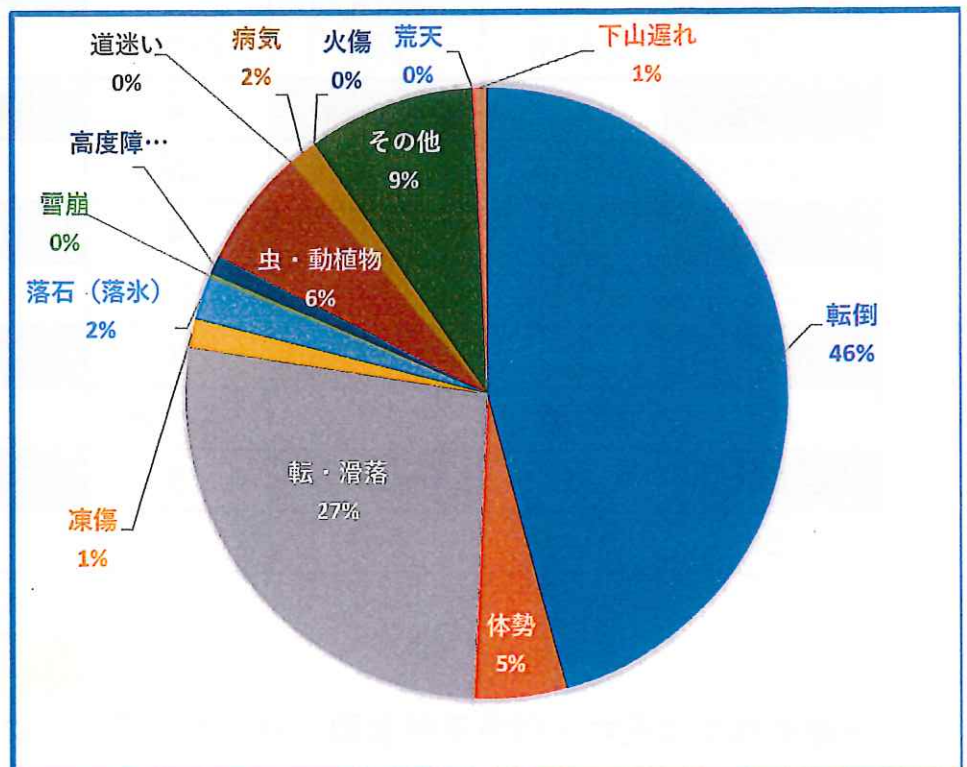
5.形態別事故者の状況

山行状態	事故者数
無雪期登山	203
積雪期登山	37
登攀	52
冬季登攀	6
氷瀑	8
沢登り	43
山スキー	12
山スノーボード	1
クロスカントリー	1
訓練	13
人工壁	14
海外登山	6
海外トレッキング	4
合計	400



6.原因別事故の状況

原因名	事故者数	男	女
転倒	183	61	122
体勢	20	10	10
転・滑落	107	58	49
凍傷	6	4	2
落石(落水)	9	3	6
雪崩	1	0	1
高度障害	4	3	1
虫・動植物	25	5	20
道迷い	0	0	0
病気	6	5	1
火傷	0	0	0
その他	36	21	15
荒天	0	0	0
下山遅れ	3	3	0
合計	400	173	227



7.連盟別事故者数

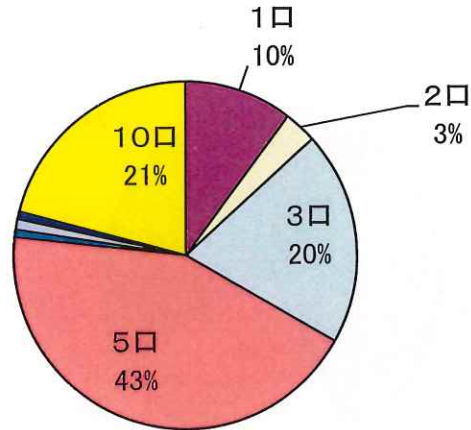
連盟名	事故者数	連盟名	事故者数	連盟名	事故者数
東京都	75	奈良県	9	富山県	3
2276 ③	3.30%	210	4.29%	83 ①	3.61%
兵庫県	36	石川県	9	滋賀県	3
1962	1.83%	241	3.73%	182	1.65%
道央地区	28	和歌山県	7	佐賀県	3
724	3.87%	304	2.30%	66	4.55%
大阪府	23	栃木県	7	岩手県	2
915	2.51%	363	1.93%	233	0.86%
京都府	21	茨城県	6	福井県	2
909	2.31%	100	6.00%	63	3.17%
福岡県	21	香川県	6	長野県	2
635	3.31%	248	2.42%	257	0.78%
神奈川県	19	福島県	5	広島県	1
516	3.68%	86	5.81%	303	0.33%
千葉県	17	宮城県	5	山梨県	1
606	2.81%	124	4.03%	102 ①	0.98%
埼玉県	16	長崎県	5	徳島県	1
550	2.91%	239 ①	2.09%	218	0.46%
岡山県	15	静岡県	4	青森県	1
743 ①	2.02%	274 ①	1.46%	150	0.67%
愛知県	15	鹿児島県	4		
780 ①	1.92%	78	5.13%		
新潟県	12	道東地区	3		
215	5.58%	88	3.41%		
群馬県	10	岐阜県	3		
350	2.86%	267	1.12%		
				合計	400
				15894	2.52%

※赤丸数字は死亡・行方不明者数、パーセンテージは組織数に対する事故率。

労山基金 <登録口数と交付件数および交付金額>

2024年12月31日 労山基金交付金データより

交付件数



交付件数／交付人数

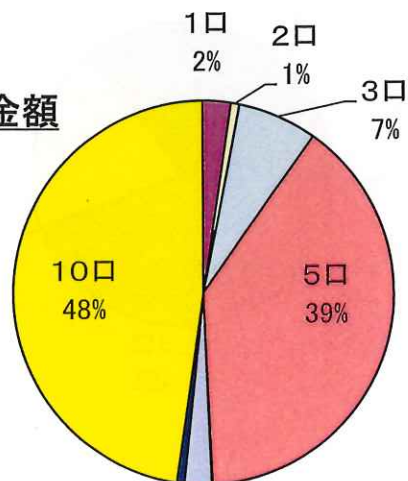
口数	交付件数	件数の比率	交付人数
0口	0	0.0%	0
1口	30	10.3%	32
2口	9	3.1%	10
3口	58	19.9%	58
4口	0	0.0%	0
5口	127	43.6%	127
6口	2	0.7%	2
7口	3	1.0%	3
8口	2	0.7%	2
9口	0	0.0%	0
10口	61	21.0%	62
計	291		296

(重複あり)

交付金額

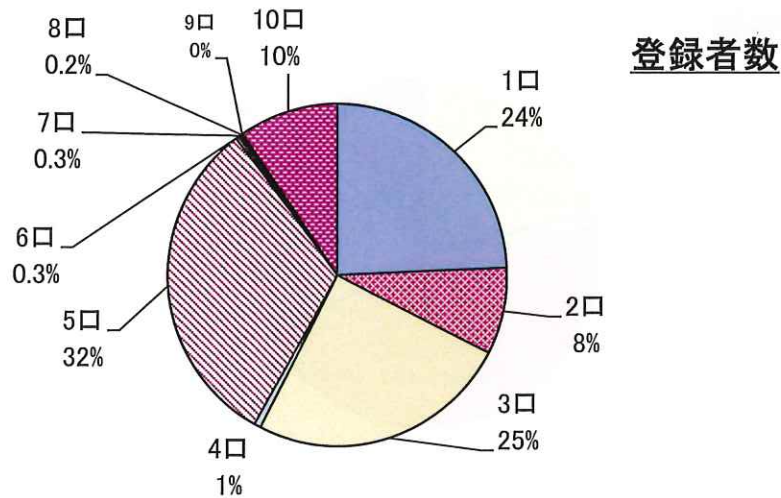
口数	交付金額	金額の比率
0口	0	0.0%
1口	900,100	2.4%
2口	287,200	0.8%
3口	2,547,140	6.7%
4口	0	0.0%
5口	14,884,288	39.4%
6口	31,200	0.1%
7口	893,200	2.4%
8口	236,800	0.6%
9口	0	0.0%
10口	18,023,026	47.7%
計	37,802,954	

交付金額



労山基金 <2025年 登録口数と登録者数および寄付金額>

2025年12月31日 労山基金・寄付金データより



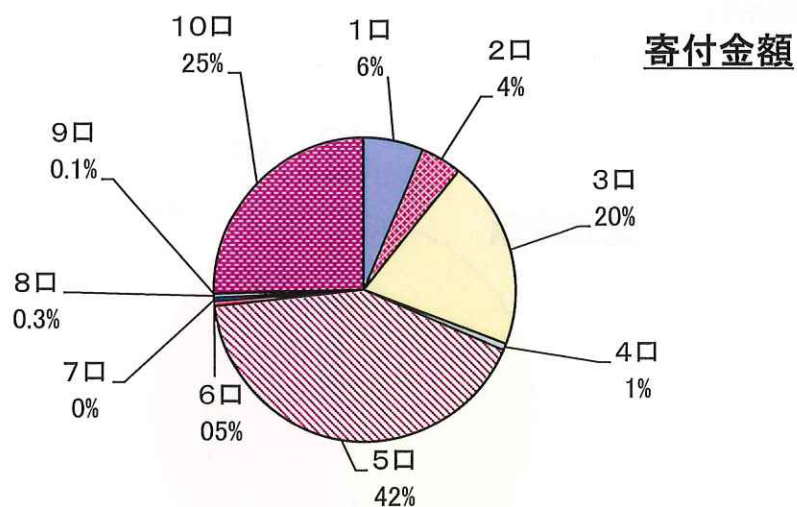
登録件数 14,957 人

口数	登録者数	比率
1口	3,634	24.3%
2口	1,223	8.2%
3口	3,758	25.1%
4口	99	0.7%
5口	4,708	31.5%
6口	45	0.3%
7口	30	0.2%
8口	30	0.2%
9口	2	0.0%
10口	1,428	9.5%
計	14,957	

寄付金額 55,873,100 円

口数	寄付金額	比率
1口	3,589,000	6.4%
2口	2,421,600	4.3%
3口	11,180,100	20.0%
4口	396,000	0.7%
5口	23,359,300	41.8%
6口	267,600	0.5%
7口	210,000	0.4%
8口	240,000	0.4%
9口	18,000	0.03%
10口	14,191,500	25.4%
計	55,873,100	

※脱退会を含む

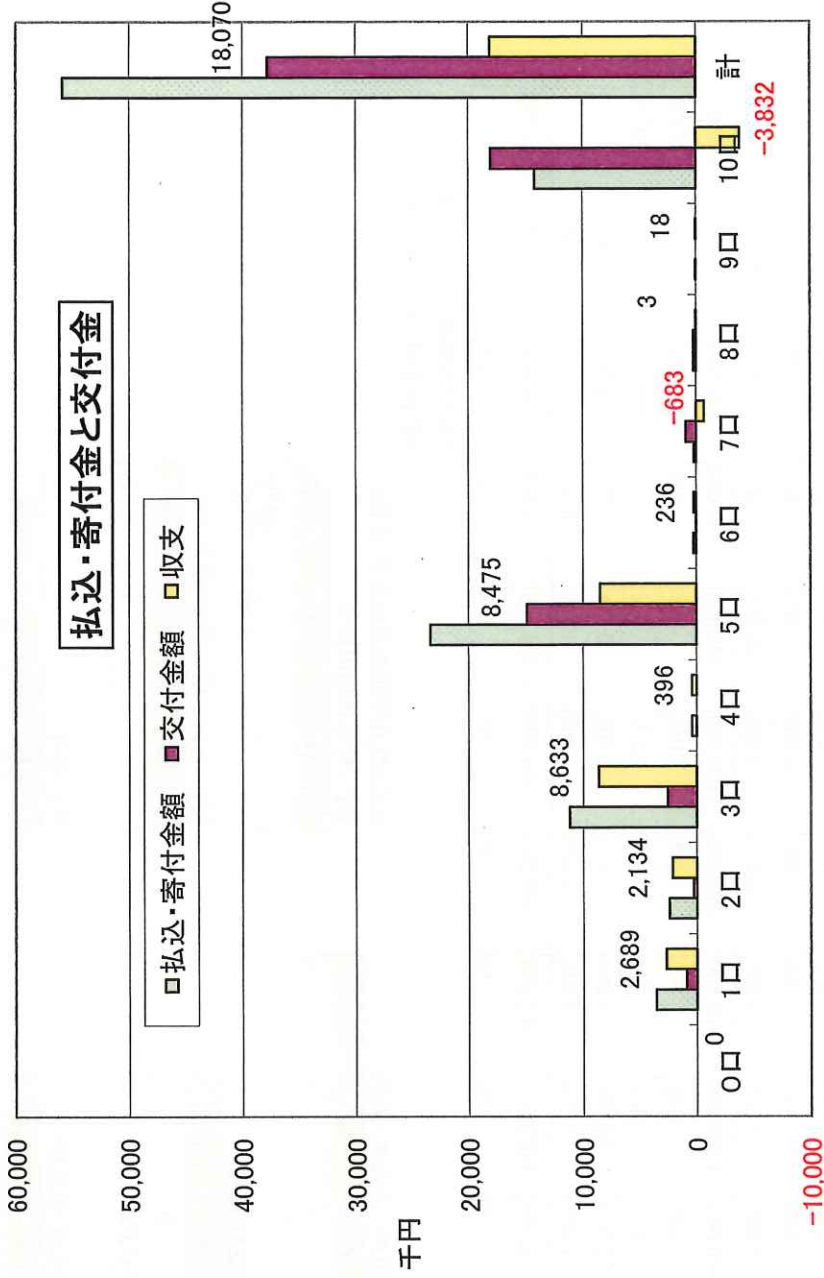


労山基金 <口数ごとの寄付金額と交付金額>

2025年12月31日 労山基金・寄付金及び交付金データより

口数	払込・寄付金額	交付金額	収支
0口	0	0	0
1口	3,589,000	900,100	2,688,900
2口	2,421,600	287,200	2,134,400
3口	11,180,100	2,547,140	8,632,960
4口	396,000	0	396,000
5口	23,359,300	14,884,288	8,475,012
6口	267,600	31,200	236,400
7口	210,000	893,200	-683,200
8口	240,000	236,800	3,200
9口	18,000	0	18,000
10口	14,191,500	18,023,026	-3,831,526
計	55,873,100	37,802,954	18,070,146

※寄付金額は2025年度の申込みから算出



交付金額の分析

2025年12月31日 労山基金・交付金データより

山行形態	無雪期登山	積雪期登山	登攀	冬季登攀	沢登り	水瀑	人工壁	山スキー・スノーボード	海外登山	海外トレーニング	訓練	その他	計
救助・搜索 交付金額	1,029,341	14,240	172,662	0	122,206	0	0	0	6,208,158	752,861	0	0	8,299,468
件数	3件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	4件	1件	0件	0件	11件
人数	3人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	4人	1人	0人	0人	11人
交付額の比率	12.40%	0.17%	2.08%	0.00%	1.47%	0.00%	0.00%	0.00%	74.80%	9.07%	0.00%	0.00%	
交付人数の比率	27.27%	9.09%	9.09%	0.00%	9.09%	0.00%	0.00%	0.00%	36.36%	9.09%	0.00%	0.00%	
入通院 交付金額	6,458,400	1,132,400	4,413,600	126,000	3,906,400	783,600	604,800	1,091,200	148,000	42,000	440,400	0	19,146,800
件数	147件	25件	35件	4件	33件	7件	10件	10件	5件	2件	6件	0件	284件
人数	150人	25人	36人	4人	34人	7人	10人	10人	5人	2人	6人	0人	289人
交付額の比率	33.73%	5.91%	23.05%	0.66%	20.40%	4.09%	3.16%	5.70%	0.77%	0.22%	2.30%	0.00%	
交付人数の比率	51.90%	8.65%	12.46%	1.38%	11.76%	2.42%	3.46%	3.46%	1.73%	0.69%	2.08%	0.00%	
合計 交付金額	7,487,741	1,146,640	4,586,262	126,000	4,028,606	783,600	604,800	1,091,200	6,356,158	794,861	440,400	0	27,446,268
比率	27%	4%	17%	0%	15%	3%	2%	4%	23%	3%	2%	0%	

※交付特典額・団体交付を含まない
 ※救援交付・死亡交付を含まない

70 交付総額

交付事故件数	291	交付総人数	296	交付総金額	37,802,954
--------	-----	-------	-----	-------	------------

公開山行(見舞金)(再掲)

件数	0	人数	0	金額	0
----	---	----	---	----	---

救助・搜索交付(再掲)

件数	11	人数	11	金額	8,299,468
----	----	----	----	----	-----------

入通院交付(再掲)

件数	284	人数	289	金額	19,146,800
----	-----	----	-----	----	------------

交付の特典(再掲)

件数	43	人数	45	金額	2,127,600
----	----	----	----	----	-----------

※救助・搜索交付なし。通常交付との重複あり

死亡・行方不明の交付分析(再掲)

死亡・行方不明の件数

交付事故件数	7	交付人数	7	交付総額	8,429,468
--------	---	------	---	------	-----------

※救助捜索費を含む

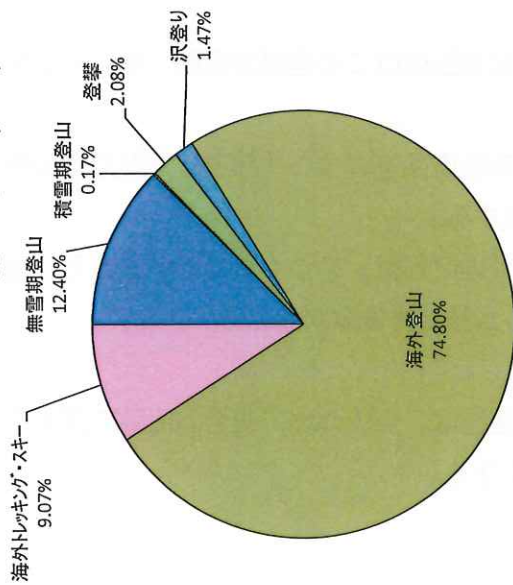
死亡・行方不明の救助・搜索交付

件数	1	人数	1	金額	172,662
----	---	----	---	----	---------

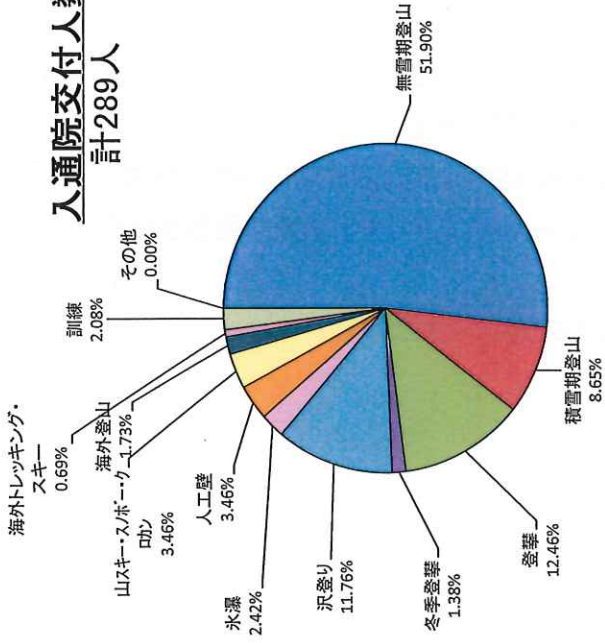
死亡交付

件数	7	人数	7	金額	8,200,000
----	---	----	---	----	-----------

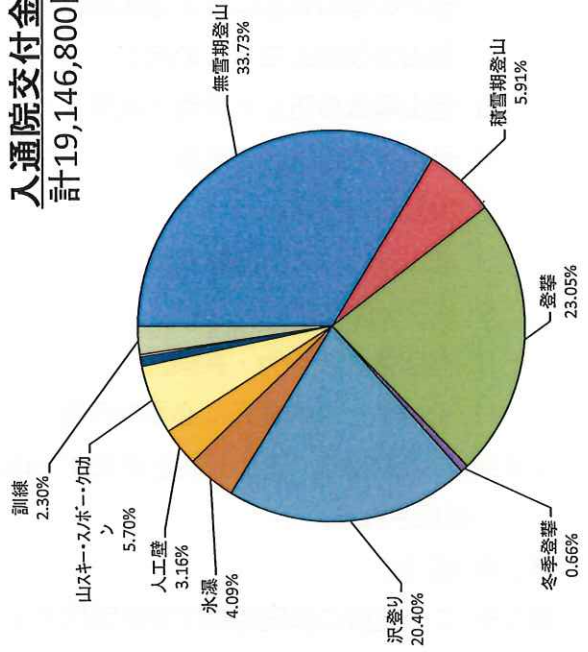
救助・捜索交付金額
11件11名 8,299,468円



入通院交付人数
計289人



入通院交付金額
計19,146,800円



日本勤労者山岳連盟規約

第1章 総則

第1条 この連盟は、日本勤労者山岳連盟(略称「労山」)とよび、
事務所を〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24におく。

第2条 この連盟は、登山・ハイキングを健康で文化的な生活のひとつであり平和で民主
的な国民生活に根ざしたスポーツ・レクリエーションとして、普及し発展させる
ことを目的とする。

第3条 この連盟は、前条の目的を遂行するために次の活動をおこなう。

- 1 加盟団体相互の交流。
- 2 広範な登山愛好者の組織化。
- 3 国民の登山要求に応える活動。
- 4 登山の技術とモラルの向上。
- 5 登山事故の防止と救助・救済。
- 6 登山をする条件の改善。
- 7 山岳自然保護。
- 8 登山を通じての国際交流。
- 9 機関紙誌や書籍の発行。
- 10 諸団体との協力・共同。
- 11 その他、目的遂行に必要な活動。

第4条 この連盟は、この規約を承認する山岳会・クラブ（以下「加盟団体」）によって
構成される。

第2章 組織

第5条 この連盟の基礎組織は加盟団体である。加盟団体はこの連盟の活動に等しく参加
する権利と義務を有する。

第6条 加盟団体は連盟活動を推進するために、都道府県を単位に「都道府県勤労者山岳
連盟」（以下「地方連盟」）をつくり所属する。

- 2 地方連盟は、その活動の補助機関として「地区連盟」をつくることができる。地
区連盟の地域、名称、活動等については、当該地方連盟が定める。
- 3 地方連盟に関する規定は別に定める。

第7条 歴史的・地理的に関係の深い複数の地方連盟は、当該の地方連盟の活動に資する
ために、「地方協議会」をつくることができる。

- 2 地方協議会の名称・範囲は別に定める。

第3章 機関

第8条 この連盟に、次の機関をおく。

1 総会 2 評議会 3 理事会

第9条 総会は、この連盟の最高決議機関であり、原則として2年に1回理事会の決定により会長が招集する。ただし、理事会が必要と認めたとき、または3分の1以上の評議員からの要求があったときは、臨時に総会を招集しなければならない。

- 2 総会は、役員および地方連盟ごとに選出された代議員によって構成される。
- 3 総会は、代議員の過半数の出席で成立し、決議は出席者の過半数を必要とする。委任状は議長宛で会議の多数意志にしたがうものとし、総会の成立要件に含める。
- 4 総会代議員は、地方連盟ごとの構成員（以下「会員」）の人数に応じて選出し、その基準は評議会で定める。

第10条 総会は、次の事項を審議決定する。

- 1 連盟活動の総括と方針。
- 2 予算および決算。
- 3 連盟役員の選出。
- 4 規約にかかわる賞罰。
- 5 趣意書および規約の改廃。
- 6 その他、連盟の目的遂行に必要な事項。

第11条 評議会は、総会に次ぐ決議機関であり、2年に1回以上、理事会の決定により理事長が招集する。ただし、3分の1以上の評議員から要求があったときは、評議会を招集しなければならない。

- 2 評議会は、連盟役員および評議員によって構成される。
- 3 評議会は、評議員の過半数の出席で成立し、決議は出席者の過半数で成立する。委任状は議長宛で、出席者の多数意志にしたがうものとし、評議会の成立要件に含める。
- 4 出席できない評議員は、当該の地方連盟から代理人を出席させることができる。
- 5 評議員は、別に定める選出基準により、地方連盟ごとに選出し登録する。

第12条 評議会は、次の事項を審議決定する。

- 1 連盟の諸活動の具体化。
- 2 総会より委任された事項。
- 3 中間の予算および決算。
- 4 規約についての疑義の解釈。
- 5 規定、細則、定款の改廃。
- 6 専門委員会および特別委員会の設置、改廃。
- 7 補充役員の選出。

8 その他、連盟活動に必要な事項。

第13条 理事会は、連盟の方針にもとづき連盟業務を執行する。

2 理事会は、理事長が随時招集する。

3 理事会は、理事長、副理事長、事務局長、理事によって構成される。

4 理事会は、必要に応じて会長、副会長に出席を求めることができる。

5 理事会は、執行事項を評議会および総会に報告し、承認をうける。

第14条 理事会は、次の事項を執行する。

1 総会および評議会決定事項の具体化。

2 各種原案の企画作成。

3 所轄の事務連絡および報告。

4 各種集会および代表者会議の開催。

5 事務局・専門委員会の統括と運営。

6 事務局員・専門委員の選任。

7 専従職員の職務に関する事項。

8 緊急事項の処理。

9 その他、連盟の日常業務に必要な事項。

第15条 この連盟は、事務局および専門委員会をおく。事務局の任務および専門委員会の種類、名称、任務については別に定める。

2 専門委員会は、理事会の議を経て理事長が委託した専門委員で構成する。ただし、その責任者は理事会の構成員とする。

3 この連盟は、評議会が目的遂行のために必要と認めたときは、特別委員会をおくことができる。特別委員会の構成等は第2項に準じ、その活動内容は総会に報告する。

第4章 役員・職員

第16条 この連盟は、次の役員をおく。

1 会長(1名) 2 副会長(若干名) 3 理事長(1名) 4 副理事長(若干名)

5 事務局長(1名) 6 理事(若干名) 7 監事(2名)

第17条 役員は会員から選出する。役員選出に関する規定は、別に定める。

第18条 役員の任務は、次のとおりとする。

1 会長は、この連盟を代表する

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

3 理事長は、連盟業務の執行を統括する。

4 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代行する。

5 事務局長は、事務局を統括するとともに、連盟の会計業務を行う。

6 理事は、連盟業務を統括する。

- 7 監事は、連盟業務および会計を監査し、その結果を総会および評議会に報告する。
- 第19条 役員は、連盟業務および会計を監査し、その結果を総会および評議会に報告する。
第19条 役員は、2年間とし、改選は総会でおこなう。ただし、再選は妨げない。
- 2 補欠役員の選出は評議会でおこなう。その任期は前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は、役員として知りえた個人情報および全国連盟が公開していない重要な情報を漏洩してはならない。

第20条 この連盟は、会長・副会長の任にあった者、および長年にわたりこの連盟の顧問・役員等の任にあつて、連盟の充実・発展に著しく貢献した者を評議会の発議、総会の承認によって名誉会員にする。

- 2 この連盟は、評議会または総会の承認によって顧問を委嘱することができる。顧問は連盟の諮問にこたえる。

第21条 この連盟は、事務局に専従職員をおくことができる。

- 2 専従職員の任免は、理事長がおこない、理事会の承認を受ける。

第5章 加盟・脱退

第22条 山岳会・クラブは、所定の手続きにもとづき加盟費を添えて、地方連盟に申し込み、その執行機関の承認を得れば、この連盟の加盟団体となることができる。

第23条 加盟団体は、この連盟を自由に脱退することができる。ただし、所属の地方連盟に所定の手続きを取り、連盟費を精算しなければならない。

- 2 地方連盟は、所属の加盟団体が連盟費の納期を一定期間経過しても理由なく滞納している場合は、除籍することができる。

第24条 地方連盟は、加盟・脱退について速やかに事務局長に報告しなければならない。

- 2 特別な理由がある場合は、事務局長が加盟・脱退の事務処理を代行することができる。

第6章 財政

第25条 この連盟の経費は連盟費および行事・事業収入、寄付金等によってまかなう。

第26条 連盟費は、地方連盟ごとの加盟団体数と会員数によって算出し、その細目は総会において定める。加盟団体の加盟費および連盟費は、地方連盟が別に定める。

第27条 この連盟の会計年度は、1月1日より12月31日までとする。

- 2 この連盟は、一般会計の他に、必要によって特別会計を設けることができる。
- 3 この連盟の会計は複式簿記とし、処理については別に規定を定める。

第7章 賞罰

第28条 この連盟は、評議会が必要と認めるときは、加盟団体および会員を総会で表彰することができる。

第29条 この連盟は、連盟の名誉と団結を著しく損なう行為があつた場合は、理事会の

決定で役員活動の停止、評議会の決定で役員を罷免を、総会の決定で加盟団体の除籍をすることができる。ただし、これらの決議は出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

第8章 付則

第30条 この連盟のすべての会議は、会員に対して公開することを原則とする。

2 この連盟の会議運営の細則は、別に定める。

第31条 この規定に定められていない事項については、評議会が規約の趣旨にもとづいて処理することができる。

第32条 この連盟の英語名称は、JAPAN WORKERS' ALPINE FEDERATION（略称「J.W.A.F.」）とする。

第33条 この規約の目的遂行の改廃は、総会において出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

付則 この規約は 1963 年7月7日より実施する。

1988 年2月7日全面改定。

1990 年2月12 日一部改定。

2000 年2月20 日一部改定。

2020 年2月16 日一部改定。

2022 年2月20 日一部改定。

第37期 全国連盟 理事・監事

2026年2月15日 確定

役 職	氏 名	年 齢	地方連盟	所 属 団 体
理 事 長	川嶋 高志	65	東 京	神楽坂アルパインクラブ
副理事長 (3)	石川 昌	73	千 葉	船橋勤労者山の会
	臼井 邦徳	77	東 京	溪嶺会
	今野 善伸	74	栃 木	野木山想会
事務局長	八木澤 昌通	71	栃 木	宇都宮ハイキングクラブ
理 事 (20) 欠員1名	浅瀬 和人	52	石 川	めっこ山岳会
	阿部 哲也	67	香 川	さぬき山歩会
	安東 仁志	73	道 央	札幌中央勤労者山岳会
	石川 友好	76	東 京	大田ハイキングクラブ
	宇田川 道恵	67	埼 玉	大宮勤労者山岳会
	大杖 哲司	71	兵 庫	メラピークKOBE
	大和田 英子	64	東 京	神楽坂アルパインクラブ
	加治 郷子	67	岡 山	クラブ MONTATA
	片山 博之	65	徳 島	徳島勤労者山の会
	岸岡 寛	69	兵 庫	神戸クライマーズクラブ
	三瓶 健	50	神奈川	山岳素行童人メーグリ家
	清野 嘉樹	63	青 森	弘前勤労者山岳会
	田上 千俊	79	東 京	八王子おおるり山の会
	竹本 幸造	70	静 岡	清水勤労者山岳会
	平尾 繁和	73	京 都	田辺山友会
	山本 尚徳	80	千 葉	かがりび山の会
	山本 裕之	66	道 央	札幌北稜クラブ
	吉川 幸一	71	愛 知	名古屋山岳同志会
	吉永 直樹	57	福 岡	山岳チーム 風はるか
	監 事 (2)	田村 廣史	79	東 京
渡辺 三男		76	神奈川	相模アルパインクラブ

日本勤労者山岳連盟 第37期 正副会長

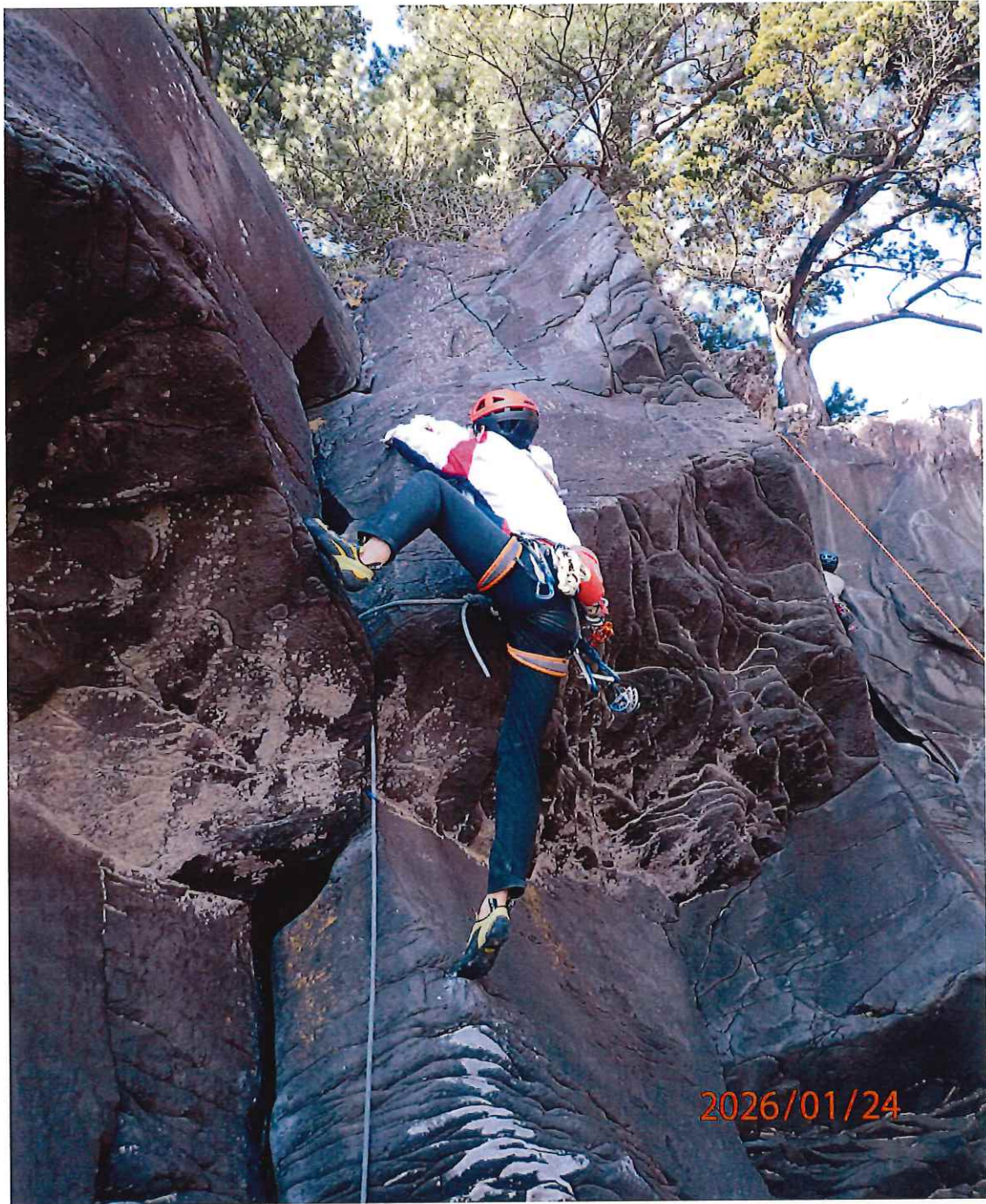
役 職	氏 名	年齢	地方連盟	所属団体
会 長	赤間 弘記	78	宮 城	朋友会
副会長	今村 正一	78	鹿児島	鹿児島勤労者山岳会
	長水 洋	76	道 央	札幌登攀倶楽部
	渡邊 健治	72	岩 手	盛岡山友会

第37期 労山基金運営委員

		氏 名	年齢	地方連盟	所属団体
1	委員長	臼井 邦徳	77	東 京	溪嶺会
2	委 員	伊藤 正勝	81	埼 玉	わらび山の会
3		岩崎 健	62	群 馬	前橋ハイキングクラブ
4		大澤 辰雄	73	埼 玉	埜歩歩富士見山の会
5		岸岡 寛	69	兵 庫	神戸クライマーズクラブ
6		今野 善伸	74	栃 木	野木山想会
7		陶山 正	73	東 京	山の会「かたつむり」
8		武笠 真次	68	埼 玉	わらび山の会
9		渡邊 健治	72	岩 手	盛岡山友会

一般財団法人山岳基金役員

		氏 名	年齢	地方連盟	所属団体
1	評議員	大和田 英子	64	東 京	神楽坂アルパインクラブ
2	〃	源島 道恵	61	東 京	山の会「かたつむり」
3	〃	高橋 友也	74	東 京	杉並勤労者山岳会
4	〃	八木澤 昌通	71	栃 木	宇都宮ハイキングクラブ
5	理 事	石川 昌	73	千 葉	船橋勤労者山の会
6	〃	臼井 邦徳	77	東 京	溪嶺会
7	〃	川嶋 高志	65	東 京	神楽坂アルパインクラブ
8	〃	今野 善伸	74	栃 木	野木山想会
9	監 事	石川 友好	76	東 京	大田ハイキングクラブ
10	〃	荒川 俊之	57	会員外	税制経営研究所 代表社員



〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 日本勤労者山岳連盟
電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324
E-mail jwaf@jwaf.jp ホームページ www.jwaf.jp



JWAF